

康德七年十一月

奉天省圖書館聯合研究會年報（第一輯）

奉天省民生廳社會科  
奉天省圖書館聯合研究會

第一篇

奉天省圖書館聯合研究會第一周年報

奉天省圖書館聯合研究會第一部

# 序文

一國之興衰恆視其國之教育普及與否以爲斷謀國是者莫不兢兢於此降及近代世界文化日形躍進一般教育體系亦益趨整備論者嘗以家庭教育學校教育社會教育祈而三之實則三者之間互爲體用而社會教育尤爲當今急務此可不汲汲以求其普及者也我滿洲帝國肇建以來庶政革新而民衆方面不無文盲政府爲補救其缺憾乃努力於圖書館民衆教育館之施設其趣旨亦在圖謀社會教育之普及樹立民心作興之基礎以增高國民之智識涵養國民之德性使民族協和之精神於以徹底日滿一德一心之聖業於以達成其意義之深遠功效之偉大無待言矣

奉省文化冠於全國爲一般人士所公認年來諸般施設尤爲積極進步之敏速實堪驚人顧一切事業原無止境本省於康德六年七月下旬組成奉天省圖書館聯合研究會萃衆同志相互討論所有業務之改善民智之啓導其功效既已彰矣復能出其緒論彙爲此編集思廣益宜爲有志研究與夫司其事者互資觀摩而不容或忽者也瀕日年報明其逐年刊行

斯刊特初發其輔耳所望明遠時匡不逮俾會務日益進展庶斯刊之行於本省社會教育發展前途不無小補云爾是爲序

康德七年十一月

奉天省圖書館聯合研究會長

申振先

奉天省圖書館聯合研究會第一部年報（第一篇） 康德六年度

目次

口繪、日系圖書館員講習會 記念寫真	
序文、會長	
奉天省圖書館聯合研究會內規	
奉天省圖書館聯合研究會結成式記事	三
役員名簿	四
委員會記事	五
一、開催日時及場所	五
二、研究協議事項	五
第一回 委員會	五
第二回 委員會	一〇
第三回 委員會	一三
部員名簿	一六
部會記事	二七
一、開催日時及場所	二七

二、日系圖書館員講習會.....二八

第二回 部會.....三一

第三會 部會.....三五

三、研究協議事項.....四〇

### 康德六年度各圖書館概況報告

四平街市立圖書館.....四三

開原圖書館.....四八

鐵嶺市立圖書館.....五一

奉天市立八幡町圖書館.....五五

撫順市立圖書館.....六七

本溪湖市立圖書館.....八一

遼陽市立圖書館.....八六

鞍山市立圖書館.....一〇〇

大石橋圖書館.....一〇五

營口市立圖書館.....一〇七

瓦房店圖書館.....一一二

# 奉天省圖書館聯合研究會內規

## 第一章 總 則

第一條 本會ハ奉天省圖書館聯合研究會ト稱ス

第二條 本會ハ奉天省內市縣街立ノ圖書館關係者ヲ以テ組織ス

第三條 本會ヲ第一部（日系）研究會第二部（滿系）研究會ニ別テ各研究會ニ委員會及部會（管理部司書部）ヲ置ク

## 第二章 目 的

第四條 本會ハ會員相互ノ研究ニ依リ圖書館業務ノ改良進歩ヲ圖リ併セテ讀書普及ヲ計ルヲ以テ目的トス

## 第三章 役 員

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名

二、副會長 各一名

三、委員 各館長及社會科職員

四、各部會幹事 各二名

第六條 會長ニハ奉天省民生廳長ヲ推戴ス

副會長ハ各委員中ヨリ互選シ其ノ任期ヲ一箇年トス

委員ハ各館長及社會科職員ヲ以テ之ニ充ツ

部會幹事ハ各部委員中ヨリ互選シ其ノ任期ヲ一箇年トス

第七條 會長ハ本會ヲ代表ス

第八條 副會長ハ本會ニ關スル會務ヲ總括ス

第九條 各部會幹事ハ部ヲ代表シ部内一切ノ業務ヲ掌理ス

### 第四章 研究機關

#### 一、委員會

第十條 委員會ハ委員ヲ以テ組織シ綜合的主要事項ニ付研究ヲナシ或ハ各部研究ノ輔導並ニ審議ヲナス

第十一條 委員會ハ年四回開催スルヲ常例トシ委員聯合會ヲ開催スルコトヲ得 會長之ヲ招集ス

#### 二、部會

第十二條 各研究會ニ管理司書ノ二部ヲ置キ館員ヲ以テ組織シ左ノ事項ニ付研究セシム 部員ノ割當數ハ別ニ之ヲ定ム

一、管理部 (施設、經費、従事員、用紙用品、建築、製本等)

一、司書部 (圖書ノ選定、目錄、分類、排列、出納 閱覽指導、巡迴文庫、附帶事業等)

第十三條 部會ハ各部毎ニ年三回開催スルヲ常例トシ聯合會ヲ開催スルコトヲ得 會長之ヲ招集ス

### 第五章 報告

第十四條 委員會ノ結果ハ會長ヲ經テ省長ヘ報告シ各委員ハモ寫ヲ送付スベシ

#### 附 則

本内規ハ康徳六年六月十二日ヨリ施行ス

# 奉天省圖書館聯合會結成式

一、期日 康德六年七月二十一日

二、場所 結成式、奉天省公署禮堂

三、參加者 各縣市街立圖書館長民衆教育館長

四、結成式順序

1、開會宣言

2、國旗敬禮

3、結成經過報告及組織委員

4、會長推戴

5、會長挨拶

6、副會長互選

7、副會長挨拶

8、民生廳長訓示

9、民生部代表訓示

10、懇談



## 役員名簿

聯合研究會長 馬冠標（奉天省民生廳長）

第一副會長 井上正義（奉天市立八幡町圖書館長）

委 政（×印中途退會○印新入）

×四平街市立圖書館長 森 道次

開原圖書館長 巧 勇

鐵嶺市立圖書館長 小笠原論文

撫順市立圖書館長 渡邊三三

×本溪湖圖書館長 出口孝吉

×遼陽市立圖書館長 瀧猪之助

○同 深井 章

鞍山市立圖書館長 神吉三良

大石橋圖書館長 土山觀一

營口市立圖書館長 板垣一二三

# 委員會記事

## 一、開催日時及場所

第一回 康徳六年七月二十二日 奉天市立八幡町圖書館

第二回 同 九月十八日 鐵嶺市立圖書館

第三回 同 十一月十一日 大石橋圖書館

## 二、研究協議事項

### 第一回 委員會

#### A 協議事項

1、本年度委員會豫定ニ關スル件

本年度委員會開催月、開催地豫定次ノ如シ

第二回委員會 九月 四平街市

第三回委員會 十一月 瓦房店街

2、本年度部會豫定ニ關スル件

本年度部會ハ管理部司書部合同トシ開催豫定次ノ如シ

第一回部會 九月中三日間但シ講習會トシ奉天市ニ於テ開催

第二回部會 十月撫順市

第三回同 十一月鞍山市

3、研究題目部會ノ委囑ニ關スル件

秋季ニ於ケル讀書週間事項ニ關スル件ハ之ヲ司書部ニ研究ヲ委囑スルコト、セリ

4、圖書館員研究會ニ關スル件

館員素質ノ向上ヲ計ルタメ省公署後援ノモトニ委員會主催ニテ短期講習會ヲ九月中ニ省公署ニ於テ實施スルコトニ申

合ス

講師ニ次ノ如ク交渉ノ豫定

衛藤利夫氏 滿鐵奉天圖書館長

中島猶治郎氏 新京國立中央圖書館籌備處司書官

省公署ヨリ 一名

委員中ヨリ 一名、

5、各部委員名簿作成ニ關スル件（部會記事參照）

### B 決議事項

1、滿人街ニ圖書館分館又ハ復活ノ件

2、街立圖書館ヲ縣立圖書館トシテ機能ヲ發揮セラレタシ

3、圖書館職員ヲ官吏ニ登格セラレタシ

以上三件ハ高橋委員ヨリ提出詳細説明アリ

全會一致決議シ省當局ハ要望善處方一任ス

決議文左ノ如シ

## 一、滿人街ニ圖書館分館復活又ハ新設ノ件

理由

舊政時代又ハ大同初年ニ各地滿人街ニ圖書館ヲ多數開設シタルモ建國匆々他施設ノ急ナルト、其經營ニ人ヲ得ザリシ爲成績振ハズ、遂ニ廢館ノ止ムナキニ至リタル館數多クアルヤニ聽ク

滿人ハ其ノ文化ノ水準低ク從ツテ大衆ノ讀書慾皆無ニ近ク圖書館ノ利用者ナク無用ノ長物視サル傾ニアルモ現在ノ圖書館ハ往時ノ文庫ト異ナリ積極的ニ讀書指導啓發シ以テ一般ノ文化水準ヲ高揚セシムル責務アリ、又社會事業ハ他ノ營業事業ト異ナリ、其ノ利用者ノ多寡ニ依リ決スルニ非ズシテ、先ヅ設置シ之ヲ大衆ニ利用セシムベク努力スルトコロニ社會事業トシテノ特質アル所以ナリ、我々營業者ハ現地ニ在リテ滿人街分館ノ設置又ハ復活ヲ計畫スルモ、經費其他ノ理由ニ依リ實現セルニ至ラズ依ツテ省ヨリ縣、市、街、當事者ニ對シ左ノ事項示達セララルコト

1、既存ノ圖書館ハ廢館セザルコト

2、廢館シタル圖書館ハ復活セシムルコト

## 二、圖書館ヲ縣立トシ縣ノ中央圖書館トシテノ機能ヲ發揮スルノ件

理由

1、文化事業ニ國境無キヲ本則トスルヲ以テ縣内ノ街村又ハ團體ノ巡廻支庫等ヲ廻送シ良ク其ノ機能ヲ發揮スベキモ、現在ノ機構上當該官廳ノ行政區域ニ於テノミ活動スベク地域的ニ制限ヲ受クルヲ以テ、縣立トシ縣ノ中央圖書館トシテ

充分機能ヲ發揮スルヲ最善ト思料ス

2、現在ノ機構ニテハ街立トシテハ名ノミニテ其ノ實質（經營費）ハ殆ど縣ヨリ賄ハレ居ル狀態ニシテ其ノ負擔シ居ル縣一帯ニ普ク利用セシムルヲ至當トシ、現在ノ如ク當衝ニノミ利用セシムルハ不合理ナリト思料セラル

三、圖書館職員ヲ官吏ニ登格セシムルコト

理由

滿鐵ヨリ接收ノ際ノ條文ニ依リ圖書館ハ市又ハ街ノ公立トシ其ノ職員ハ市又ハ街ノ吏員ト定メラレ其ノ法定資格ノ有無ニ拘ハラズ均シク吏員、雇員トシテ今日ニ至リ、圖書館員ハ一生其ノ榮達ヲ阻マルコトナレリ、爲ニ意氣沈滯シ、優良ノ館員ハ他ニ轉ズル等ニヨリ該事業ヲシテ衰退ノ虞アルヲ見ルハ誠ニ殘念ノ至リナリ、素ヨリ圖書館事業ニ従事スル吾人ハ自己ノ立身榮達ヲ度外視シ社會ノ礎石（縁ノ下ノ力持チ）トナリ以テ社會ニ奉仕スルノ覺悟アルヲ（武士ハ食ハネド高揚枝）理想トスルモ均シク人間ナル以上ハ（衣食足ツテ禮節ヲ知ル）其ノ努力ニ依ル最少限度ノ榮達ヲ欲スルハ望外ノ慾ニ非ズト思料セラル

尙又日本其ノ他ノ文明國ノ公立圖書館員ハ何レモ官吏又ハ少クトモ官制上ノ官吏待遇トナリ居ルヲ以テ滿洲國ニ於テモ此際圖書館令ヲ制定セラルルト共ニ職員ノ官吏登格又ハ少クトモ官制上ノ官吏待遇トセラルルコトヲ要望ス

C 講 演

來賓左ノ二氏へ講演ヲ依頼ス

（イ）中島猶治郎氏（新京國立中央圖書館籌備處司書官）

（ロ）米國デーナ氏經營ノ圖書館ニ就イテ

管理法、館員ノ養成、特殊ノコレクション、街頭進出、巡迴文庫ノ活動、附帶事業トシテノ圖書館ノ宣傳

(ロ) 衛藤利夫氏 (滿鐵奉天圖書館長)

本ノ取扱ヲ大切ニスルコト、自己ノ圖書館人トシテノ體驗、苦難ノ道ヨリ圖書館員ノ教養ナリ實務ノ向上ニ努力スベキコトヲ述ブ尙南支視察ノ一端アリ

#### D 出席者

副會長 井上正義

#### 委員

五十嵐賢隆 (省公署) 森 道次 (四平街)

巧 勇 (開原) 小笠原論文 (鐵嶺)

渡邊 三三 (撫順) 出口孝吉 (木溪湖)

深井 章 (遼陽) 神吉三良 (鞍山)

土山 觀一 (大石橋) 板垣一二三 (營口)

高橋與惣治 (瓦房店)

#### 來賓

衛藤利夫氏 (滿鐵奉天圖書館長)

中島猶治郎氏 (國立中央圖書館籌備處司書官)

大内直之氏 (滿鐵奉天圖書館員)

## 第二回 委員會

▲ 第一回第一委員會報告（左ノ事項説明）

1、第二回委員會開催地ヲ四平街トセルモ先方ノ都合上鐵嶺ニ變更

2、讀書週間事項切迫セルタメ第二回委員會ノ議題トス

3、日系圖書館員講習會開催ニ關スル件

4、第一回委員會ニ於テ高橋委員提出

一、滿人街ニ圖書館復活又ハ新設ノ件

二、獨立圖書館ノ縣立圖書館トシテ機能ヲ發揮セシメラレタシ

三、圖書館員職員ヲ官吏ニ登格セシメラレタシ

右三件事由書省ヨリ中央ヘ申達セラレタ旨ヲ傳フ

## B 協議事項

1、市、縣、獨立圖書館ノ圖書整理保管ニ關シ「圖書取扱規程準則」ヲ省ニ於テ制定セラレ度ク要望ノ件

出席者鞍山神宮委員ヨリ説明アリ同委員圖書取扱規程私案ヲ逐條審議セルモ圖書原簿其ノ他諸様式雛形等ハ未了ノタ

メ後日研究ノ上第一回委員會復案作成ノ上省ヘ提出スルコトトセリ

2、少數館員ヲ以テ如何ニセバ圖書紛失ヲ防止シ得ルカ

出題者鐵嶺小笠原委員ヨリ圖書原簿ト原品トノ照合即チ移讓時ニ引繼ギシ圖書ノ現在高ノ調査ニ約一ヶ月ヲ要シタル

經驗談アリ此後ノ圖書紛失防止策ニ付各委員ヨリ開陳アリ結論トシテ公開書架式閲覧法ヲ讀書券所持者ニ入庫ノ制限

シ館員一名ニテハ事務及閲覧入庫者ノ取締監視等不可能ナリ故ニ増員ノ二點ニ期シタリ  
參考文獻ノ一讀ヲ勸ム

一、林 靖一著 圖書保管法破損、亡失篇

二、井上正義論說 行詰リツ、アル公開書架式閲覧法ノ對策

「滿鐵圖書館業務研究年報（第二輯一七七頁—一八九頁）」

### 3、讀書週間事項ニ關スル件

片岡第二部副會長ヨリ省ヨリノ達示アルハズトノコトニテ其ノ内容ハ識字讀書週間トシ

期日十月七日ヨリ一週間

ポスター配布

滿人小學兒童ヨリ日、滿蒙文ノ讀書ニ關スル懸賞募集ヲ行フ等ノ説明アリ

委員會トシテ右達示ヲ待チ尙各館ニテハ任意ニ展覽會ヲ開催ノコトニ申合セタリ、尙同會者ヨリ、滿鐵圖書館側ノ本年度圖書館週間ニ付説明ス郎チ期日ハ日本圖書館協會開催期日ニ準ジ十一月七日ヨリ共通行事トシテ不要圖書交換會其ノ他各館單獨施行ノ場合ハ參考ノ爲九月末日迄ニ各館ニ通知シ合フコト、尙滿洲國側ヨリ行事提携希望アリタル場合ハ支障ナキ限り之ニ參加ノコト（滿鐵側ノ意向）ヲ説明ス

### 4、滿鐵側圖書館研究會トノ連絡ニ關スル件

滿鐵側圖書館研究會ヨリ「滿洲國側圖書館研究會トノ連絡ニ關スル件」ヲ議シ相互連絡協調兩研究會ノ合同研究開催ノ件等ヲ提議當委員會ニ於テモ大イニ贊同來年第一回委員會ヲ滿鐵側ト合同開催ノ件副會長ニ一任



5. 館員トシテ女事務員ノ可否（開原巧委員提出）

現在館員補充ノ道ナキ場合館員トシテ女事務員ヲ採用セル館多ク可否ノ論アリタイビストトシテハ缺グ可ラザルモ館員少數ノ館ニテ夜勤宿直等ノ問題アリ否ナルモノ多シ

G 雜談會

各館移讓後ノ事情等開陳アリ、結局館員缺員補充ノ困難、待遇問題等論セラレタリ

部會部員ノ移動アリ名簿ノ訂正申出アリ

D 出席者（四平街、木深湖二名缺席）

副會長 井上正義

委員

巧 勇（開原） 小笠原論文（鐵嶺）

渡邊三三（撫順） 深井 章（遼陽）

神吉三良（鞍山） 土山 觀一（大石橋）

坂垣二三（營口） 高橋與惣治（瓦房店）

其ノ他

片岡第三部副會長（瀋陽圖書館）

松尾部員（同）

王 部會幹事（同）

大内役員

(鐵 嶺)

### 第三回 委員會

#### A 協議事項

1 各圖書館ノ最近一ケ年ニ於ケル行事(附帶事業)ヲ承リ度(撫順提案者渡邊委員ヨリ別紙添附ノ如ク謄寫刷トシテ各委員ニ提供シ自館ノ特別施設狀況ノ説明アリ他館ノ參考ノ資トマル處大ナリ各館施設狀況事項左ノ如シ

#### 撫順(詳細ハ別紙參照)

##### (イ)特別施設狀況

1 圖書館文化講座

2 撫順圖書館報

3 レコード鑑賞會

4 夏季出張奉仕

5 圖書館週間(十月七日—十月十三日)

一、優良圖書展觀

二、不用圖書交換會

三、映畫スター似顔畫展覽

##### (ロ)特別調査研究事項

金 曜 會

(ハ)特別圖書展觀

(ニ)其ノ他、各種展覽會其ノ他ノ催シニ會場ヲ提供ス

遼 陽

(イ)川柳、俳句會毎月一回

(ロ)レコード鑑賞會、土曜午後七時ヨリ十時迄(月一回新譜ヲ發表)

(ハ)友の會 月一回

(ニ)座談會 (本年一回)

(ホ)讀書週間ニ郷土資料展ヲ開催

(ハ)其ノ他

商工會議所共同主催ニテ「遼陽小唄」及「遼陽發展策の論文」ノ募集ヲナス

瓦 房 店

(イ)刀劍展(陸軍記念日)

(ロ)寫眞展

(ハ)不用圖書交換會

(ニ)兒童作品展

四 平 街

夏季七、八月林間文庫開設

本溪湖

毎年十月一日ヲ「市政實施記念日」トシテ、口滿小中學校兒童生徒ノ作品展ヲ開催計畫、本年八十一月二四日―二六日ニ作品展ヲ開催ノ豫定

瀋陽

(イ)巡迴文庫 各小學校へ巡迴センメル

(ロ)綠蔭文庫 夏季小花園ニ於テ開催

(ハ)日本觀光展

(ニ)小學生作文募集

(ホ)古畫展

(ヘ)民衆教育部 (日語練習班、問事處)

八幡町

夏季六、七、八月

(イ)千代田公園林間文庫開設

(ロ)キャンプ兒童圖書館 (館庭ニテ)

大石橋

(イ)時局又ハ社會行事關係圖書文獻展

(ロ)書道参考品及圖書展

(ハ)夏季熊岳城温泉聚落文庫(約三百冊提供)開設

營口

(イ)時事讀物展 例(日本精神週間ニ關係圖書ヲ文庫トシテ編成)

(ロ)ノモンハン寫眞展等

公主嶺

(イ)レコード鑑賞會

(ロ)寫眞展

安東

分館ニ民衆教育館ヲ開設シ、日語講習會ヲ七ヶ月開催午後四時ヨリ六時半迄

2. 館員ノ接客態度ヲ何ニ依リテ指導スルカ何ヲ目標トスルカ(遼陽)

一、言葉ノ注意

撫順ニテ實施

「お氣の毒ですがお尋ねの〇〇圖書は有ません」

電話「お待たせしました」

二、参考書ノ使ヒ方

八幡町ニテ實施

百科辭典ノ使ヒ方等指導スル

3、館員ノ補充困難ノ現状打開策如何（遼陽）

一、各館缺員狀況

四平街 館長 缺

八幡町 館員 五名缺員

撫順 館員 一名缺員

本溪湖 館長 缺

遼陽 館員 二名缺員

大石橋 館員 一名缺員

營口 館員 一名缺員

安東 館員 一名缺員

公主嶺 館員 一名缺員

鞍山 不明 缺員アルモ出席ナク人員不明

瀋陽 館員 二名缺員

二、現在従業員ノ待遇ヲ考慮シ轉出防止策トスルコト

三、國立中央圖書館ニ館員養成所ノ實現ヲ要望シ館員補充ノ道ヲ開ク

4、新採用者ト舊來従事員トノ給與均等ニ關スル件（遼陽）

各地ノ事情ニ應ジ善處方要望スル(各館ニ於テ)外ナシ

5、圖書館使用諸用紙一括注文ニ關スル件(大石橋)

一、圖書館統計日別表 (滿人及滿蒙欄ヲ消シ空欄トス)

二、圖書館統計月報 (同)

三、雜誌整理カード

四、備品カード

五、圖書帶出申込證

六、館内閱覽票

七、圖書帶出票

八、カード「小形」「標準形」

九、圖書袋(ブック・ポケット)

一〇、圖書票(ブック・カード)

一一、受入圖書整理簿用紙

右諸用紙ハ各館所要部數ヲ第一一部ニ於テ一括康徳七年度早々注文ニ決ス

尙統計表ヨリ滿蒙ノ部門ヲ削除(當分空欄トセリ)セルハ分類表ガ滿鐵時代ノモノヲ繼承シタル儘デ將來改正ヲ要

スル時ハ、滿蒙部門〇セテ削除スベク申合セタリ

6、文部省圖書館留學ニ關スル件(大石橋及八幡町)

未ダ滿洲國ニ館員ノ養成所ノ如キ機關ナキタメ友邦日本ニ於テスラ唯一ノ講習所ヘ留學セシメラレタク要望結局滿洲國政府ニ於テ留學規程化セシメラレタク全會一致決議善處方ヲ省ニ要望

7、圖書館令制定要望ニ關スル件（瓦房店）

提案者高橋委員ノ事由書一部修正ノ上可決別紙ノ如ク要望

8、圖書取扱規程準則案協議ニ關スル件

第二回委員會ニ提出ノ議題未了ニ付再提出

提案者神吉委員文案ヲ前會協議副會長一任トアリシモ神吉委員ト打合未了ノタメ條正案ニ依リ本回協議別紙ノ如ク準則案ヲ省ニ提出省令トシテ「圖書取扱規定準則」承認セシメラレタク要望ス（追加議題）

9、圖書帶出制度ニ付讀書券以外ノ方法（例ヘバ會員制度）實施ノ向アラバ其ノ實狀承り度（營口）

（イ）會員制度時代ハ多ク滿鐵社員ハ會費ヲ給料引去ノ便アリ圖書館ニ出入セズトモ會費ヲ徵收シ名譽會員多ク收入ハ多カリシモ、閱覽者本位ニ現在ノ讀書券制度ニ改正シ各館モ現在制ニ贊成

（ロ）但シ讀書券ノ料金ハ他ニ省ハ値上セルモ奉天省ハ現狀ノマ、トシ改正ノ要アルトキハ研究會ニ圖ルコト、申合セタリ

10、執務狀況ニ付管理箇所ニ内容ヲ詳細報告セル館アラバ其ノ方法ヲ承り度（營口）

奉天市事務月報條例、様式ヲ説明、二、三、ノ館ニテモ類似ノ事務月報ヲ提出セル由提案者ヘノ參考ノ資トセリ

11、聯合研究會年報發行ニ關スル件（副會長）

研究會記事



各館業務年報（各館提出ノ寫ニテ可）

委員並部員研究論文

◎第一部 第二部 共各副會長ニテ纏メ省公署ニテ發行方ヲ要望

B 神宮委員（病氣見舞電ヲ委員會ヨリ打電方ヲ正午緊急動議トシテ計ル全會一致賛同ヲ得

見舞電

ゴ ビ ヨウキイカガ オミマイス「イインカイ」

十二日 第一部宛返電アリ次々如ク委員各位（御傳ヘス

オミマイカンシヤス一五ヒタイインゴ アンシンコウ「カンキ」

C 出席者

副會長 井上正義

委員

中島 齊（四平街） 巧 勇（開原）

横邊 三三（撫順） 松尾鹿之助（本溪湖代理）

深井 章（遼陽） 土山觀一（大石橋）

板垣 二三（營口） 高橋與惣治（瓦房店）

（缺、鐵嶺內地歸省中、鞍山病氣入院）

其ノ他

片岡第二部副會長（瀋陽圖書館）

松尾部員（同）

林部員（同）

高野館長（安東）

秋場館長（公主嶺）

（奉天省外安東、公主嶺ヨリノ參加アリ此處ニ記シテ感謝ノ意ヲ表ス）

附 錄

A 撫順圖書館近況

一、書籍蒐集狀況

時代及土地ノ狀況ニ鑑ミ滿蒙、兵事・工學、産業等ノ書籍蒐集ニ力ノ盡ス

二、康德六年九月末現在藏書冊數

計	34	323
滿蒙	2	883
叢書	2	113
宗教	3	087
文學語學	3	866
小說	4	771
歷史	1	535
法經社統	4	349
數理	1	571
工兵	2	683
美術	2	069
產業	1	743
家		570
兒童		392

### 三、特別施設狀況

#### 1、圖書文化講座

成人教育施設トシテ左ノ通り開講ス

a 名著輪讀、出降著「哲學以前」十回

b 「大伴家持の研究」講義、講師、文學士瀬口確次（十三回）

c 「近代日本文章史」講義、右 同

d 考古學座談會、小林野生外十五名（一回）

e 「蒙古事情について」講師、横尾繁郎氏（一回）

#### 2 撫順圖書館報

讀書趣味ノ養成、新刊書紹介ニ供センガ爲毎月發行頒布ス

#### 3 レコード鑑賞會

高尚ナル趣味ト情操トヲ啓培センタメ毎月一回以上開催

#### 4 夏季出張奉仕

#### a 主旨方法

住居偏在、交通不便ノ爲圖書館ニ來館出來難キ會社従業員並ニ家族ニ讀書ノ機會ヲ與フル爲左ノ如ク實施ス

場所 松岡町輕金屬會社俱樂部内

期日 自康徳六年七月十五日至同年八月十五日

方法 イ・書籍數 約七〇〇冊

ロ、時 間 自午後一時至午後九時

ハ・閱覽料金 無料

結 果

開館日數 二九日

入館者總數 一、一二五人

一日平均入館者數 三八・七六八

閱覽圖書總冊數 二、三三四冊

一日平均閱覽圖書冊數 八〇・四八冊

5 圖書館週間（十月七日—十月十三日）

a 優良圖書展覽

b 不用圖書交換會

c 映畫スタ―似顔書展覽會

四、特別調査研究事項

金 曜 會

毎週金曜日一時間宛館員相互素質ノ向上ノ爲各自研究發表ヲナス

五、特別圖書展觀

陸軍記念旬間（三月）海軍記念旬間（五月）支那事變一週年記念旬間

（七月）滿洲建國記念旬間（九月）等開催

#### 六、其ノ他

各種展覽會其ノ他ノ催シニ會場ヲ提供ス

撫順洋畫會洋畫小品展（六月）境田新次氏洋畫小品展（十二月）

撫順寫友會趣味寫眞展（十二月）矢崎千代二畫伯パステル畫展覽會

（三月）撫順光畫クラブ藝術寫眞展覽（六月）滿洲觀光協會寫眞展覽會（六月）東京うらゝ會手藝品展（八月）

#### B 圖書館令政定要望ノ件

#### 事由

盟邦日本ハ申スニ及バズ各先進國ハ社會教育機關中最モ重要ナル役割ノ際ノ圖書館ニ關シテハ何レモ法令又ハ勅令ヲ以テ圖書館令ヲ公布シ官制上ニ於テ確乎タル公共機關トシテ能ク其ノ機能ヲ發揮シ居ル状態ニアリ然ルニ我滿洲國ハ王土樂道ノ建設進展シ今ヤ各機關ノ整備定カラントシ國立中央圖書館、國立博物館ノ設立モ其ノ緒ニツキタル現在ニ於テ官制又ハ法文上ニ圖書館ノ文字ヲ未ダ見ザル現況ニシテ各館ハ省ノ認可ノ得タル各圖書館ソレゾレノ規則ニ依リ統制ナク區々活動シ圖書館トシテノ形骸ヲ維持シツ、アル状態ナリ

斯クテハ圖書館ノ機能ヲ發揮スルコトハ能ハザルニツキ勅令又ハ省令ニテ圖書館令ヲ制定ノ上確乎タル公共機關トシテ國家ノ統制ノ下ニ能ク活動シ得ル様セシメ、シタシ

康德六年十一月十一日

宮城県公立図書館圖書取扱規程準則（第一部案）

第一章 總 則

第一條 ○○圖書館（以下圖書館ト稱ス） 備附圖書ハ別ニ定ムレモノ、外本規程ニ依ルモノトス

第二條 備附圖書ヲ別チテ左ノ二種トス

一、圖書（小冊子地圖書類ヲ含ム）

二、定期刊行物（新聞、雜誌、政府公報類）

第二章 購 入

第三條 館長ハ配布豫算ノ範圍内ニ於テ圖書ヲ選定シ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ購入ス

第三章 整理保存

第四條 ノ一 購入圖書ハ圖書原簿（様式第一表）ニ登記シ圖書ニハ圖書館藏書印ヲ押捺シ、受入年・月・日、登録番號

圖書記號ヲ記入スベシ

第四條 ノ二 購入ノ定期刊行物ノ新聞ハ新聞受入表（様式第二表）ニ記入シ雜誌類ハ雜誌整理カード（様式第三表）ニ

所要事項ヲ記入シ現品ニハ受人日附印ヲ押捺スベシ

但シ製本合冊ノ上保存ヲ要スルモノハ前條ノ圖書取扱ニ依ルベシ

第四條 ノ三 寄贈ノ圖書及定期刊行物ヲ受入タルトキハ前二項ノ取扱ニ依ルベシ

第四章 圖書ノ除籍

第五條 圖書館（又ハ本館）備附ノ圖書ニシテ左ノ事由ニ依リ圖書原簿ヨリ除籍セムトスル場合ハ除籍圖書目錄（様式第四表）ヲ成作ノ上管理箇所長（市長、縣長、街長）ノ決裁ヲ受ケ圖書原簿カ―テ等ノ處理ヲナスベシ

除籍取扱圖書ノ種別

- 一、撤 去 常備ノ必要ヲ認メサルニ至リタルモノ
- 二、毀 損 汚損又ハ破損ノ結果使用ニ堪エザルニ至リタルモノ
- 三、亡 失 紛失又ハ盜難ニ罹リタルモノ
- 四、回收不能 帶出者行衛不明ニシテ回收不能トナリタルモノ
- 五、寄贈品 副本共ノ他ニシテ他ニ寄贈セントスルモノ
- 六、天 災 不可抗力ニ因リ所在不明トナリタルモノ
- 七、其ノ他 保轉共ノ他

第六條 前條撤去及毀損圖書ハ消印ヲ押捺シタル上別ニ定メタル手續ニヨリ管理箇所ニ戻入スベシ

附 則

（見本様式雜形省畧）

部 員 名 簿（×印中途退會○新入）

古川久吾 （四平街）

安武秀之 （撫順）

山中琴子 （同）

石東友與 （同）

- |         |       |        |       |
|---------|-------|--------|-------|
| 平野鐵雄    | (開原)  | ×西村正人  | (本溪湖) |
| 大内一某    | (鐵嶺)  | ○松尾鹿之助 | (同)   |
| ×合志保男   | (八幡町) | ×田中光   | (鞍山)  |
| 田村富男    | (同)   | ×久保正一  | (同)   |
| ×岩木正夫   | (同)   | 長尾卓見   | (同)   |
| ×尾池秀利   | (同)   | 山崎初枝   | (同)   |
| ×久保山マツ子 | (同)   | ○水間藤太郎 | (同)   |
| ○田崎注二   | (同)   | ○八畝田正男 | (同)   |
| ○井上圭子   | (同)   | 馬渡富次   | (營口)  |
| 日野忠近    | (撫順)  | ×藤川一郎  | (瓦房店) |
| ×田端直京   | (同)   | ×穴吹義晴  | (同)   |

## 部 會 記 事

### 一、開催日時及場所

第一回 康德六年九月二十八日ヨリ三日間

日系図書館員講習會開催

第二回 康德六年十月二十八日 (撫順市立図書館)



第三回 康徳六年十一月二十五日（遼陽市立圖書館）

## 二、日系圖書館員講習會記事

A 主旨

圖書館ノ業務改善並館員ノ研究修養ヲ計ル爲斯界ノ大家ヲ招聘シ省下各市縣日系圖書館員ノ講習會ヲ開催ス

B 會場 奉天省公署禮堂

C 主催 奉天省公署、奉天省圖書館聯合研究會第一部委員會

D 期日 自九月二十八日至同月三十日三日間

E 講師

(1) 國立中央圖書館籌備處司書館 中島猶治郎氏

(2) 滿鐵奉天圖書館長 衛藤利夫氏

(3) 奉天市立八幡町圖書館長 井上正義氏

（圖書館聯合研究會第一部副會長）

F 參加者

省下各市縣獨立圖書館日系館員全部（但シ館長ヲ除ク）

G 時間表

月 日	九時—十時	十時—十一時	十一時—十二時	十二時—一時	一時—二時	二時—三時	三時—四時
九月(木)	開講式	特別講演 社會科長	井上講師	休息	井上講師	同上	同上
二十八日	(金)	特別講演 高等教育科長	衛藤講師	同上	一同記念 影	中島講師	同上
二十九日	中島講師	同上	同上	休息	中島講師	同上	同上
三十日(土)	中島講師	同上	同上	休息	中島講師	座談會	閉講式

◎講習題目

滿洲國社會教育ノ特異性 郷 社會科長

奉天省下教育現狀 岩井民生廳事務官

圖書館經營實務概況 井上講師

圖書館三位一體性ト作業ノ五大原則 衛藤講師

目錄法 中島講師

H 開講式順序

- (1) 一同起立
- (2) 國旗敬禮
- (3) 開講式辭 社會科長
- (4) 訓示 民生廳長
- (5) 副會長挨拶 井上副會長

(6) 講師紹介

↑ 閉講式順序

(1) 閉講式辭 井上副會長

(2) 一同起立

(3) 國旗敬禮

↓ 講習會 聽講者十九名

四平街市立圖書館 吉川久吾

開原圖書館 平野鐵雄

鐵嶺市立圖書館 大内一晃

八幡町圖書館 田村富男

岩本正夫

撫順市立圖書館 田端宣貞

同 安武秀之

同 日野忠近

同 石東友與

本溪湖圖書館 松尾鹿之助

遼陽市立圖書館 深井 章

鞍山市立圖書館 久保正一

同 長尾卓見

瓦房店圖書館 穴吹嘉章

營口市立圖書館 馬渡富次

東豐縣立民衆教育館 三好正巳

瀋陽圖書館 松尾四郎

同 王泰富

社會科 小町萬登

## 第二回 部 會

一、協議事項（各議題ニ付出題者ノ説明後協議）

1、各館ニ於ケル圖書ノケースノ利用法如何（八幡町）

a 各館共通の利用——新着案内トシテ揭示スル荷造ニ利用

b 撫順——パンフレットケースニ利用

巡廻文庫ノ各冊毎ニケースヲ利用

廢物ハ製紙會社ニ紙屑トシテ賣却スル

2、圖書館統計用紙ニ在來ノモノヲ使用シ居ラル、ヤ（八幡町）

各館トモ從來ノ用紙ヲ使用スルヲ便宜ノ意見多數ニシテ出題者ノ雛形ニ依リ訂正其ノ他希望ノ回答ヲ得タル上其

ノ他ノ諸用紙ト一括第三回委員會ニ圖スルコト、セリ

3、勤務中ニ感ジタル改良案ヲ適宜發表シ實行ニ移ス一種ノ研究會ヲ各館ニ持ツヤ（遼陽）

撫順、八幡町ノ兩館ヨリノ説明ヲ要約スレバ

兩館共金曜會ト稱シ、事務打合、業務改善意見交換圖書ノ紹介個人研究發表等シナス（金曜會研究事項ハ適宜

事務月報ニ記ス）

4、各館員ノ趣味、娛樂ノ點ニ付調査シテハ如何（遼陽）

圖書購入選定上ノ參考等各館員ヨリ種々開陳アリ結局副會長ニ於テ各館ヘ照會スルコトニ申合セタリ

5、省下各館員ノ親睦ヲ計ル集會ヲ年一回位實行シテハ如何（遼陽）

合同部會開催ノ機會ニ適當ナ季節ニ用狩又ハハイキング等ノ體育的行事ノ兼ネテ新陸ノ圖ルコトニ申合セタリ

6、司書方面ト閲覧方面トノ館員ノ專任制ニセズ適宜交替シテハ如何(遼陽)

各館各係ノ專任制ハ之ヲ廢止セス(提案者モ專任制ニ同意)

各館ノ事情ニ應ジ全般的ニ涉ル館務ヲ知ラシムベク適宜館員ヲ交替セシムルコトニ申合セタリ

7、增加圖書目錄ノ省内各館一括ノモノヲ毎月カ隔月ニ發行シテハ如何(遼陽)

年四回程度新年度ヨリ實施 先ヅ提案者ニ於テ三月末締切第一回總合目錄ヲ編輯發行ニ決シ、各館ヨリ目錄記入

例(提案者ヨリ各館へ様式見本送附) 一月二月三月增加圖書目錄ヲ遼陽圖書館へ提出

第二回ノ編輯擔當ノ圖書館ハ次年度部會及委員會ニ於テ協議

8、製本講習計畫ヲ考慮願度(鐵嶺)

提案者缺席ノ爲簡易圖書修理ニ關スル講習ト解シ協議ス

新年度ニ於ケル講習會計書中ニ考慮セシメラレル様省公署ヨリ列席ノ郭委員へ依頼セリ

9、豫算差引ニ付簡明ナル方法ヲ承り度(營口)

購入物品單價不明ノ場合補點アルモノ、如シ單價ヲ照會スル外ニ道ナク差引方法ハ各館共通の事務ノ處理法ニテ

變リナシ

10、圖書帶出期限經過防止策並期限經過圖書回收ノ良策承り度(營口)

期限經過防止策トシテハ圖書へ日限票ノ附シ期日ヲ豫告スル延滞性ノ閲覧者再ビ帶出スル場合ハ其ノ際注意スル  
次ニ圖書回收ニ付、期限經過ト同時ニ督促シ以後不絶督促ノ繼續シ放任スル時ハ回收不能トナル場合ガ多イ

⑤追加議題

尙白毛（滿人ボーイデナク）日糸館員ニ依リ督促スル方效果アリ

1、各館ニ於ケル閲覧係ノ勤務報告ノ承り度（撫順）

八幡町圖書館ノ例説明（次ノ如シ）

閲覧係勤務時間（當時日勤者一名他二名ニテ晝夜ニ交替制）

（補助トシテ滿人一名勤務）

a 日勤ニ當リタル者ハ一般勤務時間ニ同ジ

b 夜勤ニ當リタル者ハ午前十時開館ノ月ハ午後二時出勤

午前九時開館ノ月ハ午後一時出勤

c 日曜日勤務者ハ土曜日ヲ公休トシ毎週交互トス

d 土曜日ノ午後勤務者ハ正午勤務（土曜日ノ日勤者ハ正午迄）

各館トモ従事員不足勝ナルタメ勤務過勞結局館員ノ補充及増員ノ緊急ヲ要スル現状ナリ

2、圖書蒐集ニ當リ同地方ノ各學校、官廳、會社圖書館トノ連絡ヲ計リテハ如何（撫順）

撫順ニ於ケル實施例ヘバ各個所ト連絡ノ上重複圖書ヲ購入ヲ避ケ但シ高價ナル圖書ニテモ希望圖書ハ備附、列車運

ニ依ル積極貸出——等此等ノ實績ニ鑑ミ各館モ大イニ連絡ノ必要ト實施トニ務ムベク發奮スルトコロアリ參考トナ

レリ

3、圖書相互貸借ニ關スル件（撫順）

驛ニ依頼シ列車便ニ依ル相互貸借ヲ實施スベク申合セリ

4、聯合研究會年報發行ニ關スル件（副會長）

委員ヘモ圖リ贊同ヲ求メ善處方ヲ依頼セリ、副會長ニ一任

二、講 演

「撫順地方の史蹟に就いて」ト題シテ撫順波邊館長ノ講演アリ撫順地方ノ史蹟並炭都撫順遊覽ニ關スル話ニシテ參考ニ資スル處大ニシテ「同感銘深シ」

三、座談會

郭委員ヲ中心ニ圖書館官制其ノ他座談交換將來ヘノ示唆ヲ與ヘタリ

四、閉館ノ辭

午後三時終了

五、撫順見物

希望者十二名ニテ撫順遊覽バスヘテ約一時半、市内見物ヲナセリ

六、出席者

奉天省公署民生廳社會科 委員 郭士婚

奉天市立八幡町圖書館 第一部副會長 井上正義

奉天市立瀋陽圖書館 第二部副會長 片岡憲三

撫順市立圖書館 委員 渡邊三三

大石橋圖書館 委員 土山觀一

遼陽市立圖書館	委員	深井章
四平街市立圖書館	部員	山中琴子
開原圖書館	同	平野鐵雄
八幡町圖書館	同	田村富男
八幡町圖書館	同	岩本正夫
遼陽圖書館	第二部司書部幹事	王泰富
同	部員	林尙本
撫順市立圖書館	同	田端宜貞
同	同	日野忠近
同	同	石東友與
同	同	安藤秀之
本溪湖市立圖書館	同	松尾鹿之助
營口市立圖書館	同	馬渡富次
瓦房店圖書館	同	穴吹嘉章

(計十九名)

第三回 部 會

一、協議事項(提出議題)



## 1. 物品ノ直接購入範圍水リ度（撫順）

a 圖書及新聞雜誌ハ各館共自由ニ直接購入

b 請求ノ都度見積書ヲ添付スルモ新聞雜誌ノ一ケ年ノ見積書ヲ提出スル館ナシ

c 自轉車水道破損等急ヲ要スル小修理等ハ事後承認ニテ實施セル館多シ

d 物品ノ購入ハ法規ニ準據スルハ勿論ナルモ各館ノ經理事務ノ敏速化ト管理個所トノ連絡及圓滑ヲ計ルコトニアリ

e 小額ニシテ特ニ急ヲ要スル或程度ノ檢收代理事務ノ委任ヲ受シムル等ノ檢討ヲナセリ

## 2. 研究会開催地ノ事情ヲ知ルタメ其ノ館若シクハ知名ノ士ノ講話ヲ承ル様計ラレ度（撫順）

右提案ニ對シテハ協議ヲ要スル迄モナキ爲今回ノ遼陽ヨリ依頼スルコト、シ事前ニ交渉シ實施ス

## 3. 圖書館ト讀者トノ有效ナル連絡方法如何（本溪湖）

a 一、三、五ノ議題共提案者缺席ノタメ詳細不明ナルモ適宜意見ヲ交換セリ

b 館報又ハ新着圖書目錄ヲ發行シ讀者ヘ頒布スル

c 出納臺ニハ最適任者ヲ配置シ、讀書相談、館内ノ案内、圖書ノ調査等讀書指導ニ當ラシム

d 執務心得又ハ執務細則等ノ規程ニ依リ常ニ館員ノ養成ニ務メ館員各自モ修養練磨ヲ怠ラズ閱覽者ノサービス事務

ニ任ズルコト

e 郷土ノ新聞ヲ利用シ新着圖書目錄ノ案内其ノ他宣傳ニ務メルコト

「圖書館ニ於ケル諸種ノ便宜ノ與ヘサービスハ怠ラザルモ閱覽者自身ノシテ館則ニナジマセルコト即チ公德心ヲ嚴

守セシムル方法或ハ訓練指導ノモナスコト例ヘバ「脱帽」ト館内ハ揭示スレバ一人モ脱帽セザル人ナキヨウ注意

4、購入圖書選定ニ際シ考慮スベキ點如何（本溪湖）

a 出版界及讀書傾向ヲ見ルコト

b 時流本ハ重複シテモ購入シ便宜ヲ與ヘル、例ヘバ土兵隊、官本武藏等ノ如シ

c 専門書ハ其ノ道ノ人ニ選擇ヲ依頼スル

d 各地ノ事情ニ應ジ考慮スル

e 館員數ニ應ジ各部門ノ選擇ヲ分擔シ購入ノ準備ヲスル、其ノ他圖書選定ニ就テハ參考書ヲ参照ノコト

5、巡迴文庫實施狀況ヲ承リ度（本溪湖）

a 遼陽（配付箇所七ヶ所）

守備隊、市、縣公所、陸軍病院、軍犬養育訓練所、電業、小學校、一回一箱二〇冊（一ヶ月交換）

b 撫順（配付箇所四ヶ所）

炭鑛二ヶ所、看護婦養成所、小學校、一回一箱約三〇冊

（一ヶ月交換）

c 瀋陽

各國民學校二四ヶ所、第一區ヨリ第四區ニ區分、兒童讀物、一箱四五冊

6、各館ニ於ケル圖書寄贈依頼狀況承リ度（八幡町）

撫順ニ於テハ最近奉天省ノ各縣公所へ「縣志」ノ寄贈方ヲ依頼シタノガ大口デアツテ普通ハ各館共執務ノ餘暇ノ程

度ニ調査及依頼狀ヲ發ルル現テアツテ實際上ハ一名ノ擔當者ヲ必要トスル仕事デアツテ、非賣品ニ對スル圖書ノ蒐集ハ片手間ニテハ不可能ナリ

7、各館ニ於ケル館内閱覽票ヲ記入セシムルヤ承り度（八幡町）

8、入館者ノ正確ナル數字ヲ知ルニ簡明ナル方法ヲ承り度（營口）

前二件ニ付種々意見ノ交換アリ結局閱覽票ニ通シ番號ヲ附シ入館者ニ入館ノ際之ヲ渡シ閱覽事項ヲ記入セシメ統計作成ノ資料トナスヲ最モ正確ナル方法ナリ

9、圖書帶出ニ於ケル各館ノ取扱狀況承り度（營口）

a 帶票票ハ日附順ニ整理シ期限後ノ督促ニ便ナラシム

b 帶出控票ハ氏名ノ五十音ニ排例

c 圖書票（ブックカード）ハ書名ノ五十音ニ排例シ、圖書ノ有無調査ノ便ニスル

10 取扱圖書取扱ニ關スル件（八幡町）

購入後發賣禁止トナリタル圖書又ハ受贈圖書ニシテ取扱圖書等ノ取扱ハ從來ノ如ク閱覽ヲ禁止シ、圖書ハ嚴重ニ保管スル、防諜ニ關シテハ充分ナル注意ヲ要スル

口趣味娛樂ノ外「圖書館其ノ他ノ研究事項」追加ノ件（副會長）

第二回部會ニ於テ決定回答ヲ得タルモ圖書館又ハ他ノ研究事項追加ノ件ヲ協議シ本回（第三回部會）ノ報告書ニ添

附スルコトニ申合セタリ

觀光遼陽ニ就イテト題シ、遊覧コースノ名所舊跡ノ講話及日頃苦心蒐集中ノ郷土資料トシテノ和歌、俳句、川柳、漢詩等ノ一部紹介アリ、尙同館ニテ編輯發行ニ拘ル圖書ノ配付ヲ受ケ遼陽ニ於ケル認識ヲ深メタリ

遼陽遊行 拆疊一枚 案内記

遼陽ノ沿革 パンフレット

#### 四、雜談會

a 新聞記事ノ話題

(イ) 吉林省圖書館、民衆教育館員ノ官吏任命

(ロ) 滿洲國圖書館協會設立

(ハ) 奉天市五ヶ年計畫

b 建國教育 記事

e 次年度研究会ニ付希望

(イ) 共同研究議題ノ提出

(ロ) 各員十分間程度ノ小研究發表

#### 五、出席者

副會長 井上正義

委員 士山觀一 (大石橋)

深井章 (遼陽)

委員 小笠原論文 (錢 嶺)  
 部員 古川久吾 (四平街) 平野鐵雄 (開原)  
 田村富男 (八幡町) 日野忠近 (撫順)  
 安武秀之 (撫順) 石東友興 (撫順)  
 宮本一枝 (遼 陽) 長尾卓見 (鞍山)  
 水間藤太郎 (鞍 山) 馬渡富次 (營口)  
 穴吹義晴 (瓦房店)

其ノ他

片岡第二部副會長 (瀋陽)  
 松尾第二部委員 (同)

計 十七名

研究事項、趣味、娛樂調查報告

(十二月七日調)

氏名	館名	研 究 事 項	趣 味	娛 樂
古川久吾	四平街		繪畫油繪(作畫)	釣
山中琴子	同		切手蒐集 讀書(一般隨筆)	卓球
巧 勇	開原	音樂圖書館ニ關スル研究	音樂、スポーツ、讀書	活動寫眞切手蒐集

平野鐵雄	同	圖書分類法	支那語、習字	圍碁、音樂
小笠原論文	鐵嶺	興亞大事業ニ對スル圖書館ノ役割	詩吟	
大内一晃	同	圖書館及圖書ノ宣傳法並其ノ具體案	音樂(主トシテレコード)	
井上正義	八幡町	公立圖書館經營ノ合理化	美術、家庭園藝	記念一切手繪葉書 スタンブ」蒐集
田村富男	同	九州民族及宮崎地方古跡ノ研究館内諸揭示 ノ地方書方	音樂、讀書、作文、園藝	野球水泳映畫鑑賞
岩本正夫	同	滿洲ニ於ケル特殊工業概論	讀書、散步	野球水泳其他球技
渡邊三三	撫順	撫順古瓦ノ蒐集		點茶
日野忠近	同	圖書分類法	聖書、神學	
安武秀之	同	シナリオ		
石東友與	同	圖書分類法	音樂(レコード)	
松尾鹿之助	本溪湖	圖書分類法、家庭代用食研究	登山、釣	玉突、麻雀
深井章	遼陽	郷土資料及郷土詩蒐集	俳句、川柳、音樂、讀書	テニス撞球麻雀
宮本一枝	同		裁縫、手藝、音樂、讀書	旅行、キネマ、 散步、ピンポン
神吉三良	鞍山	圖書ノ分類ト目錄法	書道	
水間藤太郎	同	基本參考圖書目錄編纂	讀書	聯珠

長尾卓見	同	經濟學、圖書館管理法、支那語	音樂、繪畫、讀書	圍碁、將棋
山琦初枝	同		編物、刺繡、音樂、讀書	
土山觀一	大石橋	圖書館建築ノ腐蝕ト其ノ修理ニ關スル研究	藝術味	圍碁、撞球、麻雀
板垣一二三	營口	圖書整理事務	釣菊園藝	
馬渡富次	同	圖書被損防止	釣	
高橋與惣治	瓦房店	園藝	釣	圍碁、麻雀
穴吹義晴	同	支那語	音樂	野球、庭球、運動

# 四平街市立圖書館概況報告

## 一、概説

大正五年十月二十六日中央大街ノ一小屋ニ四平街圖書閱覽場ヲ創設シ翌年六月簡易圖書館ト改稱セリ、當時ハ常備圖書尠ク大連圖書館ヨリ巡廻書庫ヲ受ケテ閱覽ニ供スルニ過ギズ圖書ノ種類モ娛樂向ヲ主トシタリ、土地ノ發展ニ伴ヒ常備圖書竝ニ閱覽者ノ増加ヲ見館屋狹隘ヲ告グルニ至レリ大正九年七月驛前元地方事務所廳舎ニ移リ專任ノ主事ヲ置ク、大正十一年六月四平街圖書館ト改稱、藏書六千冊、昭和四年八月滿鐵厚生會館ノ一部ヲ占居セリ、昭和七年度末、藏書八千冊、昭和十年度ニ一萬冊ヲ越ユ、當館ハ最初ヨリ開架式閱覽ナリ附近六驛居住者へ巡廻書庫發送セリ、昭和八年主事ヲ改メテ館長トス、同年各館ノ相互貸借ヲ初メ本館ノ特殊蒐書ハ宗教哲學教育歷史地誌數學理學家事、昭和十二年十二月一日地方行政移讓ニヨリ滿洲國四平街市ニ移管セララル、同時ニ館屋移轉問題起リ、物色中、南町六番地、元滿鐵消費組合ヲ交渉康德五年五月二十二日厚生會館ヨリ獨立家屋タル現在ノ館屋へ移轉ヲ終了セリ、四平街市立圖書館トシテ現在ニ至ル

## 二、建築及設備狀況

建物 滿鐵不動產會社所有家屋

樣式 普通平家建

總面積 二二三・三〇平方米

閱覽室坪數 八八 平方米



書庫 六八 平方米

事務室其他 六七・三〇平方米

收容人員 五〇名

特別席 八名

計 五八名

### 三、書籍蒐集保管狀況

藏書冊數 日文 一三、三四三冊

滿文 九四一冊

康德六年度末

藏書分類別冊數 (康德六年度現在)

滿蒙	一、二一三冊	數學、理學	五四九冊
事發叢書隨筆	七三九冊	工學、兵事	五二四冊
哲學宗教教育	一、一四七冊	美術、諸藝	九〇〇冊
文學語學	一、六八〇冊	產業	五三〇冊
小說、戲曲	二、二一四冊	家事	二一〇冊
歷史、地誌	一、二五九冊	兒童	九九三冊

備附 新聞

三〇種

雜誌

七九種

康德六年度增加圖書冊數 日文 一、二四六冊

滿文 二五四冊

#### 四、閱覽者狀況

開館日數 二七三日

閱覽者總數 三八、六二八名

館內閱覽者 三〇、二八七名

館外閱覽者 八、三四一名

一日平均閱覽者 一四〇名

閱覽圖書總冊數 五〇、二二七冊

館內閱覽圖書冊數 三四、四八五冊

館外閱覽圖書冊數 一五、七〇二冊

一日平均冊數 一八三冊

閱覽料金 六六三圓五〇錢

館內閱覽 無料

館外閱覽 有料、讀書券發行

一ヶ月券 七〇七枚 二二二圓一〇錢

三ヶ月券 四九三枚 三九四圓四〇錢

六ヶ月券 三八枚 五七圓〇〇錢

### 五、特殊施設狀況

綠蔭圖書館開設

場所 中央公園內

期間 七月十五日 至八月二十日

開館時間 午後一時 至八時

主要讀物 隨筆、修養書、時局關係圖書

兒童圖書、新刊小說、娛樂雜誌

婦人雜誌、寫真帖、主要新聞

閱覽者數 四、二四一名

閱覽圖書冊數 五、三二六冊

一日平均閱覽者數 一一四冊

一日平均閱覽圖書冊數 一四三冊

## 六、職員異動狀況

增員 一名 雜務方

森圖書館長 八月十六日附退職

(前)書記高松正根氏 一月十九日市公署工務科へ轉勤

後任者古川書記 四月十五日附採用

## 七、特別調査研究事項

ナシ

## 八、其他

附帶事業

一、新着圖書目錄發行

隔月

二、寫眞研究會例會

每月一回

三、趣味ノ釣魚會結成

三月二十五日

四、騰寫版印刷講習會

四月

五、寫眞展覽會

六月、十二月

六、綠蔭圖書館開設

夏季三十七日間

七、洋畫展覽會

十月

八、讀書週間

十一月

# 開原圖書館概況報告

## 一、概説

本年度ハ昨年度同様ノ主義ヲ持ツテ引續キ經營セリ特ニ記入スベキ事ナシ滿人閱覽者ハ少數ナレドモ昨年度ニ比シ増加セリ、コレヲ閱覽者ノ數ヨリ見レバ日本内地人、半島人滿洲人ノ順ナリ

## 二、建築物其ノ他設備狀況

館屋建坪一五〇平方米、書架大小三十七個

目錄ハ分類、書名、函架ノ三目錄ヲ備附ク

閱覽者席 大人用、二十九 小人用、十五

## 三、書籍蒐集保管狀況

購入圖書 五〇二冊

受贈圖書 一三三冊

計 六三五冊増加

現在 二二・九八八冊

## 四、閱覽者狀況

閱覽圖書冊數 館内 二一・四八七冊

館外 七・二二八冊

閱覽者數  
計 二八・七一五冊  
兒童男 六・三七五人

同女 三・一〇八人

計 九・四八三人

成人男 一二・三七六人

同女 四・〇九七人

計 一六・四七三人

總計 二五・九五六人

開館日數 二九〇日

收入閱覽料 二六三圓三十錢（讀書券、六五二枚）

## 五、特殊施設狀況

ナ シ

## 六、職員異動狀況

康徳六年一月五日 雇員 久和主税退職

同 年二月十九日同 平野鐵雄採用

現在 日系二名、滿系一名

計 三名

七、特別調査研究事項

ナ  
シ

八、其ノ他

ナ  
シ

# 鐵嶺市立圖書館概況報告

(康德六年七月市へ提出ノ寫)

## 一、概況

鐵嶺市公立圖書館ハ康德四年十二月南滿洲鐵道株式會社ヨリ滿洲國ニ移管セララルル迄卽ニ三十年ノ歴史ヲ有ス然レドモ滿鐵ハ大連竝ニ奉天ノ兩都市ニハ完備セル圖書館ヲ設置シタレドモ其他ノ沿線各地圖書館ハ在住社員ノ慰安ヲ目的ニ簡易ナル圖書ヲ蒐メテ社員俱樂部ニ併設シ專ラ社員ノ慰安ノ具ニ共シ居タルモノニシテ當市ニ引繼ギタル圖書館モ又其ノ一トシテノ體裁ヲ備ヘ居タルニ過キズ從テ滿洲國行政機關ノ公立圖書館トシテノ形ヲ備ヘ直ニ文化機關トシテノ内容ヲ充實シ其運営ヲ全タカラシムル爲ハ研究ト改善ヲ要スルモノアリタリ、依テ當市ハ先ズ娛樂遊場ト區別スル爲康德五年度ニ工費四八〇・四九圓ヲ投ジテ滿鐵社員俱樂部ヨリ之ヲ分離シ市公立圖書館トシテ獨立ノ體裁ヲ整ヘ而シテ康德六年度以降ニ於テハ藏書ノ内容ニ檢討ヲ加ヘルト共ニ之ガ運営ニ必要ナル職員ヲ充實シテ漸次圖書館ノ社會的價值ヲ高メ進ンデ市ノ市民ニ對スル指導精神ノ發散機關タラシメ協和會等トノ連絡ヲモ考慮ニ入レ深ク民衆ノ心肝ニマデ滲透セシムルコトヲ大綱方針トナシ之ガ實現ニ努力中ナリ

然レ共市ハ未ダ創造機ヲ脱セズ依テ諸般ノ行政又改善充實ヲ要スルモノアルニ拘ズ市ノ財政之ニ伴ハザル關係上康德六年度ニ於ケル圖書館費總豫算ハ康德五年度ニ於ケル八・七七五圓ニ比シ六・八五六圓ニシテ一・九一九圓ノ減少ヲ見タルハ甚ダ遺憾トスル處ナリ而シテ過去六ヶ月間ニ於ケル之ガ實行狀況ヲ見ルニ右豫算ヲ以テシテハ現狀維持費ニモ尙不足ノ狀態ニ在リ依テ來ル九月ニハ少クトモ昨年度豫算ヲ中心トシテ現狀維持ノ必要ナル經費ハ之ヲ追加申請ノ豫定ニ付省ニ於テモ圖書館運営ニテスル標準豫算ノ檢討ト之ガ資源ノ捻出ニ付予メ御含ミ置キテ願ヒ度報告通シ希望



ヲ申入ル次第ナリ

一方鐵嶺縣ヨリ引繼タル圖書館ハ之ヲ分館トシテ其盡域内ニ存置シアルモ之ガ活用ノ實跡、位置竝ニ經費等ノ諸點ニ鑑ミ將來ノ運営ニ付テハ相當ノ考慮ヲ要スルモノアリ目下研究中ナリ

## 二 建築物其他設備狀況

本館ハ洋建平屋（康徳五年六月二十五日元滿鐵建兒童俱樂部並ニ家事講習所ヲ譲リ受ケ之ニ改修ヲ加ヘタルモノ）ニシテ其總面積ハ閱覽室

14.61m×9.97m圖書庫7.64m×11.27m新設廊下及便所3m×3.30m玄関2.73m×2.73m其ノ他ニ小物置2.73m×1.82m合計ニシテ廊下ハ屋內廊下トシ閱覽室ト圖書庫ヲ繋ギ其兩測ニ宿直室、物置キ、便所、炊事場ヲ設ケ一般電燈二十八燈其他ニ照明スタンド六個及ヘーチカ八本ヲ備ヘ閱覽室ニハ約四十名ヲ收容シ得ル設備アリ

分館ハ古イ滿人家屋（元警察分所ノ後）ニシテ屋內ヲ圖書閱覽室、新聞閱覽室、分館長室、宿直室炊事場ニ區分シアルモ極メテ粗雜漸ク圖書ヲ保管シ得ル程度ノモノニシテ毎年之ガ補修ニ經費ヲ要スル狀況ナリ

（總建坪、本館七八坪四九合、分館六一坪五七合）

## 三 書籍蒐集保管ノ狀況

本館ノ收藏圖書ハ康徳六年六月末日現在一二、八一五ニ及ビ基本的一般通俗化セルモノ竝ニ滿洲ノ事情、各種傳記、俳書、寫真書、音樂書等ヲ特色圖書トシ新聞ハ七種、雜誌類ハ四十八種類ヲ備ヘ分館ノ藏書ハ康徳六年六月末現在ユ於テ四、五二三冊殆ンド古書ノミトス新聞ハ三種類、雜誌二種ヲ備フ

而シテ圖書ハ十進分類表ニヨリ之ヲ分類シ分類カード、書名カード作成分類番號順ニ排列シテ索引ニ便ナラシメタリ

#### 四、閱覽者ノ狀況

本館ノ圖書庫ハ滿鐵當時ヨリ之ヲ公開シ來リ今尙之ヲ踏襲シアルヲ以テ閱覽者ハ直接書架ニヨリ圖書ヲ求メル事ヲ得ベク極メテ便利ナルモ取扱方館員ト異ナリ亂暴ニ行ハレル關係上圖書ノ命數ヲ短縮セシムルコト夥シ依テ將來公開式ヲ持續スルヤ否ヤニ付目下考慮中ナリ而シテ閱覽者ハ館内閱覽者ト館外閱覽者ノ二ツニ分レ館内ニ在リテハ本館一日平均八十名分館二十名内外ヲ示シ館外閱覽者ハ一日平均五十名内外トス分館ノ館外閱覽者ハ殆ンドナシ

#### 五、特別施設狀況

該當事項ナシ

#### 六、職員ノ異動狀況

康德五年三月十六日館長澤浩退職、康德六年二月十六日事務員杉山銀治退職、康德六年六月七日館長小笠原論文就任セリ

#### 七、特別調査研究事項

(1) 閱覽者ヲ形式的ナ娛樂氣分ノ閱覽ヨリ實質的ナ研讀氣分ノ閱覽ニ透引スル方法ニ付研究中

(2) 文化機關トシテ民衆ニ來館ヲ勸メル爲ニハ凡ユル角度ヨリ受クル要求ニ應ズルノ用意ヲ必要トセルヲ以テ内容充實ニ付苦心研究中

(3) 東亞新體制ト滿洲國獨往ノ政治ニ鑑ミ圖書館ヲ單ナル文化機關トシテ之ガ利用ヲ自由放任ニ委スルコトナク其ノ收藏スル圖書或ハ又附帶事業等考慮シ之ヲ通ジテ滿洲國公民トシテ必要ナル研究ヲ促シ直ニ東亞新建設ノ一員タル市民ハ獲得ニ着意シ之ガ爲

(イ) 協和會運動ト圖書館トノ關係ハ如何

(ロ) 市ノ行政方針ヲ圖書館ヲ通ジテ民衆ニ反映セシムル方法ナキヤ

(ハ) 圖書館自體ノ整備ハ如何

## 八、其ノ他

該當事項ナシ

# 奉天市立八幡町圖書館概況報告

## 一、概 說

(1) 創立 昭和二年五月二十四日

(2) 開館 昭和二年九月十五日

(3) 移讓 康德四年十二月一日 滿鐵ヨリ奉天市へ移讓

(4) 所在 奉天市大和區八幡町十番地

(5) 開館時間 夏季 自午前九時、至午後九時

冬季 自午前十時、至午後九時

(6) 本年度開館日數 二七三日

(7) 本年度閱覽料金 五九六圓九〇錢（前年度ヨリ八六圓八〇錢増）

## 二、建築物其ノ他設備狀況

圖書ノ増加ニ伴ヒ圖書閱覽室ヲモ閉鎖シ僅カニ新聞雜誌ノ閱覽室ヲ殘スノミトナリ愈狹隘トナレリ

## 三、書籍蒐集保管狀況

### (1) 藏 書

(イ) 圖書（康德六年十二月三十一日現在）

部 門 別	藏 書 冊 數		
	前 年 度	本 年 度 增	本 年 度 末
滿 蒙	822	108	930
事業業書隨作	1,245	117	1,362
哲學宗教教育	1,179	171	1,350
文學語學	1,684	159	1,843
小說戲曲	2,288	447	2,735
歷史地誌	1,450	228	1,678
法制經濟社會	1,594	204	1,798
數學理學	495	56	551
工學兵事	486	113	599
美術諸藝	1,020	68	1,088
產 業	754	87	841
家 事	195	12	207
兒 童	1,562	75	1,637
合 計	14,774	1,845	16,619

(ロ) 備附 (新聞十三種)

(ハ) 備附 (雜誌九四種)

(2) 圖書購入方針

(イ) 一 般

一、通俗的ニ記述サレタ一般向ノ圖書

二、大衆讀物及娛樂ニ關スル圖書

三、思想善導及修養書

#### 四、趣味向上ニ資スベキ圖書

(ロ) 藏書ノ特色化

一、商工業ニ關スル圖書

二、スポーツニ關スル圖書

三、奉天市郷土資料

(3) 特設文庫

閱覽者ノ便益ノ爲左ノ如ク文庫ヲ特設公開

商工業文庫

家庭文庫

兒童文庫

滿人讀物文庫

參考書文庫

支那語常備書架

新着圖書書架

#### 四、閱覽者狀況

(1) 館内閱覽

閱覽ハ無料ナレドモ讀書券所持者外ノ閱覽者ハ備附カード目錄ニヨリ所要圖書ヲ檢索シ館内閱覽票ニ記入ノ上係

員ニ請求セシメル

(2) 館外圖書帶出

讀書券所持者ハ自由ニ入庫ガ出來圖書檢索ノ上一冊十日間館外帶出ヲ許ス

讀書券

一筒月券

三筒月券

六筒月券

一筒月券

三筒月券

六筒月券

(3) 六年度閱覽人員調

	館内	館外	計
官吏 軍人公教師	1,041	794	1,835
會社員	2,994	2,639	5,633
農工商	1,948	1,181	3,129
其ノ他	1,425	616	2,041
婦人	1,218	1,406	2,624
學生	2,326	1,397	3,723
兒童男	2,723	398	3,121
兒童女	1,500	142	1,642
滿人	38	1	39
新聞雜誌 閱覽人員	8,782	0	8,782
合計	23,995	8,574	32,569
一日平均	87	31	119

(4) 六年度讀書傾向調

外館		内館		順位
冊數	順分數	冊數	順分數	
四七	小説	二、二六八	小説	一
三八	戯曲	一、六四四	戯曲	二
三四	地誌	一、五九四	文學	三
二二	社會	一、五九四	社會	四
一九	經濟	一、四五六	經濟	五
二七	宗哲	一、四五六	兒童	六
二七	教育	一、四五六	讀物	七
二七	文學	一、四五六	地誌	八
二七	隨筆	一、四五六	隨筆	九
二七	軍事	一、二七九	宗教	一〇
二六	工業	一、〇〇〇	哲學	一一
二六	滿蒙	一、〇〇〇	美術	一二
二六	產業	八三三	滿蒙	一三
二五	兒童	七五五	產業	一四
二五	讀物	七五五	數學	一五
二六	美術	四九五	理學	一六
二六	諸藝	四八六	兵學	一七
二六	理學	四八六	學事	一八
二六	學事	一九五	家事	一九

五、特殊施設狀況

(1) 千代田公園夏季林間文庫開設

(イ) 例年ノ如ク六、七、八月中銷夏奉仕トシテ開設、閱覽無料

(ロ) 納涼讀物トシテ圖書一五〇冊數回收替、雜誌二〇種

(ハ) 開設日數、四三日

(ニ) 閱覽人員總數、三、〇八六名

(内) 男子 一、一〇三名

婦人 五一九名



小兒男 八五〇名

小兒女 六一四名

(ホ) 閱覽圖書 三・六一六冊

(2) 兒童キヤンプ圖書館開設

(イ) 館内狹隘ナルタメ夏季裏庭ニテ開設

(ロ) 開館日數 五六日

(ハ) 閱覽人員總數 一・四〇〇名

(譯譯) 小兒男 八七五名

小兒女 五二五名

(ニ) 閱覽圖書冊數、一・七八〇冊

六、職員異動狀況

(1) 辭職(新)ハ本年度就職者ニシテ退職セルモノ

雇員 中野福藏 二月十四日

同 高桑長彌 二月二十八日

雇員 劉樹芬 六月二十六日

事務員 合志保男 九月十日

(新) 雇員 祁國詮 九月十一日

同 尾池秀利 十月二十九日

(新) 雇員 久保山マツヲ 十一月十一日

(新) 同 岩本正夫 十二月二十二日

(2) 轉入

雇員 田崎注二 十二月一日市水道科ヨリ轉屬

(3) 新採用 退) ハ退職

(退) 雇員 久保山マツヲ 四月一日

(退) 同 岩本正夫 四月二十六日

(退) 雇員 祁國詮 七月十日

同 李植樾 十二月一日

雇員 井上圭子 十二月十一日

(4) 定員及現在從業員

(イ) 定員日系八名、滿系二名

(ロ) 現在從業員

館長 井上正義

司事 田村富男 (經理係)

雇員 田崎注二 (閱覽係)

同 井上圭子 (文書係)

傭人 劉振清 (雜務)

同 李植樾 (同)

(ハ)本年度缺員狀況

目錄係 一名

閱覽係 二名

藏書係 一名

缺員計四名

## 七、特別調査研究事項

A 奉天省圖書館聯合研究會

(1) 四月十八日

移讓ノ各館長へ研究會設立ニ關シ打合會希望ノ案内狀ヲ發送ス

(2) 四月二十九日

滿鐵奉天圖書館ニ於ケル滿鐵側研究會各部總會開催ヲ機會ニ十一館ノ館長參集當館提出「奉天省圖書館聯合研究會」設立ニ關シ内規私案ニ依リ賛同ヲ得タリ

「滿系館員研究會」ニ就テハ私案ノ翻譯ノ上各館ノ賛否照會等ノ件ヲ瀋陽圖書館ニ依頼スルコトニ申合セタリ

3 五月五日

奉天省公署社會科ニ片岡奉天市立瀋陽圖書館長ト共ニ出頭左ノ詔氏ト圓卓會議ヲナシ會ノ設立及會長推戴ノ件等依  
頼シ實施方ヲ省ニ一任ス

社會科長 鄭孝達氏

禮教股長 何濬洲氏

科員 五十嵐賢隆氏

同 郭士縉氏

(4)六月十二日

奉天省圖書館聯合研究會內規公布サル

(5)研究會記事八年報編纂冊子トシテ發行ノ豫定ニ付省畧ス

B 新築計畫案（康德七年度事業計畫）

(1)八月十六日提出

(2)敷地、千代田公園内

(3)建坪

本館平屋九〇〇・五平方米

書庫（二階建將來四階）三二二平方米

(4)建築費、二十二萬圓

(5)閱覽者收容人員

(イ) 圖書閱覽室 九〇名

(ロ) 新聞閱覽 三〇名

(ハ) 雜誌閱覽 四四名

(ニ) 兒童席 三〇名

(ホ) 特別閱覽室 三二名

計 二二六名

(C) 業務研究事項

(1) 金曜會

第一回講演者、井上館長

講演內容

(イ) 八幡町圖書館沿革

(ロ) 事務組織

(ハ) 執務心得

第二回講演者、尾池館員

北京見學感想

第三回講演者、井上館長

(イ) 館員事務分擔ニ就イテ

(ロ)参考事務ニ就イテ

第四回講演者、久保山館員

岩 本館員

就任以來ノ感想

(要旨)内地ノ圖書館員ニハ老人ガ多イガ滿洲ノ圖書館員ハ明朗健康ナ若人ガ多イ他社等ニ見受ケタル様ナ遅刻

早引等故意ニサボル人ガ無ク、各自ハ自發的ニ活動シテイル

事務的方面ハ整然トシテキル

缺點ヲ擧グレバ執務中高聲デ方言混リノ雜談ガ多イ

圖書ノ破損ガ甚グシイ防止策ヲ研究ノ要アリ

第五回講演者、田村館員

天孫種族トハ如何ナル民族ナルカ

(2)個人業務研究(井上館長)

「公立圖書館員執務常識」八二頁原稿本編輯内要

一、緒言

一、八幡町圖書館沿革畧誌

一、事務分擔

一、執務心得

一、執務時間

一、康德六年度豫算表

一、文書分類表

一、定例事務報告年報

一、閱覽係執務目錄(樣式)

一、圖書カード目錄種類

一、圖書整理事務過程

一、著者記號

一、圖書ラベルノ種類

一、特設文庫

一、圖書館標語

D 閱覽人照會圖書調查事項

一月	三六件	二月	二六件	三月	二六件	四月	二五件
五月	一五件	六月	二四件	七月	二四件	八月	二〇件
九月	八件	十月	二〇件	十一月	二六件	十二月	一〇件

# 撫順市立圖書館概況報告

## 一、概況

本年間當圖書館ノ狀況概畧左ノ如ク

### ○建築及設備狀況

- (イ)ラヂエーター破損修理(二個)
  - (ロ)電話機移轉(一臺)
  - (ハ)書架新製(三個)
  - (ニ)閱覽者用椅子新製(三十個)
  - (ホ)告知板新製
  - (ヘ)迴轉式謄寫版購入(一臺)
  - (ト)書架床板ベント塗
  - (チ)新刊書陳列棚作製(二箇所)
  - (リ)黑板購入(一個)
  - (ヌ)閱覽者用一人掛椅子レザ―取換
  - (ル)リノリウム張床修理
- 書籍蒐集保管狀況



書籍ノ蒐集ニ當ツテハ本館ノ最モ力ヲ注グトコロニシテ大體左ノ如キモノ、蒐集ニ力ム

滿蒙、文學、兵事、工學、産業等

### ○閱覽者狀況

統計上ニ表ハレタル閱覽冊數ハ館ノ内外ヲ通ジ文學書類ヲ最高トシ、工學、兵事、歴史、地誌等コレニ次グ、又人員ハ館内ニ於テハ會社員、學生ノ順序ニシテ館外ハ會社員、一般ノ順序トス

### ○特殊施設狀況

社會教育、趣味養成ノ趣旨ニヨリ開催シ來ツタ「文化講座」ヲ一月ニテ一マズ中止シ、遠隔ノ地ニ文化ノ不目出ナル松岡町輕金屬従業員竝ビニ家族ノ爲メニ「夏季出張奉仕」トシテ出張圖書館ヲ催シ多大ノ成績ヲ收メタリ、尙「圖書館週間」トシテ不用圖書ノ交換會ヤ優良圖書ノ展觀ヲ開催シ又「圖書館案内」ヲ毎月撫順新報紙上ニ發表、閱覽者ノ便宜ヲハカリ炭ノ光紙上ニテ「新着圖書案内」ヲ毎號掲載シ炭礦従業員ノ知識慾ヲ誘導セシメ、尙「圖書館報」ニテモ、其ノ他種々ナル論文、隨筆等ヲ發表毎月行事タル「レコード鑑賞會」ハ益々ゾノ質的向上ヲ加フ

### ○職員異動狀況

轉出者 七名、 轉入者 七名、 登格 三名

### ○特別調査事項

郷土資料蒐集保存ノ爲遺跡發掘、發見等ニ盡力ス又圖書館事務研究ノ爲メ金曜會ヲ設ケ各自ノ研究ヲハカリ奉天省圖書館聯合研究會ニハ隨自出席ス

### ○其ノ他

圖書展、美術展、寫真展、手工藝展、社員會婦人部レコード鑑賞會、撫順文學研究會編輯會、吾妹會、陶畫等展アリ  
多數ノ來館者アリタリ、本館ニテハ時局ニ應ジ傷病兵慰問ノタメ圖書雜誌ノ募集ヲナシ少ナカラズ成績ヲ收メ又女子  
國民高等學校生徒立ニ中央優級國民學校生徒ノ厚意アル勤勞奉仕ニヨリ書庫及ビ庭園ノ清掃ヲ見タリ、  
主ナル來館者六十二名

## 二、建築及設備狀況

1、ラジエーター破損修理（二個）

價格 三〇圓

2、電話機移轉（一臺）

事務能率増進ヲ圖ルタメ事務室机ノ配置變更ニ伴ヒ電話機ヲ移轉ス

價格 一八圓五〇錢

3、書架新製（三個）

價格 二二〇圓

4、閱覽者用椅子新製（三〇個）

價格 一八〇圓

5、告知板（一ヶ）

玄關先告知用

價格 五〇圓

6、廻轉式騰寫版（一臺）

價格 二五〇圓

7、書庫床板ペント塗

價格 五〇圓

8、新刊書陳列棚作製（二ヶ所）

價格 六六圓四〇錢

9、黑板購入（一個）

價格 一四圓五〇錢

10、閱覽用一人掛椅子レザ―取換（五〇個）

價格 九一圓

11、リノリウム張床修理（一平方米）

價格 三三圓

### 三、書籍蒐集保管狀況

1、年度末藏書冊數

新聞 二四種、 雜誌 一六〇種

2、受贈圖書 六八八冊

見積價格 九四五圓六九錢

四、閱覽者狀況

1 閱覽人員之部

閱 覽 人 員	總 人 員		84,402
	圖	合 計	51,848
		計	31,368
		社 員	12,684
		社 外	5,533
		婦 人	2,120
		學 生	10,443
		兒 童	588
	書	計	20,480
		學 生	4,078
		社 員	11,879
		社 外	2,844
		婦 人	1,653
		兒 童	26
計		32,554	
新 聞	14,042		
雜 誌	6,999		
自 習	11,593		

2 閱覽冊數之部

部 門	計	館 內	館 外
合 計	69,138	41,730	27,408
滿 蒙	1,719	1,323	396
事 隨	1,458	1,026	432
哲宗教	3,125	1,968	1,157
文 語	7,600	4,167	3,433
小 戲	27,974	14,946	13,028
歷 地	4,676	2,711	1,965
法社經	3,236	2,034	1,202
數 理	3,774	2,855	919
工 兵	8,552	5,810	2,742
美 藝	4,066	2,820	1,246
差 業	2,111	1,313	798
家 事	866	323	45
兒 童	481	436	45

一 月 平 均	冊 數	計	館 內	館 外
	人 員	5761,5	3,477,5	2284,0
一 日 平 均	冊 數	計	館 內	館 外
	人 員	7033,5	5324,8	1706,7

一 日 平 均	冊 數	計	館 內	館 外
	人 員	212,7	128,4	84,3
一 日 平 均	冊 數	計	館 內	館 外
	人 員	259,7	196,7	63,0

### 3 閱覽料金

七四、五四九〇錢（自康德六年一月至同十二月）

### 4 出張圖書館閱覽狀況

松岡町輕金屬出張圖書館（七月十五日ヨリ八月十三日迄）ノ統計ハ前記ノ統計表ノ中ニ含マシテイルモノヲ是ヲ別  
ニ表ハセバ

（イ）開館日數 二五日

（ロ）入館者總數 一、一二五人

（ハ）一日平均入館者數三八、八人

（ニ）圖書總冊數 二、三三四冊（閱覽）

（ホ）一日平均閱覽圖書冊數 八〇・〇四冊

## 五、特別施設狀況

### 1、文化講座

成年教育施設トシテ昨年ヨリ引續キ開講シタ文化講座ハ本年一月末第九講ヲ以テ一マズ終了

### 2、夏季出張奉仕

住居偏在、交通不便ノ爲メ來館出來難キ輕金屬會社従業員及家族ニ讀書ノ機會ヲ與フル爲左ノ通り實施セリ  
場所 撫順松岡町輕金屬株式會社俱樂部内

期間 自康德六年七月十五日

至康徳六年八月十三日

方法 イ、書籍數 約五〇〇冊

ロ、時間 自午後一時

至午後九時

ハ、讀書借用料金 無料

ニ、出張所圖書ハ本館ノモノト一週間毎ニ入換ス

三 圖書館週聞（十月七日ヨリ同十三日迄）

ホスタ―七十枚作製各個所貼布竝撫順新報紙上及圖書館報ニテ宣傳ス

（イ）不用圖書交換會

十月二日圖書蒐集ノタメ宣傳ビラ五〇〇〇枚謄寫刷トシ炭鑛事務所便へ依頼配布ス、同十日ヨリ發賣開始集リタ

ル圖書二五〇冊内賣却圖書二二〇冊

（ロ）映畫スタ―似顔繪展覽會

安武秀之氏、鎌田氏、徳永氏等作品併セテ四十七點出品多數ノ參觀者アリ 參觀者一、三一七名

（ハ）優良圖書ノ參觀

本館藏書ノ内日本圖書館協會誰薦圖書二一〇冊ヲ陳列閱讀獎勵ス

イ 圖書館案内

毎月一日撫順新報紙上ニ於テ閱覽者ノ便宜上圖書館案内ヲ掲載ス

5 新着圖書案内

「炭の光」紙上ニ於テ毎號(月二回)炭鑛従業員ノ爲メ新着圖書紹介ヲ掲載ス

6 圖書館報

百號(一月)ヨリ百十一號(十二月)マデ發行各個所ニ頒布

7 レコード鑑賞會

市民ニ高尚ナル趣味ヲ啓培情操ノ教育ヲ試ミンガ爲レコード鑑賞會ヲ開催ス

第三十一回(一月ヨリ第四十二回(十二月)迄

六、職員異動狀況

1 異動

(イ) 轉入者

五月一日 傭人 陳寶瑞

五月五日 同 韓福銘

五月十五日 吏員 劉榮宗

六月二十六日 同 石東友與

八月四日 傭人 王明順

八月二十四日 臨時傭人 山上順子

十一月二十二日 同 植登志

(口)轉出者

四月四日 傭人 張國勳

四月二十四日 同 趙潤芝

六月五日 雇員 山本光雄

七月一七日 傭人 李寶庫

九月二一日 臨時傭人 山上順子

十月二五日 雇官 田端宣貞

十二月二六日傭人 韓福銘

(ハ)登格

六月一日 任撫順市雇官 雇員 田端宣貞

同 同 日野忠近

委任官試補 同 安武秀之

七、特別調査研究事項

1 金曜會

毎月金曜會一時間宛館員相互ノ資料向上ノ爲各自研究發表ス

2 研究

渡邊館長撫順背後地ノ調査ヲ成シ「史蹟永陵」三十四頁ノプリント竝ニ撫順新報紙上ヲ以テ發表(七月二十八日)



- 3 渡邊館長圖書館聯合研究會出席ノ爲奉天へ出張
  - 4 渡邊館長圖書館聯合研究會第一部第二回委員會出席ノ爲メ鐵嶺市へ出張(九月十八日)
  - 5 田端、日野、安武、石束、館員圖書館講習會出席ノ爲メ奉天へ出張(九月二十八日・三十日)
  - 6 渡邊館長建國大學囑託トシテ興京桓仁縣方面へ史蹟調査ノ爲メ出張(十月十四日二十二日)
  - 7 圖書館聯合研究會第一部部會ヲ特別室ニ於テ開催出席人員十九名(十月二十八日)
  - 8 渡邊館長圖書館聯合研究會出席ノ爲メ瓦房店へ出張(十一月十日・十一日)
  - 9 日野館員圖書館聯合研究會出席ノ爲メ遼陽へ出張(十一月二十四日・二十五日)
  - 10 渡邊館長滿洲國圖書館協會發會式出席ノ爲新京へ出張
- 八、其ノ他
- 1 日本精神發揚圖書展觀旬間(二月十日―二十日)  
精神作興週間ニ即應スル爲メ開催ス、百數十冊ニ互ル關係圖書ヲ陳列シ閱覽者ノ展觀ニ供ス
  - 2 矢崎千代二畫伯パステル畫展覽會開催(三月六日)
  - 3 滿洲觀光協會寫眞展覽會開催(六月十一日―同十二日)
  - 4 撫順光畫クラブ藝術寫眞展覽會開催(六月二十二日―同二十五日)
  - 5 奉天省立女子國民高等學校生徒五名七月二十七日ヨリ向フ五日間勤勞奉仕ニ來ル專ラ書庫清掃ニ當ル
  - 6 中央渡級國民學校生徒約百名勤勞奉仕ニ來ル庭園清掃ニ當ル(七月二十七日)
  - 7 傷病兵慰問圖書募集(八月三日)

陸軍病院ノ傷病兵ニ慰問スルタメ教育團體其ノ他ヲ動員シテ左記ノ通り蒐集直チニ發送セリ

婦人雜誌二〇〇冊、週刊雜誌三五一冊一般娛樂雜誌六〇四冊單行本五五冊 合計一、二一〇冊

8 東來うらら會主催「手工藝品展」開催（八月十六日）

9 社員會婦人部主催レコード鑑賞會（十月、十一月二回）

10 撫順文學研究會編輯會隔月ニ六回開催

11 陶畫即賣展覽會（十二月二十三日―同二十六日）

撫順美術同好會主催ノモトニ本館新聞閱覽室ニ於テ左記ニ依リ開催

材料提出 津風呂一丹氏（女學校）

畫 手 津風呂一丹氏（同）

安武 秀之氏（圖書館）

鎌田方晴氏（女學校）

徳永耀之氏（輕金屬）

出品點數 八五點

賣却數 三五點

賣却額 三八圓

12 主ナル來訪者

天津鐵道局總務處厚生科圖書室 川村耕三氏 圖書館視察

滿鐵大連圖書館司書主任

大佐三四五氏 圖書館視察

哈爾濱市立圖書館長

山口順平氏 同

遼陽市立圖書館長

瀧猪之助氏 同

新屯小學校長

篠原氏 同

滿鐵總裁

松岡洋右氏 同

滿鐵顧問海軍中將

川原宏氏 同

撫順炭鐵次長

大田雅夫氏 同

海軍少將

田結摺氏 同

海軍中佐

有元寬氏 同

撫順炭鐵石炭液化工場建設事務所深山達藏氏 同

奉天省長官房地方科

下川弘氏 同

滿鐵地方部殘務整理委員

伊豆川敬治氏 同

滿洲國立中央博物館副館長

藤山一雄氏 同

滿日文化協會

杉村勇造氏 同

滿鐵總局資料課

磯村幸男氏 同

撫順縣公署庶務課長

阿久津茂氏 同

建國大學教授文學博士

高葉岩吉氏 同

民生部古跡保存會長 廣松健二郎氏 圖書館視察

民生部編審室 大宮權平氏 同

建國大學研究院 伊藤博氏 同

帝國秘密探偵社滿洲支局長 古田恒治氏 同

奉天省民生廳社會科 邵立棟氏 同

奉天省省長 金榮桂氏 同

奉天省興京縣副縣長 赤塚亘三郎氏 同

東大文學部副手 小林知正氏 同

同 講師 駒井和愛氏 同

奉天省立撫順女子國民高等學校長 岳德勳氏 同

東京女子學習院教授 野崎泰秀氏 同

武藏野學院主 吹本喜一氏 同

建國大學教授 向井章氏 同

岐阜縣教育視察團 二十三名

本溪湖圖書館長 山口孝吉氏 同

永陵警察廳長 花菱氏 同

東大教授文學博士 原田淑人氏 同

著述家

滿鐵弘報課

滿鐵本社總裁室弘報課

滿鐵奉天圖書館司書主任

撫順新報社長

鞍山市公署管理科

白柳秀湖氏 圖書館視察

千田萬三氏 同

一色辰夫氏 同

植野武雄氏 同

窪田利平氏 同

松原儀雄氏 同

以上六十三名

# 本溪湖市立圖書館概況報告

## 一、概況

思フニ讀書ノ必要ナルヤ國運ノ發展文化ノ消長殖産工業ノ發展ニ至ル迄讀書ニ依リテ其ノ進歩ヲ促サザルハナシ  
移管後第二年日即チ五年度ニ於テ實施シ來ル如ク客觀的情勢ヲ多分ニ取入タル經營方針ニテ一律全市民ノ圖書館ナラ  
シム爲メ積極的ニ讀書趣味ノ向上竝ニ圖書館事業ノ宣傳普及ヲ圖ルタメ地域邊陲ニシテ登館ニ便ナラズ或ハ業務多忙  
ノ故ヲ持テ之ニ通フ能ハザル民衆ノタメ巡迴文庫設置ノ準備竝ニ新刊圖書ノ個人注文引受休館日ニ限り各種會合ノ場  
合閱覽室ノ貸與ヲナシツ、アリ

尙前年度トノ閱覽者比較ヲ見ルニ

五年度 五三・六五〇名

六年度 六一・六三二名

即チ前年度ヨリ八・五三二名ノ増加ナリ

讀書券（館外帶出料金ニ於テハ煤鐵公司ニテ引去坡中止セル關係上十圓十錢ノ減收ヲ見タシ共七年度ニ於テハ增收ノ  
見込有リ）

五年度 五百貳拾六圓拾錢

六年度 五百拾六圓

減收 拾圓拾錢

圖書蒐集ニ於テハ土地柄鑛工業參考書第一位滿蒙、法、經、社、小説ト蒐集、方針ナレド鑛工業參考書籍購入豫算ノ關係上別紙ノ通りナリ

寄贈書籍ハ四四七冊ナレド人員整備ノ上今後ニ待テ蒐集ニ勉メル方針ナリ

二、建築物其ノ他設備狀況

一、兩面書架 一ヶ増設

二、片面子書架 一ヶ増設

三、辭書臺 二ヶ増設

四、兒童用桌子 一ヶ増設

三、圖書蒐集保管狀況

部 門	藏 書		冊 數		備 考
	前年度末	本年度末	前年度末	本年度末	
滿 蒙	七八四	一一八	九〇二		
總 記	四九九	五二	五一		
哲 宗	六三五	三一	六六六		
文 學	一、三八一	六六	一、四四七		
小 說	一、四九八	一二八	一、六二六		
地 說	一、〇九七	七六	一、一七三		

四、閱覽者狀況

職業別	館	內	館	外	雜	誌	新	聞
農業				六二四				
商工業者		二、七六七		四、二九九				
會社員		九、九六八		一、一四〇				
官公吏軍人		四、七五九		一八五				
教育者		九四二						

法經社	一、一六四	一〇〇	一、二六四				
數學理	三三三	二二二	三五五				
工學兵事	三七七	八六	四六三				
美藝	六四四	二〇	六六四				
產業	四〇六	二二	四二八				
家事	一八四	五	一八九				
兒童	四九六	二〇	五一六				
計	九、四五八	七四六	一〇、二〇四				



宗教家	一九五	八三		
婦人	二、四三九	一、〇五七		
學童	一五、三八一	一、二六〇		
其他	二、八五九	九九九		
計	三八、九〇九	九、二四三	六、三八七	七、〇九三

總人員 六一・六三二

五、特別施設狀況

ナ シ

六、職員異動狀況

館長 出口 考吉 九月二十一日 依願退職

雇員 西村 正人 九月八日 附街公所庶務課へ轉出

雇員 松尾 鹿之助 九月八日 附庶務課ヨリ轉入

臨時暖房夫曹 鴻飛 十月二十日 採用

七、特別調査研究事項

ナ シ

八、軍警慰問ノ爲メ古雜誌四五冊在郷軍人會ヘ寄贈

一、新着圖書案内安奉毎日紙上掲載

一、市制實施紀念及圖書館事業普及

市内日滿各學校生徒作品展覽會開催 入場人員 約一・三〇〇人

一、圖書館報發刊準備

# 遼陽市立圖書館概況報告

八六

## 一、概況

康德四年十二月一日滿鐵會社ヨリ移管セラレシヨリ早ヤ一ケ年ヲ闕シ着々新興遼陽市竝ニ公共圖書館トシテノ面目ヲ持シ其ノ使命達成ヘ盡力シ來リ、然レドモ時恰モ聖戰下ノ國家的非常時局ニ遭遇シ物的竝ニ人的資源ノ逼迫ヲ來シ初期ノ實行案ノ全面的結實ハ見ラレザリシモ精勤竝滿洲國ノ文化普通潤澤ヘ意ヲ用ヒ民衆ノ時局認識ヘ側面的助力ニ拍車ヲ加ヘ得タルコトハセメテモノ收獲ナリキ

人的其他ニ起因シ現狀維持ヲ余儀ナクセラレシモ活潑ナル活動ノ跡ヲ省ルトキ新年度ヘ對シ新クナル仕事熱ガ加速的ニ浸透スレヲ覺ユ

備考

第二項以下ハ本年度實施セシモノ、ミニ限ラズ現狀ニ關聯アリト思推スル事項ニハ過去ニモ遡リテ可成詳述ノ記述體ヲ採レリ

## 二、建築物及設備狀況

### 1、閱覽室及書庫

本館ノ閱覽室ハ定員四十名ヲ持ツ室ト別ニ約三十名ヲ收容シ得ル兒童室トヲ設ケアリタルモ書庫ノ設備ナキ爲昭和九年度ニ於イテ兒童室ヲ廢止シ爾來コレヲ書庫ニ代用シ來レリ、然レドモ急増スル人口ニ對比シ圖書ノ増加モ年々加速サレ從來ノ設備ニテハ甚シク狹隘ノ告グルニ至レリ然シテ前年度（五年度）ニ於イテ一般閱覽室ニ迄モ書架十

二個ヲ配置スルノ止ムナキニ至レリ

尙現在新興都市トシ日ニ日ニ人口増加ノ道ヲ迪リツ、アル當市ハ有識讀者層ノ増加ニ平行シ閱覽要求圖書ノ數量モ増加セラレ順次購入配置セントスルモ書架ノ設置個所無ク特設文庫等（例ヘバ郷土資料文庫、書架 推薦圖書書架等）モ計畫ト實施ト相違ハザルノ憂キ日ニアリ

尙又來年度（康德七年度）ヨリ城内分館ヲ閉鎖シ從來滿系閱覽者圖書利用狀態ヨリ則シテ左ノ如ク城内分館ヲ分割スルコト、ナレリ

一般滿系閱覽者ノ利用率高キ圖書竝新聞雜誌及日語普及ニ關スルモノ等ヲ民衆教育館内圖書室ニ收容シコレヲ供覽ス

現在迄概ネ死藏セラレ來シ高級圖書ハ總ベテ本館ノ藏書トナシ貴重本竝ニ漢籍本來ノ使命ヲ全ウセント期セリ  
前述ノ如ク書庫無ク館内狹隘ヲ告グ現狀ニ尙且是等ノ漢籍ヲ本館ニ移管スルハ事實上不可能ナル爲メ一時的便法トシテ民衆教育館ニ保管ヲ依託スルコト、ナリ折角ノ廣汎ナル圖書利用法モ死骨ト化スルノ感アリ

天井壁及屋根

昭和三年本館ノ竣工以來修繕スルコトナク風雨曝スガ儘ニ爲シ來リ、雨漏ノ如キモ雨期ニ至レバ數ヶ所ヲ越ユ慘狀ヲ呈セシ故資材入手困難ノ時期トナリシモ敢然修理ヲ斷行セリ、屋根瓦ノ總葺替ヲ了ヘ漸ク雨漏ノ厄ヨリ逃レ得タルモ白壁ノ汚レ（内外共）窓枠ノ剝脫等ハ時局柄本年度ハ默過セリ

コレ等ハ來年度（七年度）ノ豫算ニ計上セリ

3 暖房及採光

ペーチカ暖房モ竣工時ノ儘ナリシモ康德四年滿洲國へ移管サレル直前七本ノ内一本ノミ築替ヘヲナセリ、然ル處本年度前期ニ殘部六本ノ内五本迄漏火ノ恐レアルニ付本年度曝書期ヲ利用シ九本共築替ヘヲ完了セリ

ペーチカ暖房ニ依ル保温ノ價值範圍ヲ見ルニ嚴冬期ニ於テ六十五度ヲ保温センニハ相當ノ石炭消費ヲ見石炭ノ消費量ヲ倍加スルトシテモ案外溫度ノ上昇ヲ見ズ、思フニ閱覽人ノ激シク又夜間消火ニ依ル室内溫度ノ底下又本館ノ週圍ニ家屋ナク北風ヲ防グベキモノ無ク等ニ起因スルヤト燃料節約ノ時局ニ處シ相當ノ本館經營ノ凜タルノ恨ミアリ

採光ノ點ヲ思フニ書庫ノ設備ナキ爲メ閱覽室トシ設計サレタルニモ不拘書架ノ配置等ニヨリテ不利不備ノ點ヲ招來シ晝間ト言ヘドモ事務及書架閱覽室ノ一部等ノ電燭ノ力ヲ借ルノ現狀ニアリコレラモ電力節約ニ相當ノ反響アリト思推ス又第二世ノ近視等ニモ思ヒ致サバ忽セニ出來得ザルコトナリ猶内壁ノ反射光度ノ弱度ハコレラノ不備ニ拍車ヲカケルノ結末トモナレリ故ニ來年度ハ内壁ニ塗替ヲ暖房撤去期ニ萬難ヲ排シ決行セントス

採光竝ニ暖房ノ問題ハ圖書館經營竝第二國バノ健康或ハ國民體育力へ重大ナル影響ヲ持ツモノナルガ故ニ隨時意ヲ用ヒ適宜便法ヲ講ジツ、アリ

#### 4. 書架

不足ナル書架ヲ補充シ不統一ナリシモノヲ一括整備セント計畫シ來レルモ資材入手困難ノミナラズ時局柄一切中止シ修理可能ノモノヲ改修シ使用セリ

#### 5. 本年度購入備品

三年來ノ宿望ヲ達シレコードコンサート用蓄音器一臺ヲ購入ス

(後述附帶事業欄参照アリタシ)

騰寫版 一臺

巡回文庫用圖書箱 七個(特殊施設欄参照アリタシ)

### 三、書籍蒐蒐保管狀況

#### 1、蒐集目標

イ、讀者有識者間ノ希望竝傾向ヲ斟酌シテノ希望ニ副ハントス

ロ、余リニモ東門的ニ渉ル圖書ハ購入セズ

ハ、文部省其他圖書館協會等ニ依ル推薦圖書ハ出來得ル限り蒐集ニ努ム

ニ、郷土資料ニ關聯セルモノ

ホ、趣味、時局、文學、隨筆、涵蒙、支那等ニ重點ヲ置キテ選擇ス

ヘ、以上ノ觀點ヲ持シ購入ニ際シテハ現品閱讀ヲ主トシ目錄或ハ廣告ニ依ル購入法ハ可成避ケタリ

#### 2、保管狀況

本館ノ創立ハ明治四十三年十月三十一日ニシテ相當古キ圖書モアリ順次廢棄ノ止ムナキモノアリ(主ニ法律經濟)

其他當市ノ消長ニ順ゼル年代ニ購入セルモノニ多小ノ不完アレドモ概シテ順調ノ課程ヲ辿レリ

書庫無キ爲館内狹隘ヲ告ゲ昭和九年度ニ於テ兒童室ヲ廢止シ次イデ兒童圖書一、〇九四冊書架七個ヲ遼陽尋常高等

小學校ニ移管シ兒童文庫ヲ開設シタリ 次イデ兒童圖書ノ購入ハ主トシテ同校ニテ爲セルモ偶々本館ヨリモ補充セ

ルモノアリ然シテ同文庫ヲ見ルニ現品ノ閱覽ニ耐ユルモノ僅少ニシテ回收ノ余地ナク故ニ前年度(康德五年度)一、

○九〇冊ヲ同校ニ保轉シタリ、其後兒童ノ向學心時局ト共ニ増進ノ趨勢ニアルヲ觀テ兒童室設置迄ハ消極的ナレ共順次僅少ノ良書ノミヲ購入シ兒童文庫書架ヲ本館ニ再設シ整備シツ、アリ  
其他統計的報告ハ統計表ヲ參照アリタシ

#### 四、閱覽者狀況

##### 1、館内狀況

春秋ノ二季ニ次ギ冬季・夏季・ハ最モ少ク午後三時前後ヨリ中等學校生徒三四十名ノ登館者ハ毎日殆ンド下ラズ、概ネ午前中其他ノ時間ハ研究竝自習ノ閱覽者十名前後ヲ數ヘ勤務明ケヲ利用スル社員ノ閱覽者ハ日ヲ遂フテ増加シ婦人閱覽者層モ順次讀書力濃厚ノ道ヲ辿リ來レリ（附帶事業欄參照アリタシ）思フニ特別室、兒童、婦人室其他新聞閱覽室等モ設備アレバ特殊來館者ノ急増ヲ見シニ現狀ニテハ先ヅル割程度ノ運用ヲ致セリト思推ス

##### 2、館外帶出狀況

館内狹隘特殊の閱覽室缺如ニ依リ館内閱覽ヲ理想的ニ活用スルヲ得ズコノ反面ニ館外帶出ハ頻繁ヲ極メ特ニ讀書層ヘノ能動的勸誘ハ效ヲ奏シ圖書ノ運用率活潑ナリ、特殊研究閱覽者ニハ適宜圖書ノ一括帶出ノ許可シ後述ノ「巡回文庫」「友の會」「座談會」「レコードコンサート」等ヲ利用シ推薦圖書ノ對外進出及宣傳ニカヲ注ギ「俳句會」「川柳會」ヲ仲介トセリ讀書層獲得ハ案外ノ實績ヲ舉ゲツ、アリ

尙新刊雜誌帶出制新設（後章ニ詳シ）後ハ普通一般圖書ノ帶出モ激増セリ

#### 五、特殊施設狀況

##### 1、兒童文庫

先キニ圖書ノ保管狀況中ニ述ベシ如キ狀態ニアリ兒童室或ハ婦人兒童室等ノ設置ヲ見ザル迄ハ現狀ノ如ク消極的吸引並以外方法ナシ、若シモ之ニ意ヲ注ギカフ至セズ折角上昇シツ、アル一般閱覽者層衰退ヲ招キ腴肉ノ嘆ヲ發スルノ難アリ 良書選擇ヲ以テ第一目標トス

#### 六、防空施設

昭和十三年七月上旬當地防空演習實施、際本館ヲ防護團本部トナシ同演習中モ閱覽ヲ開放セシニ其ノ實蹟頗ル好成績ナリキ、周圍綠林ニ包圍サレ人家殆ンド無ク最モ目標ニサレ勝ナル位置ニモ不拘有ノ實蹟ヲ擧ゲシハ設備ノ完璧ヲ率先シテ爲セル結果ナリ

#### 三、郷土資料

遼陽附近ヨリ發見サレ或ハ發掘セラレタル考古資料ヲ陳列所藏ス目錄別紙ノ如シコノ外名所舊蹟ノ寫眞十九點ヲ掲グ

#### 四、巡回文庫

市民ノ本館迄出向キ難キモノ多キヲ觀、積極的貸出ニ依ル外ナキト知り巡回文庫ヲ設ケタリ、右廻付ヲ受ク箇所ヨリハ歡迎サレ一方館内ノ狹隘ヲ緩和シ書架ノ利用率ヲ高メ期セズシテ一石二鳥ノ役ヲ爲セリ

現在ハ市公署、縣公署、警察廳、電業、小學校、軍犬育成所、陸軍病院以上ノ七ヶ所全部奉仕的ニ無料提供ナリ毎月一回乃至二回ノ交換ヲ行フモ團體箇所各々ノ希望ニ依リ交換日一定ナラズ

#### 五、新刊雜誌帶出制度

綜合雜誌娛樂雜誌等ノ月遲レ帶出ハ從來ヨリ實行サレツ、アリシモ各種一冊迄ノ備附雜誌ハ閱覽回数及帶出利用回



數ヲ見ルニ本來ノ如キ使命ヲ盡サズシテソノ汚損閱覽ニ耐ヘズ又一時ニ希望者ノアリテ借覽日ノ重複ニ係員ヲ困却  
 サス等ノ弊アリ節約斷行ノ時局ノ波ニモ適合スト信ジ新刊雜誌帶出制度ヲ設ク・コレノ新設ヲ見ルヤ利用者激増シ  
 一般圖書帶出ニモ拍車ヲ加ユルノ效果ヲ見ツアリ

現在新刊帶出制ニ依ル雜誌類ハ次ノ四種類ナリ **キング**・日の出・富士、講談俱樂部 **オール**讀物、新青年、改  
 造、中央公論、文藝春秋婦人公論 婦人の友、婦人俱樂部、婦人界、主婦の友

#### 6. 相談部

種々ノ研究竝ニ調査ニ就イテノ閱覽者ト協力スルコノ部ハ館長ノ擔當トナシ本館ニ藏スル圖書ノ利用ハ勿論他館ト  
 ノ聯絡或ハ圖書借覽ヲナシテ調査研究ノ資トナシ閱覽者ノ時間的能率的援助ヲ成シ他館員ノ愛書心、圖書利用範  
 圍ノ向上竝ニ範例ノ口火トモナシ順次有意義ナル部トナリ來タレリ

### 六、職員異動狀況

1. 館長 瀧猪之助 康德六年六月十日華北交通株式會社へ轉職ニ依ル退職

2. 備人 噓 春雨 康德六年十月八日退職

3. 館員 司事 深井 章 康德六年六月十五日館長へ昇格

4. 備人 陳廣豐 右後任トシテ康德六年十月九日新採用

5. 分館長 張德瑩 雇員 宮本一技

雇員 李德風 備人 陳寶實ハ前年通り勤務中

6. 深井 章 館長昇格ニ伴フ事務手一名缺員中

## 七、特別調査研究事項

1. 當地忠靈塔竣工記念並觀光遼陽案内書トシテ計畫サレタル「遼陽遊行ノ編輯ニ際シ總館長之ニ專念シ之ヲ完成ス  
2. 古蹟保存會ノ趣旨ヲ帶シ附近古蹟ノ調査ニ盡力ス

「燕州城及缸官屯案内」ヲ騰寫シ同地ニ團體ト共巡行ス

3. 遼陽ノ郷土詩蒐集ヲ勵シ現存モ續行中

4. 奉天省圖書館聯合會ニ加入シ相共ニ圖書館研究ノ地歩ヲ固メツ、アリ

5. 前記ノ聯合會主催ニ依ル「館員講習會」ニ館長出席シ得ル所大ナリキ

## 八、附常事業

1. 陸軍病院ノ傷病將士慰問ノ爲圖書寄贈或ハ慰問レコードコンサート慰問短冊色紙贈呈、白衣ヲ圍ム俳句會、川柳會等數次ニ亘リテ爲セリ感謝狀等ヲ受ク

2. 俳句會 昭和十二年九月以來毎月一回乃至二回例會ヲ開キ會報トシ「朗吟帳」ヲ發行ス

3. 川柳會 コレモ前記ノ會トハ別個ニ昭和十二年九月以降ニ毎月一回乃至二回例會ヲ開キ會報トシ「塔麓人」ヲ發行ス然レ處康德六年六月ヲ最後ニ物資節約ノ見地ヨリ「朗吟帳」「塔麓人」ノ二會報ヲ廢刊シタリサレド兩句會ハ現在モ尙ホ續行シ確固タル地歩ヲ把持シ居レリ

4. レコードコンサート 昭和十二年十月以降毎月或ハ隔月ニ舉行シ娛樂機關少ナキ當地市民ヨリ好評ヲ受ク頭初

ハ名曲鑑賞ヲ主トセシモ大衆ニ迎合セズ順次新譜紹介ト名曲鑑賞ヲ半々ニスル結果トナレリ

5. 婦人閱覽會ノ誘導並勸誘ヲ盡シ居ル時島々當地「友の會」ヲ青年部ニ於イテ讀書會ノ設立ノ見タリ月一回ノコソ

會ニ館長出席シ順次同會ヲ先導シ婦人閱覽者ノ増加ト圖書選擇眼ノ向上トヲ見セツ、アリ

一、康徳五年度ニ俳句川柳、色紙、短冊展覽會ヲ圖書館週間ニ實施シ實績ヲ舉ゲ本年度ハ郷土資料圖書陳列會ヲ開キ圖書索引ノ順序、參考圖書ノ利用課程ヲ展示シカタワラ推薦圖書ヲ陳列セリ 兒童作文募集ヲモ併セ行フモ例年ノコトニテカ思ハシキ結果ハ見ザリキ

一、趣味講座 經濟或ハ「遼陽ノ將來ニ就イテ」等ノ座談會ヲ開キ市ノ有識者ヲ網羅シ行ヒシ所非常ナル歡迎ヲ受ケ毎月例會トシテノ開催ヲサヘ慫慂セラル ニ至レリ、現在ノ處不定期ナルドモ年五六回開催ノ豫定ナリ

一、當地忠靈塔竣工祭ニ際シ全國ヨリ俳句 川柳ノ獻納句ヲ募集シ之ヲ上梓ナシ祭日頭初ニ獻納ナシ參拜ノ御遺族及來賓各位、役者へ贈本ナシタリ編輯費當ハ現館長半年ノ苦心モ報ヒラル、コト多キニサヘ覺ユ

一、秋祭ニ於ケル街ノ獻燈ヘ書ク俳句 川柳ハ例年當館ガ執行スル慣例ト何時シカナレリ(昭和十二年秋ヨリ)

一、忠靈塔竣工祭ノ三日間百五十個ノ獻燈ニ而ヘ書キシ俳句、川柳ハ殊ノ外感激ヲ以テ迎ヘラレタリ

一、「遼陽市ノ發展ヘ資スル論文」及「遼陽市ヲ宣揚スル民謡」ヲ商工公會ト共同募集ナシソノ結果竝佳作原稿ハ當地ノ新聞紙上ニ發表セリ

## 九、希望事項

- 一、書庫ノ新設
- 一、考古品ノ陳列室ノ設置
- 一、日系職員、司書一名、庶務一名、漢籍重司書一名等ノ補充竝新採用

# 圖書館統計年報

康德 6 年度分

遼陽市公立圖書館

部 門	藏 書 冊 數				閱 覽 圖 書			閱 覽 人 員			
	前年末	本年增	本年減	本年末	館 內	館 外	計	館 內	館 外	計	
雜 業	1,271	96	18	1,349	1,842	1,068	2,910	官、軍、教	4,352	3,934	8,286
書 業	905	107	2	1,010	1,545	835	2,380	會 社 員			
宗 教	1,353	47	6	1,394	746	475	1,221	農 工 商	4,064	4,433	9,037
文 學	1,167	118	17	1,268	2,882	1,916	4,798	其 他			
小 說	1,670	366	98	1,938	9,300	6,753	16,652	婦 人	1,693	1,847	3,440
地 誌	1,584	81	15	1,650	1,804	1,090	2,894	學 生	9,016	4,160	13,476
法 制	1,814	83	75	1,822	1,033	589	1,622	兒 童 男	4,395	1,690	5,985
社 會	497	15	2	509	587	504	1,091	兒 童 女			
醫 學	537	42	12	567	806	388	1,194	滿 人			
美 術	611	37	8	640	641	388	1,029	計	23,860	16,364	40,224
家 事	281	10	18	273	583	297	880	館 閱 新 聞			
兒 童		211		211	5,990	1,612	7,602	覽 雜 誌			
合 計	12,382	1,261	291	13,349	29,068	16,364	45,432	人 自 習			
備 新 聞	36			36	4,751		4,751	內 員 計			
付 雜 誌	53	12	6	59	5,632	1,540	7,172	合 計			40,224

日 平 均	本 年 度	館 內		館 外	計	團 體	回 付 館 所	回 付 冊 數	閱 覽 人 員	摘 用
		冊 數	人 員							
		109	67	176	150	市 公 署				
		89	61	150	150	縣 公 署				
	前 年 比 較	7,723	1,916	5,807	152	小 電 警 察 廳 犬 隊 軍 病 院				
		2,068	1,916	152						

創立 明治 33 年 10 月 1 日 | 開館日數 298 日 | 開館時間 自午前10時至午後8時 | 閱覽料金 每 日 1.10

備考

# 遼陽圖書館藏鄉土資料目錄

品名	數量	出所	時代	寄贈者	鑑定者
鐵製梵鐘	1	不明	明代	遼陽小學校	八木三郎氏
素燒製甌	2	公園內喇嘛塔	清初頃?	新妻庄五郎氏	同
碧瓦	1	西會寺址	明代	管友吉氏	同
漢式土器瓶	1	遼陽	漢魏時代		同
漢式瓦器製尊	1	北哨	同		同
陶器壺	1	遼陽喇嘛塔	明代	新妻庄五郎氏	同
天日手蓋附壺	1	不明	不明	不明	同
白釉手酒瓶	1	城東弔水樓	不明	管友吉氏	同
天日手ノ壺	1	?	?	島田好氏	同
瓦製壺	1	遼陽河	漢魏時代	生田友次郎氏	同
天日手片耳附壺	1	同	金代	島田好氏	同
鐵砂釉壺	1	滿紡構內	金代?	同	同
九輪壺屬品	1	白塔上	遼代?	同	同
古泉及壺	1	遼陽火葬場	元代	同	同
白塔用材ノ椽柏	1	白塔	明代	同	同
高松哥ノ墓誌	1	遼陽停車場附近	金代	丸山佐太郎氏	同
瓦製高杯	1	滿紡構內	?	滿洲紡績會社	同
白釉陶器	2	?	宋代	島田好氏	同
銅鏡	1	?	遼金頃	同	同
鐵製貝及背各	1	太子河	明代?	同	同
鐵製風鐸	1	白塔	明代	村非常吉氏	同
白釉口花形瓶	1	遼陽停車場西方	金代	丸山佐太郎氏	同
瓦製甕模造品	1	遼陽	漢代	遼陽小學校	同
白塔使用ノ甌	1	白塔	遼代?	?	同
鐵版	1	同	明代?		同
土器花瓶	1	鞍山舊堡	漢代	管友吉氏	島田好氏
土器壺	1	同	同	同	同
古代煉瓦	1	同	同	同	同
白釉椀	1	江官屯	宋代	島田好氏	同
古泉(五銖錢)	1	太子河鐵橋附近	漢代	齊尾登岐氏	同
古泉(貨泉)	1	鞍山舊堡	同	管友吉氏	同

陶器壺	1	江官屯	宋代	鳥田好氏	同
古泉(越ノ明刀)	1	田官屯	春秋戰國時代	同	同
古泉(貨布)	2	城內古物商		宮地元次氏	同
古泉	5	遼陽驛南石棺內		同	同
壺(素燒)	1	共榮住宅地	漢代	柏木宗市氏	鳥田好氏
同	1	遼陽鐵道用地		久保芳太郎氏	同
高麗壺	1	城南玉皇廟附近		宮地元次氏	未鑑定
豚(素燒製)	1	遼陽工場裏墓地		佐々野忠八氏	同
壺(蓋共)	2	櫻木町		西村知章氏	同
壺	1	同		千々岩榮氏	同
漢式土器(水吞)	1	滿紡構內		安井朝重氏	同
同(小杯)	4	同		同	同
瓦(馬面)	1	廣祐寺跡		宮地元次氏	同
同(獅子面)	1	廣祐寺跡		宮地元次氏	未鑑定
壺	1	水源地		桑田白二氏	同
同	1	白塔寮附近		森田熊一氏	同
同	1	陸軍兵舍內		伊藤鹿藏氏	同
同(素燒)	1	櫻木町		同	同
素燒窰模造品	2	同		同	同
壺	1	太子河古墳內		佐々野忠八氏	同
銅鏡(破片)	1	遼陽驛西墓地		幸田幸太郎氏	同
素燒花瓶	1	師團司令部橫		宮地元次氏	同
壺(素燒)	1	城南外		溝江小八郎氏	同
關帝廟(三國誌)	1	西門外關帝廟		宮地元次氏	同
關帝廟誌	1	遼陽驛構內		渡邊彌久治氏	同
壺	1	遼陽		丸尾德松氏	同
同	1	?		同	同
小銃彈丸	1	遼陽神社參道		安井朝重氏	同
鐵製風鐸	1	白塔前	明代	鳥田好氏	鳥田好氏
土器(花瓶)	1	舊兵舎跡地		藤田高明氏	未鑑定
素燒製土器	1	太子河古墳	唐代	遼陽保線區	鳥居龍藏氏
同	1	櫻木町		西村知章氏	未鑑定
同	1	同		同	同
同(蓋附)	1	電燈公司裏		吉永榮右衛門氏	同

壺	1	機關區附近	同	同
繪高麗壺破片	1	芳野町	地方事務所	同
鐵器(銚斷片)	3	同	藤田高明氏	同
五銖錢	3	同	同	同
銅銑(八角形)	1	圖書館裏	千々岩榮氏	同
古刀	1	白塔東南	西村眞琴兩氏	同
高麗燒完品及破片	50	江官屯	佐竹義繼	同
大目手黑釉骨壺	1	遼陽驛西	石田茂治郎氏	同
漢代土器	1	消防隊裡	池野善雄氏	同
古泉(大泉五十)	4		河合各二氏	同
石斧	3	普蘭店	滿尾惠四郎氏	同
同	1	大連黑石礁	平井利雄氏	同
杯(土製)	1	太子河堤防	中村信氏	同
貨泉	1	同	猪口利德氏	同
指環	1	同	同	同
鐵輪	1	同	同	同
磚	1	遼陽	堀川茂治郎氏	同
高麗燒完品及破片	9	燕州城	宮地元次氏	同
素燒壺破片及石器	各1	太子河ロシヤ堤防	猪口利德氏	同
甗	4	熊岳城	宮地元次氏	同
漢代土器(素燒皿形)	1	泉橋附近	坂本又六氏	同
石棺內面壁繪破片	3	城東門外	漢代	梅本俊次氏
漢玉(胸飾)	1	同	同	同
瓦製遼模造品破片	1	同	同	同
瓦製茶壺皿破片	2	同	同	同
大目手大壺	1	太子河堤防	中村俊夫氏	未鑑定
同(葉形)	2	同		同
同(佛像浮彫)	2	白塔	岩田實氏	同
同(花模様)	2	同	同	同
石器(斧ノ瓦)	1	太子河堤防?	生田友次郎氏	同
石器(槌)	1	城北門外堤防	同	同
同	1	同	同	同
白塔碑破片	1	公園內	近代?	烏居龍藏氏
葉誌破片	2	同	?	同

# 拓 本

品 名	數量	建 碑 年 代	拓 者
重 修 玉 皇 廟 碑 記	1	乾 隆 二 七 年	宮 地 元 次 氏
同	1	康 熙 三 十 年	同
同	1	?	同
玉 皇 廟 戰 蹟 碑 文	1	大 正 五 年	同
關 帝 廟 重 修 記	1	元 代 ？	同
同	1	成 化 九 年	同
同	5	?	同
大 金 喇 嘛 塔 記	1	天 聰 四 年	同
大 喇 嘛 墳 塔 碑 文	1	順 治 十 二 年	同
廟 學 碑 記	1	乾 隆 二 十 六 年	同
天 齊 廟 鐘 鼓 樓 碑 記	1	乾 隆 二 十 八 年	同
魁 星 樓 碑 文	1	同 治 十 二 年	同
廣 祐 寺 重 修 碑 文	1	道 光 二 十 二 年	同
廣 祐 寺 碑 頭 部 彫 刻	2	?	同
白 塔 碑 裝 飾 雲 模 樣	1	遂 代 ？	同
白 塔 碑 破 片	1	?	同
重 修 蓮 花 寺 碑 記	1	乾 隆 二 十 一 年	同
李 公 殉 道 堂 碑 文 及 英 天 力 碑 文	2	?	同
李 雅 各 碑 文	1	光 緒 二 十 三 年	同
東 京 陵 莊 達 你 漢 把 免 魯 親 王 碑 文	1	順 治 十 一 年	宮 地 元 次 氏 池 野 善 雄 氏
清 眞 寺 穆 公 紀 念 碑 文	1	宣 統 元 年	宮 地 元 次 氏
黑 溝 臺 戰 蹟 碑 文	1	大 正 五 年	池 野 善 雄 氏
關 谷 大 佐 戰 死 處 之 碑 文	2	大 正 六 年	宮 地 元 次 氏
橋 中 佐 戰 死 處 之 碑 文	2	同	同
橋 山 戰 蹟 碑 文	1	大 正 五 年	宮 地 元 次 氏 池 野 善 雄 氏



## 鞍山市立圖書館概況報告

### 一、概況

本年度ハ圖書館階上閱覽室ガ市公署工務課分室トシテ使用セラレタル爲同閱覽室ヲ閉鎖シ館内閱覽ヲ禁止ノ上館外帶出ノミ取扱ヒタリ、從ツテ圖書館本來ノ機能ハ充分ニ發揮シ得ズ加フルニ館員ノ轉職者多ク缺員ノ補充ニ困難ヲ來シ館務遂行上支障多クシテ圖書館邇邇上遺憾ノ點多々アリタリ、右理由ニ依リ圖書館ニ於ケル全般的ノ概況ニ付前年度ト比較ナシ得ザルモ試ミニ館外帶出利用數ノ前年度ト比較センカ人員ニ於テ延人員二、一三二人、貸出冊數ハ延冊數一、八五七冊ノ増加ヲ示セリ、右ハ當市人口ノ飛躍的增加ニ依レモノト思ハル

### 二、建築物其他設備狀況

建物ハ未ダ圖書館トシテノ獨立簡屋ノ所有セズ個人石田龜太郎所有ノ二階練瓦建（延坪一七五、二五坪）ヲ月額二五〇圓ニテ借家セルモノニシテ其設備ハ非文化的ニシテ冬季スチーム暖房、裝置ナキ爲僅カニストーブヲ使用セル爲嚴冬期ハ採暖不十分ニシテ執務上保健上ニ支障多ク加フルニ至ケ所ニ敷設ノ手洗所水道ハ凍結シ使用不能トナリ文化施設ノ圖書館トシテハ公衆衛生上ニモ誠ニ遺憾ノ點アリタリ、尙本年度ニ於テハ書庫ニ狹隘ヲ來シタノ爲書架ノ配列ノ變更シ從來全書架開架式トシ自由ニ出入リセシメシモ婦人、兒童、其他大衆向圖書ノミ開架式書架ニ收藏シ他ハ半閉架式書庫ニ收藏區分セリ

### 三、書籍蒐集保管狀況

圖書蒐集ノ本年度ノ方針ハ前年度同様、通俗圖書館トシテノ立場ニ依リ當市ノ狀勢、閱覽人ノ讀書傾向其他當館藏書

ノ各部門別比率ヲ考慮シテ年度頭初ニ圖書費ノ各部門配當比率ヲ調査決定蒐集方針ノ確立實施セルモ出版物ノ變動及豫算關係等ニ依リ別表(1)ノ如ク蒐集セリ、尙保管狀況ニ付テハ年一回ノ曝書期ニ於ケル圖書ノ點檢ニ於テ九五九冊ノ事故圖書ヲ發見セリ、其他破損及不用圖書ニシテ除籍撤去セルモノ、各部門別内譯別表(2)ノ如シ

#### 四、閱覽者狀況

本年度ニ於テハ階上閱覽室ヲ閉鎖館内閱覽ヲ禁止セル關係上全般的ノ狀況ニ付イテハ報告ナシ得ザルモ館外閱覽者ノミニ付イテ見ル時ハ之ヲ職業別ニ分類スレバ全利用者ノ五割ハ製鐵所社員、三割ハ官吏軍人其他一般、二割ガ學生兒童婦人ナリ土地柄製鐵所社員多數ヲ占メ居レリ、尙之ガ利用者ノ閱覽傾向ハ例年ト同ジク小説、戯曲類ノ文藝モノ大多數ヲ占メ全帶出冊數ノ五割ニ相當セリ、文藝モノ、多キハ何レノ市縣立圖書館モ同一傾向ニシテコノ種公立圖書館ノ共通の閱覽傾向ナリ

次イデ本年度ニ於テハ法制、經濟、政治、社會關係ノ圖書ガ前年度ニ比シ多數貸出閱覽サレ工學關係圖書ト畧同率ヲ示セリ(別紙(3)參照)

#### 五、特別施設狀況

本年度ニ於ケル特別施設ハ階上閱覽室閉鎖ニ依リ館内ニ於ケル各種ノ年中行事又ハ特別文庫設置等ノ施設ハ之ヲ實施、又ハ設置セズ

#### 六、職員異動狀況

前年度ト同ジク日滿雇傭人共異動甚ダシク缺員補充ニ困難ヲ來シ館務遂行ニ支障アリ遺憾ノ點多クアリタリ、異動狀況左記ノ通り

## (1) 解職者

雇員 高木弘元 二月二十八日附 家事ノ都合

同 田中光 七月四日 附 同

同 久保正一 十月三十日 附 同

傭人 餘 長綿 三月六日 附 同

## (2) 採用者

雇員 山崎ハツエ 三月二日附 増員採用

同 長尾卓見 四月十五日附 缺員補充採用

同 水間藤太郎 十月三十日附 同

同 八畝山正男 十二月四日附 同

傭人 劉 宗 麟 三月十五日附 同

## (3) 昇格者

傭人 王 毓 璞 十月一日附 雇員昇格

## 七、特別調査研究事項

特記スベキモノナン

## 部門別藏書增減調

部門	滿蒙	叢書	哲學	文學	小說	歷史	法統	數學	工學	美術	產業	學事	兒童	計
前年末	一、四四四	一、三三六	一、五〇〇	三、七〇〇	二、〇六九	一、七九八	二、三三九	七四二	一、一八七	二、一七六	一、四〇〇	二七二	一、一六三	二、三〇五
本年増	三六	一五五	一九九	三四五	二九九	一九二	二九九	五〇	一七〇	一三四	一五六	一四	六八	二、二六八
本年減	六九	一四七	三八	九八	一六五	五五	五五	一七	五四	四	二六	五	七二	八四八
本年末	一、六三三	一、三三四	一、七七一	二、九五七	二、二三四	一、九三六	二、五九三	七五四	一、三三三	一、二三四	一、五五八	二八〇	一、二五九	二、〇六五

## 別表(3) (閱覽人員調) 開館日數二二〇日

職業別	官公吏	製鐵所社員	婦人	學生	兒童	其他一般	計	一日平均
館外員	八三九	一〇、四五三	二、一〇一	一、〇九八	四七四	五、一六七	二〇、〇四一	一九
總人員=對 スル百分比	四	五二	一〇	六	二二	二六	一〇〇	

別表(3)ノ二(閲覧圖書調)

部門	館外閱 覽冊數	總冊數ニ 對スル百 分比
滿蒙	三七	一
書彙叢 隨筆 哲學宗 教教育	六五	三
文學 語學	九七	五
小說 戲曲	二、八四	一五
歷史 地誌	七、八九〇	四二
法經 社統	一、二三	六
數學 理學	一、二六	六
工學 兵事	四五	三
美術 諸藝	一、二四〇	六
產業	七二六	四
家事	一八九五	五
兒童	一四〇	一
合計	一、〇八二九、三九	五
一日平均	一〇〇	
	八七	

# 大石橋圖書館概況報告

## 一、概況

當館ハ康德四年滿鐵ヨリ移讓サレタル圖書館ノ一ニシテ小圖書館トシテ内容設備凡ソ備ハレリト言フベキモ數十年前ノ建築ナル故部分的修繕ヲ要スルニ至レリ・藏書ハ逐年増加シツツアリ、閱覽狀況ハ年ニヨリ相違アルモ當地入口ニ比スレバ中以上ノ成績ト言フベキモ從業員ハ少ク平常事務ノ漸ク遂行サルルノ状態ナリ

## 二、建築及設備狀況

建築ハ總建坪四八五・二八平方米ニシテ事務室、書庫、一般閱覽室、兒童閱覽室、婦人閱覽室、新聞閱覽所アリ、閱覽者手洗場アリ別ニ書庫ヲ有シ亦冬季ニ於ケル暖房設備トシテペーチカヲ有スルヲ以テ小圖書館トシテノ運用ニ便ナルモノト言フベシ

## 三、書籍蒐集保管狀況

書籍ノ蒐集ハ購入寄贈ニヨリ未ダ寄託サレタルハナシ、本年度ニ於テハ下記ノ如ク六八三冊ノ増加ヲ見タリ、保管狀況、圖書ノ閱覽ハ別表ノ如ク相當ノ數アリ、由ツテ汚損モ亦相當ニアルベキモ本年度ニ於テハコレガ僅少ナリ故撤去スベキモノナク依ツテ是等ヲモヨク保管シツツアリ、本年度藏書増加狀況

滿蒙	事業叢書 隨筆	哲學宗教教育	文學語學	小說戲曲	歷史地誌	法製經濟社會統制	數學理學	工學兵學	美術藝術	產業學事	兒童
一七	六一	四九	三九	二二	八九	二七	二七	六〇	二五	一六	六
											五八

#### 四、覽閱狀況

本年度ニ於ケル閱覽者總數ハ次表ノ如クニシテ、館内閱覽者ハ減少セルモ館外閱覽希望者ハ増加トナリ、從ツテ讀書券收入モ前年ノ四三七圓ニ比シ一五七圓ノ増加ヲ見タルヲ考フレバ實質的ニ低下シタルニハアラスト言フベシ  
本年度閱覽人員及冊數調査表

館内閱覽		館外閱覽	
人員	冊數	人員	冊數
一九八三	四九、六四	九、三四	九、三四

#### 五、特種施設狀況

本年度ニ於テ特ニ舉グベキモノナク、例年ノ加ク夏季學童ノ溫泉集合所ニ二百餘冊ヲ送附シ前期後期何レモ二百餘ノ學童ニ教員監督ノ下ニ關覽セシメルノ外識字、讀書週間ニソレガ主旨宣傳ノ爲ビラヲ配布シ街内滿人部落數ヶ所ニテ講演ヲナス當館ニ於テハ文字ニ關スル展覽會ヲ開催シ一般ノ觀覽ニ供シタリ

#### 六、職員異動狀況

本年二月雇員退職シタルニツキ臨時雇員ヲ採用シタルモ九月以後缺員トナリ十二月漸ク吏員一名ヲ採用スルヲ得タリ

#### 七、特別調査事項

前項ニ記セルガ如ク常ニ人員少數ナルタメニ日常ノ執務ニ追ハレ特別ノ調査ナシ

# 營口市立圖書館概況報告

## 一、概況

現在ノ圖書館ニテハ藏書又ハ閱覽者増加ノ爲既ニ狹隘ヲ生ズルニ至リタルヲ以テ室ノ増加ヲ計畫中、尙現在ノ建物ノ都合上出來得ベクベ一館ヲ新建築スベク計畫中

司書方面ニ於テハ新刊書ノ購入方法ヲ簡易ナラシメ、新着圖書案内ノ發行新聞紙上ニ記事ヲ載セ揭示ヲナシ宣傳ノ一方策トナス

書名カード康德五年度以降完成

庶務關係ニテハ書架カード箱購入増設閱覽室ノ新設、整理室ノ擴張等

舊市街分館ニ於テハ建物ノ移轉、圖書ノ整理並ニ備附圖書ノ増加計畫簡易日文圖書備附圖書館宣傳ノ方策トシテハ各種講演會並ニ展覽會等ノ開催ヲナシ漸次利用誘導ニ勉ム

兩館共ニ利用率次第ニ増大シツツアリ尙詳述スレバ次ノ如シ

## 二、建築物及設備狀況

### 一、閱覽室ノ整備

閱覽室ハ書庫ノ一部ナリシヲ事務室ヲ書庫ノ一部ニ移シ元事務室ヲ擴大シ閱覽室ノ形態ヲ整備ス（六月）

### 二、整理室新設

階上稅捐局隣一室ヲ借用新聞、雜誌其他ノ整理室ヲ新設ス



## 三、舊市街分館ノ移轉

馬市街ニ在リシ分館ヲ大同街十八號元警察廳舍跡ヲ借用移轉階上、階下四室ニ擴大、館内外ヲ整備ス

階下 事務室、書庫、閱覽室、新聞室

階上 講演室、展覽會場

## 四、書架増設

新刊書増加ニ伴フ新書架四個ノ増設

## 五、カード箱製作

書名カード作成ノ爲カード箱十五抽出ニケ作製

尙閱覽室、書庫ノ狹隘閱覽室不備分館備品不足等種々改善ノ餘地アルモ經費ノ都合ニ依リ速急ナル手配ヲナシ得ズ遂次改善ノコト、ス

現今ノ建物ハ使用上ノ都合ニ依リ別ニ圖書館トシテノ本建築計畫ノ促進ニ留意

## 三、書籍蒐集保管狀況

一、作年度ヨリ引續キ各部門ニ涉リ基本参考圖書蒐集ニ力ヲ注グ、本年度ニ於テハ特ニ法學、經濟、産業部門ニ主要

参考書ノ増加ヲ見タリ

二、整理室ノ擴張ニ依リ一部新聞雜誌等ノ整理保管ヲ開始ス

三、營口郷土資料ノ蒐集並ニ寄贈依頼ニ留意ス

四、舊市街分館ハ一般滿文圖書ノ蒐集ニ勉ムルモ出版僅少ニシテ入手困難ナリ尙參考トシテ一部簡易日文圖書ヲモ收

藏ス

#### 四、閱覽狀況

##### 一、入館者

漸次増加ノ傾向アリ、夏季、冬季ニ於テハ座席ノ不足ヲ告グルコト多シ

##### 二、帶出圖書

館外帶出モ漸次増加、基本參考書モ備附増加ト共ニ其ノ利用率増大ス

#### 五、特殊施設狀況

##### 一、郷土文庫

郷土資料ノ本館藏書分ノ整理完了、漸次郷土文庫ノ充實ヲ期ス

##### 二、時事文庫

特別展覽、二月十一日 日本精神文獻陳列

##### 三、圖書館講座

讀書週間ヲ期シ圖書館講座開講第一回圖書館週間圖書館員ニ讀書ニ關シ三回小學校長ヲ招聘開講、外ニノモンハ  
ン寫眞展、後援開催

#### 六、職員異動狀況

四月一日 分館長 佟 明 俊 退職

同 同 胡 振 舫 着任

九月二日 傭人 安 仁 根 退職

同 雇員 原 敏 夫 着任

七、特別研究調査事項

館員ハ圖書館事務研究會ニ出席各種ノ研究ヲ繼續中

八、其ノ他

一、新着圖書案内ノ發行

毎月ノ新着圖書案内ヲ謄寫刷ニテ市内一般ニ配布

二、增加圖書目錄ノ發行

康德九年度分發行完了

三、新聞紙ニヨル圖書案内

營口新報ニ毎月ノ增加圖書掲載

# 圖書館統計月報

康德 6 年分

營口市立圖書館

部 門	藏 書 冊 數				閱 覽 圖 書			閱 覽 人 員			
	前年末	本年增	本年減	本年末	館 內	館 外	計	館 內	館 外	計	
滿蒙	791	100		891	1,386	798	2,184	官軍教	4,201	3,332	7,533
事業叢書	834	126		960	1,239	745	1,987	會社員	3,302	2,709	6,011
隨筆											
哲學宗教	776	143		919	1,167	763	1,930	農工商	1,894	1,357	3,251
教育											
文學語學	1,126	206		1,332	1,645	1,199	2,844	其ノ他	1,716	1,273	2,989
小說戲曲	1,173	227		1,400	6,896	6,915	13,847	婦 人	2,536	1,953	4,491
歷史地誌	1,102	177		1,279	1,444	1,157	2,601	學 生			
法制經濟	1,385	425		1,810	1,667	1,347	3,014	兒童男	4,774	811	5,585
社會統計								兒童女			
數學醫學	281	69		350	1,048	714	1,762	兒童女			
工學兵事	269	173		442	1,869	1,589	3,442	滿 人			
美術諸藝	526	112		638	1,362	971	2,334				
產業	475	193		671	1,101	751	1,860	計	1,842	11,437	29,860
家事	152			152	762	443	1,205	館 閱			5,811
兒童	164	63		227	4,437	1,697	6,134	閱 覽			4,362
合計	9,075	2,041		11,077	26,021	19,123	45,144	人 員			10,173
備新聞	12		1	13	6,776		6,776	內 員			
付雜誌	81	10	3	88	7,864	2,205	9,887	計			40,037

一		館 內	館 外	計	剛	回付箇所	回付冊數	閱覽人員	摘 用
日 平 均	本 冊 數	94	76	170	體 文 庫				
	月 人 員	66	41	107					
	前 下ノ 年 同 月 比 較	冊 數	84	57		141			
	人 員	58	38	96					

創立 大正六年四月三日 開館日數 278日 開館時間 自午前12時至午後8時 閱覽料金 ¥.510.34

備考

## 瓦房店圖書館概況報告

### 一、概 説

明治四十三年二月滿鐵會社ハ附屬地社會教育ノ一端トシテ日本小學校ノ一空ニ圖書閱覽場ヲ開設シ主トシテ帶出ノ方法ニヨリ地方讀書趣味ノ啓發向上ニ資シ「街ノ書齋」タルヲ果サンコトニ努メタリ之本館ノ濫觴トス康徳四年十二月一日滿鐵附屬地行政權ノ移讓ト同時ニ滿洲國ニ接收サレ公立瓦房店圖書館ト改稱シ現在ニ及ブ

### 二、建物其ノ他設備狀況

當館ハ瓦房店街大和町一四番地ニ位置シ舊滿鐵醫院事務室ヲ改造セシ建物ニシテ敷地一、八九六、六九平方米建物ハ練瓦平屋二九八、七五平方米室數ハ事務室、閱覽室、特別閱覽室、書庫、當直室、倉庫ノ六室ヲ有ス  
 座席ハ特別室六、普通席二四、補助席八ナリシモ書架二〇個ノ改造並ニ倉庫内ノ不要煙突二本ヲ除去シ座席六ヲ増加シ現在座席四四アリ

閱覽室暖房ハヘーチカー、ストーブ二、ナリシモストーブヲ廢シヘーチカー一本ヲ増設ス  
 敷地内荒廢シアリタルモ生垣ヲ改修シ庭内ニ菜園、花壇ヲ設ケタリ

### 三、書籍蒐集保管狀況

康徳六年度圖書蒐集並除籍狀況左ノ如シ

部		冊		門	
前年度 藏書數	本年度 增加數	本年度 除籍數	本年度 藏書數	前年度 藏書數	本年度 增加數
11,183	422	588	11,017	計	合
868	45		913	蒙	滿
588	20	35	573	記	總
1,012	27	67	972	教宗學哲 育學教	教
1,155	37	43	1,149	語學學文	文
1,681	88	137	1,632	曲戲說小	小
1,156	39	63	1,132	誌地史歷	歷
1,664	56	182	1,532	濟經制法	法
449	29	2	476	學理學數	數
293	27	3	317	學兵學工	工
731	11	5	737	藝諸術美	美
653	40	6	687	業	產
212	6	1	217	事	家
721	3	44	680	童	兒
17	2		19	聞	新
35	3		38	誌	雜

蒐集數四二二冊ニシテ文學小説ノ大衆讀物最モ多ク法制、經濟、社會、滿蒙、産業、歴史、地誌ノ順ニシテ康徳五年  
 度ノ五二五冊ヨリ一〇三冊ノ減ハ物價騰貴ニヨル圖書費ノ不足ノ故ナリ

除籍數五八八冊ニシテ其ノ大部分ハ破損使用ニ堪ヘザル圖書ニシテ小説 戲曲一三七冊ハ使用頻繁ノタメ破損ニシテ  
 法制經濟ノ一八二冊ハ舊版ニシテ利用價值ナキモノト外破損圖書ナリ

増加冊數ヨリ除籍冊數ノ大ナルハ物價騰貴ニヨル製本費ノ豫想外高價ノタメ製本スルヨリモ寧ロ新刊購入ガ割安ナル  
 フ以テ破損圖書ノ大部分ハ廢棄處分スル爲ナリ

圖書分類ハ從來二位ヲ主トシタルモ檢索不便ニツキ〇門ヨリ六門迄三位ニ小説ニ著者名配列ニ傳記ハ氏名配列ニ變更

シ六門以下ハ日下分類變更及藏書ノ整備ニ努メツツアリ

四、閱覽狀況

閱覽者狀況

總人員	館内			館外										
	官吏會社員實業家其他婦人兒童	官吏會社員實業家其他婦人兒童	新聞雜誌											
43,496	5,425	6,595	1,917	990	2,216	4,191	1,688	2,307	488	296	570	707	6,167	9,939

館内閱覽ハ小學校兒童第一ニシテ會社員之ニ次グハ當荷居住者ノ大部ハ滿鐵會社員ナル故ナリ  
居住地域竝ニ藏書ノ關係上滿人閱覽者僅少ナリ

閱覽者總數ニ於テ前年度四二・九七一名ニ比シ五二九名ノ増加ヲ示セリ

讀書券所持者數前年度一・八六三名ニシテ本年度ハ二九〇名ノ増加ナリ

種別	部		折學 宗教 教育	文學 語學	小說 戲曲	歷史 地誌	法制 經濟	數學 理學	工學 兵事	美術 諸藝	產業	家事	兒童	新聞	雜誌
	合計	滿蒙													
館外	六、〇五六	三三二	一七八	二四六	二八六	三、六七七	二五〇	一、三三九	一、一〇〇	一、一七三	一、三三三	六四	四五二		六四六
館内	五、三四三	一、〇九六	一、〇九六	一、二六八	一、七五八	六、九三三	一、四五一	一、三五七	九五三	八四二	一、一〇五	一、〇七一	八〇三	五、四九	七、二七六
計	三、三九八	一、二七	一、七六六	一、五三四	二、〇四四	一〇、〇七〇	一、四〇七	一、五九二	一、〇〇〇	九五五	一、一七三	一、〇七三	八六七	一〇、〇〇一	七、二七六

右表ノ如ク小説、戯曲、童兒、歴史、地誌ノ順ニシテ近時法制經濟ノ閱覽増加ノ傾向アリ

## 五、特別施設狀況

夏季林間閱覽場（七月十六日至八月十五日）兒童讀物ヲ主トシ圖書館橫アカシヤ林地ニ設置シタルニ暑中休暇中ノ學生兒童ノ利用者頗ル多數ナリ

## 六、職員異動狀況

傭員 于延昌 六月二十四日退職主都警察署へ

雇員 藤川一郎 八月十四日瓦房店街公署へ轉出

吏員 穴吹義晴 八月十四日日本溪湖街公署ヨリ着任

同 同 十二月十六日退職華北交通會社大同巡迴文庫主任

同 石丸滿之進 十二月十七日採用大連醫院ヨリ

臨時傭員 宋殿賓 九月十四日採用

（康德六年十二月末現在職員左ノ通り）

館長（日人）一名 吏員主事補

辦事員（日人）一名 吏員司事

雜務方（滿人）二名 臨時傭員

計 四名

## 七、特別調查研究事項



特記事項ナシ

## 八、其ノ他

隔月毎ニ新着圖書案内ヲ各個所ヘ配付

除籍圖書中大衆向ノ分竝ニ雜誌ヲ一回當地國防婦人會ヘ寄贈ス傷病兵慰問用ニ供ス

# 奉天省圖書館聯合研究會第二部年報（第二篇） 康德六年度

## 目次

口繪、第一次委員會記念寫真

序文、會長

副會長

奉天省圖書館聯合研究會內規……………一一九

奉天省圖書館聯合研究會結成式記事……………一二一

役員名簿……………一二二

委員名簿……………一二三

部員名簿……………一二四

委員會記事……………一二八

第一回 委員會……………一二八

第二回 委員會……………一三二

部會記事……………一三七

第一回 部會……………一三七

# 康德六年度各圖書館及民衆教育館現況報告

一一八

奉天市立瀋陽圖書館現況	一四七
海城街立圖書館現況	一六〇
新民縣立圖書館現況	一六五
西豐縣立圖書館現況	一七〇
昌圖縣城街立圖書館現況	一七五
海龍縣立圖書館現況	一七八
昌圖縣八面城街立圖書館現況	一八三
撫順市立民衆圖書館現況	一九六
遼中縣立圖書館現況	一九一
西安縣立民衆教育館現況	一九五
遼源縣立民衆教育館現況	一九八
東豐縣立民衆教育館現況	二〇五
梨樹縣立民衆教育館現況	二一二
康平縣立民衆教育館現況	二一五
本溪縣立民衆教育館現況	二一九
法庫縣立民衆教育館現況	二二三

# 奉天省圖書館聯合研究會內規

## 第一章 總 則

第一條 本會定名為奉天省圖書館聯合研究會

第二條 本會以奉天省內市縣街立圖書館關係者組織之

第三條 本會分爲第一部（日系）研究會第二部（滿系）研究會各研究會置委員會及部會（管理部司書部）

## 第二章 目 的

第四條 本會依會員互相之研究以圖書館業務改良進步併普及讀書爲目的

## 第三章 職 員

第五條 本會置左列職員

一、會 長 一名

二、副 會 長 各一名

三、委 員 各館長及社會科職員

四、各部會幹事 各二名

第六條 會長推載奉天省民生廳長充任之

副會長由委員中互選之其任期爲一箇年

委員以各館長及社會科職員充任之

部會幹事由各部員中互選之其任期爲一箇年

第七條 會長爲本會代表

第八條 副會長總括本會會務

第九條 各部會幹事代表部並掌理部內一切事務

#### 第四章 研究機關

##### 一、委員會

第十條 委員會以委員組織之綜合主要事項開催研究會或各部研究之輔導及審議

第十一條 委員會常例每年須開催四回並得開催委員聯合會以會長召集之

##### 二、部會

第十二條 各研究會置管理司書二部以館員組織之研究左記事項部員分配數另定之

一、管理部（施設 經營 從事員 用紙用品 建築製本等）

一、司書部 圖書選定 目錄 分類 圖書排列 閱覽指導 巡迴文庫附帶事業等

第十三條 部會各部常例每年須開催三回並得開催聯合會以會長召集之

#### 第五章 報 告

第十四條 委員會之結果須經由會長報告省長並須將抄本送與各委員

第十五條 部會之結果須經由會長報告省長並須將抄本送與各部員

附 則

本內規自康德六年六月十二日施行

# 奉天省圖書館聯合研究會結成式

一、日 時 康德六年七月二十一日 午前九時

二、場 所 奉天省公署會議室

三、出席者

奉天省公署 民生廳長 馬冠標

高等教育科長 板野龜一

社會科長 鄭孝達

禮教股長 邵立棟

郭士縉

五十嵐賢隆

趙元才

國立中央圖書館籌備處 (民生部代表) 中島猶治郎

司書官 松浦嘉三郎

各市縣街圖書館長

各市縣街民衆教育館長

瀋陽圖書館

松尾四郎

王泰富

#### 四、結成式順序

- 一、開會宣言
- 二、向國旗敬禮
- 三、結成經過報告及組織委員
- 四、會長推戴
- 五、會長挨拶
- 六、副會長互選
- 七、副會長挨拶
- 八、民生廳長訓示
- 九、民生部代表訓示
- 十、懇談
- 五、市內見學

國立奉天圖書館見學（午後一時）

### 役員名簿

會	長	馬	冠	標	奉天省民生廳長		
副	會	長	片	岡	憲	三	奉天市瀋陽圖書館長

管理部幹事 王景泰 撫順市民衆圖書館雇員  
 司書部幹事 王泰富 奉天市瀋陽圖書館司書股長

### 委員名簿

奉天省公署	鄭孝達	社會科長
	邵立棟	禮教股長
	郭士翹	高等官試補
奉天市瀋陽圖書館	片岡憲三	館長
	林尙本	民衆教育主事
撫順市民衆圖書館	劉泉鳴	館長
本溪縣立民衆教育館	王守先	館員
海龍縣立圖書館	張全英	禮教股員
西豐縣立圖書館	何立中	館長
遼源縣立民衆教育館	何純坦	主事
新民縣立圖書館	王樹賢	館長
梨樹縣立民衆教育館	崔楚善	禮教股長兼館長
西安縣立民衆教育館	史文風	主任



法庫縣立民衆教育館

郭興唐 館長

康平縣立民衆教育館

劉國維 禮教股吏員

東豐縣立民衆教育館

王振昌 館長

遼中縣立圖書館

薛紫陽 館長

昌圖縣城街圖書館

趙星三 主任

昌圖縣八面城圖書館

王紹禹 館員

海城街圖書館

王紹斌 館員

蓋平街圖書館

李慶彰 行政課長兼

鐵嶺縣大汎河民衆教育館

周雪巖 學校長兼

### 部員名簿

#### 管理部

奉天市立瀋陽圖書館

松尾四郎 庶務股長

張興武 奉天市主事補

馬景魁 奉天市主事補

魏雅珍 雇員

撫順市立民衆圖書館

王景春 雇員(幹事)

本溪縣立民衆教育館	王守先	館員(委員兼)
海龍縣立圖書館	張全英	禮教股吏員(委員兼)
西豐縣立圖書館	何立中	館長(委員兼)
遼源縣立民衆教育館	何純坦	主事(委員兼)
新民縣立圖書館	王樹賢	館長(委員兼)
梨樹縣立民衆教育館	叢鳳九	禮教股吏員兼館員
西安縣民衆教育館	史文風	主任(委員兼)
法庫縣民衆教育館	郭興唐	館長(委員兼)
康平縣立民衆教育館	楊蔭齋	主事
東豐縣民衆教育館	白世凱	雇員
遼中縣立圖書館	高雲程	雇員
雙山縣立民衆教育館	宜惠民	館員
	劉殿卿	主事
	璩相禹	主任
呂圖縣城街圖書館	杜潔吾	館員
呂圖縣八面城街圖書館	王紹禹	館員(委員兼)
海城街立圖書館	王紹斌	館員(委員兼)

蓋平街立圖書館

王殿華 館員

鐵嶺縣大汎村民衆教育館

劉儉 學校教師

遼陽市立圖書館

張德堃 分館長

營口市立圖書館

胡振舫 分館長

鐵嶺市立圖書館

張守衡 分館長

司書部

奉天市立瀋陽圖書館

王泰富 司書股長(幹事)

史東泉 奉天市主事補

林玉森 奉天市主事補

楊松栢 奉天市司事

胡國鈞 雇員

呂文藻 雇員

張毓秀 雇員

撫順市立民衆圖書館

王守先 館員(委員兼)

本溪縣立民衆教育館

李吉貴 館員

海龍縣立圖書館

劉俊仁 館員

西豐縣立圖書館

趙國樸 館員

遼源縣立民衆教育館

趙國樸 館員

新民縣立圖書館

戴修富 館員

梨樹縣立民衆教育館

叢鳳九 禮教股吏員兼館員

西安縣立民衆教育館

史文風 主任(委員兼)

法庫縣立民衆教育館

任永昌 館員

康平縣立民衆教育館

楊蔭齋 主事

東豐縣立民衆教育館

王振昌 館長(委員兼)

王好正 主任

遼陽縣立圖書館

薛紫陽 館長(委員兼)

雙山縣立民衆教育館

孫克永 主任

楊景玉 主任

昌圖縣城街圖書館

杜潔吾 館員

昌圖縣八面城圖書館

王紹禹 館員(委員兼)

海城街立圖書館

王紹斌 館員(委員兼)

蓋平街立圖書館

王殿華 館員

鐵嶺縣大汎河民衆教育館

王輔臣 主任

李更新 主任

李昌 主任

遼陽市立圖書館	張德堃	分館長
營口市立圖書館	胡振舫	分館長
鐵嶺市立圖書館	張守衡	分館長

### 委員會記事

#### 第一回 委員會

一、日期 康德六年七月二十二日

一、場所 奉天市公立瀋陽圖書館

一、出席者(計二十一名)

奉天省公署民生廳社會科高等官試補 郭士縉

奉天市立瀋陽圖書館 館長 片岡憲三

庶務股長 松尾四郎

司書股長 王泰富

奉天市主事補 張興武

本溪縣立民衆教育館員 王守先

海城街立圖書館事務員 王紹斌

東豐縣立民衆教育館長 王振昌

遼源縣立民衆教育館主事

何純坦

鐵嶺縣立大汎河村民衆教育館長

周雪巖

昌圖城街立圖書館員

杜潔吾

海龍縣教育科禮教股吏員

張全英

梨樹縣立民衆教育館長

崔楚善

西安縣立民衆教育館主任

史文風

蓋平海公所行政課長

李慶彰

西豐縣立圖書館長

何立中

康平縣教育股吏員

劉國維

法庫縣立民衆教育館長

郭興唐

新民縣立圖書館長

王樹賢

撫順市立民衆圖書館長

劉泉鳴

昌圖八面城街立圖書館事務員

王紹禹

## 一、開會午前九時

片岡副會長開會辭

懇談

## 一、圖書館現況調查表填寫之件（片岡副會長）

解釋填寫方法並請於八月末日填竣送交瀋陽圖書館（瀋陽圖書館王司書股長）

一、職員調查表填寫之件（片岡副會長）

解釋填寫方法並請於場內即時填寫以便委員部員資格查定（瀋陽圖書館王司書股長）

一、委員 部員資格查定及幹事選定之件（片岡副會長 郭高等官試補）

決定委員 部員由片岡副會長、郭高等官試補查定之（詳別表）

幹事選定管理部幹事以撫順市民衆圖書館原員 王景春 司書部幹事以奉天市瀋陽圖書館司書股長王泰富擔任之

一、第一回共同部會、第二回委員會開催日期、場所決定之件

決定 第一回共同部會

日期 九月上旬

場所 奉天市瀋陽圖書館

第二回委員會

日期 十月中旬

場所 撫順市民衆圖書館

一、各館對於出張旅費有無支給困難情形並如何規定之件（片岡副會長）

本館出張旅費每日食費五〇錢宿費二十五錢車馬費實報實銷（鐵嶺縣大汎河民衆教育館）

按照旅費支給規定支給之（其他各市、縣、街）

對支給困難者將來設法交涉之（片岡副會長）

正午中食

午後一時起繼續懇談

## 一、關於讀書週間之件

去年辦理成績如何（片岡副會長）

依照省令辦理所收成績甚屬良好（各市、縣、街）

本年度讀書週間日期俟奉到部令後由省方通知之（郭高等官試補）

本年度讀書週間希各館認真辦理（片岡副會長）

下期開會時議案希事先提出送交瀋陽圖書館（片岡副會長）

1、地方圖書館經營方法應如何經營之件

2、現在在職圖書館員養成之件

3、圖書館員身分確立之件

右協議題三件爲本館提案因時間關係移於下次委員會討論之（瀋陽圖書館主司書股長）

## 一、圖書分類法各館統一之件（蓋平街公所李行政課長）

此案將來由部會及委員會決定之（片岡副會長）

## 一、片岡副會長閉會辭

午後一時三十分閉會



於閉會後由瀋陽圖書館片岡館長及王司書股長引率赴左記處所見學

午後一時四十分 瀋陽圖書館

午後二時三十分 滿鐵奉天圖書館

午後三時四十分 八幡町圖書館

午後四時三十分 解散

## 第二回 委員會

一、日期 康德六年十月二十七日（金）

一、場所 撫順市公署會議室

一、出席者 十九名（如別紙名簿）

片岡副會長司會 午前十時開會

### （一）協議

一、地方圖書館經營方法應如何經營之件（瀋陽圖書館提出）

一、圖書館組織施設方法規定標準開催之件（八面城圖書館提出）

（此件因提出者缺席未能說明對原意不明由司會者如斯推定之）

右二件一括協議之先由提出者說明之

現在地方圖書館之經營並無何等準據規定之公布因之經營施設隨地而異其對各館當事者經營並相互間事務聯絡上殊感諸多困難且鑑於現狀業績之不完美認有統一施設經營方針之必要經協議結果決定選任左記五名爲特別委員組織小委員會研

討具體案

小委員會特別委員

副會長 片岡憲三

委員 郭士縉 (民生廳)

王振昌 (東豐)

何純坦 (遼源)

幹事 王泰富

一、現在在職圖書館員養成之件 (瀋陽圖書館提出)

由提出者說明之

決定於康德七年度春季呈請奉天省公署之援助由研究會開催簡易講習會其具體案將與省當局聯絡決定之

一、圖書館員身分確立之件 (瀋陽圖書館提出)

一、圖書館員待遇提高之件 (新民圖書館提出)

一、現因物價騰高圖書館員生計艱窘薪俸維持適宜之件 (八面城圖書館提出)

右三案一括協議之

先由提出者說明後 (新民、八面城缺席) 即得全體贊成決定由研究會長以上申誓呈請省當局採取適當方法善處之

一、圖書館用紙格式統一之件

一、圖書館統計表格式規定之件 (第二回部會提出)

右二案一括協議之決定如左

右案將與第一部聯絡用紙依照政府制定諸用紙規格規定之統計表案採取現第一部所屬圖書館使用者由各館統一施行之關此之立案研討一任瀋陽圖書館制定後於次回委員會再提出審議

一、組織圖書館長員赴日本見學之件（新民圖書館提出）

右案（提出者缺席）如左決定之

右案之日本見學組織觀諸種情勢想必困難並認為現在時期尙早擬於來年度在適當時期先行組織國內見學團（旅順大連方面或新京吉林方面）其具體案將與省當局詳細聯絡之

二、省屬有未成立圖書館之縣添設要望之件（八面城圖書館提出）

右案提出者缺席提案要旨不明經協議結果如左決定之

現在各縣既設之圖書館其在性有無必要已認有考慮之餘地對於其未設立縣圖書館之添設有無必要或代以添設民衆教育館之機關等對於該點亦須考慮之希望省當局適當裁奪辦理之

三、圖書館月刊（假稱）發行要望之件（法庫民衆教育館提出）

先由提出者說明經協議結果決定如左

右案認為最適當案但現在實現困難之關係故暫時保留俟將來圖書館協會成立時在彼方發行之機關雜誌上要求與以便宜較為適當（副會長說明）

並由郭委員以此改印年報如何之臨時提案協議通過決定如左

一、圖書館年報發行之件

右案決定以介紹省內圖書館一切事情並各自參考資料之旨而發行之而對印刷經費希望請求省當局負擔之其編輯責任由研究會擔當之康德六年度年報豫定來年三月末發行之

一、康德七年度開會之作

一、次回委員會開催豫定之作

右二案一括協議決定如左

1、康德七年度開催回数

委員會 二回

部會 二回 (均以共同部會)

講習會 一回

2、次回委員會開催豫定

日期 三月下旬

場所 東豐縣立民衆教育館

以上協議事項十四件

(二)懇談

協議事項無事終了後移入懇談午後二時四十分閉會

(三)見學

閉會後爲視察施設經營情況赴左記箇所實地見學後散會

1、撫順市立圖書館

2、撫順市立民衆圖書館

出席者名簿

副會長 片岡憲三

委員 郭士縉 (民生廳)

“ 林尙本 (瀋陽圖書館)

幹事 王泰富

委員 張全英 (海龍)

“ 王振昌 (東豐)

“ 何純坦 (遼源)

“ 崔楚善 (梨樹)

“ 金 廠 (遼中)

“ 孫克丞 (雙山)

“ 王守先 (本溪)

“ 劉國維 (康平)

“ 郭興唐 (法庫)

“ 周得嚴 (鐵嶺)

委員 趙星三 (昌岡)

“ 劉泉鳴 (撫順市)

特別出席者 井上正義 (第一部副會長)

“ 楊國楨 (撫順市)

“ 佐藤輝敏 ( “ )

## 部會記事

### 第一回部會

一、日期 康德六年九月七、八日

一、場所 奉天市立瀋陽圖書館

一、出席者 (計三十三名、如別紙名簿)

第一日 (九月七日)

一、開會、午前九時

1、片岡副會長開會辭

2、管理幹事王景春挨拶辭

3、司書幹事王泰富挨拶辭

一、關於新刊圖書介紹目錄編製向各館配付之作

由瀋陽圖書館於每二箇月間對新刊優良圖書編成目錄向各館配付之

二、關於圖書購入場所指定及書價割引優待依頼之作

1、圖書購入場所指定奉天市內商務印書館、及大東書局

2、注文方法按照新刊圖書介紹目錄直接訂購之

3、書價割引優待之作由研究會向各關係者交涉之其結果以書面通知之

一、關於諸統計表格式統一之作

現在各館實施諸統計表之格式除報告例月報年報外其他均各館互異以此作各項之調查殆不可能今認為有統一改正之必要

決定提出委員會促其統一改正之

二、關於諸用紙統一之作

現在各館使用諸用紙之格式不適當者甚多對此有急作統一改正之必要決定提出委員會作統一改正之實施

一、關於諸用紙及諸器具價格之作

標準價格決定如左

1、卡片標準型 每萬枚 六〇圓

2、書簽 普通用 每萬枚 一〇圓(模造紙)

線裝用 〃 一〇〇圓(宣紙)

綵帶出用 每萬枚 一〇圓(模造紙)

替書板用 一〇圓(〃)

3、書套 每筒 七〇錢

4、製本諸用具 一〇圓

5、卡片 每抽斗一箇 四圓五十錢

6、閱覽棹 每箇 二〇圓

7、閱覽椅子 五圓

一、關於本年度識字讀書週間實施事項之件

1、講演

2、標語、傳單宣傳

3、小展覽會之開催

4、書庫開放

5、優良圖書介紹

6、識字運動

7、小學生作文

作文題目以左記諸題目自由選定之

一、讀書



二、讀書週間之感想

三、讀書能增進國民的智識

四、人生必須讀書

五、識字讀書週間

六、讀書的利益

七、識字

一、閉會、午後四時

第二日（九月八日）

一、開會、午前九時

懇談

一、關於識字讀書週間標語作成之件

決定於會場內即時作成之（讀書標語如別紙）

一、閉會、午前十一時

一、見學

圖書製本印刷及資料蒐集保存諸事務對圖書館員執務上有參考之必要由午前十一時赴左記處所作實地見學

午前十一時—午後一時 與亞印刷株式會社工廠

午後二時—三時

滿洲日日新聞社

午後三十四時

國立博物館

## 一、解散、午後四時

### 讀書標語

識字能增知識長見聞

民衆教育館是無智識的救救院

圖書館是有智識的成功所

讀書能修養品格增進學識

讀書萬能

勿爲文盲

欲求人格增高必須讀書

人不讀書如盲人走路

人生無如讀書樂

書內有黃金

不識字是瞎子

國民要努力一掃文盲

要養成讀書習慣

讀書乃存儲應世的工具

忠臣孝子亦多半出在讀書人堆中

不識字的人如同廢人一樣

讀書比衣食還要緊

不讀書的人糊塗一輩子

讀得書多勝大邱不用耕種自然收

放開肚皮吃飯奮起精神讀書

不識字的人如同盲人

人如讀書才能造福社會

國民都讀書識字則其國必文明

人民讀書能使國際地位增高

讀書報國

讀書是強國之本

識字爲己身所受

不讀書不得爲完全國民

讀書明理

明理必須讀書

開卷有益

讀書爲作人的基礎

讀書勝於儲金

讀書能增進國民知識

讀書爲國民之義務

國民智識增高由讀書得來

不識字的同胞們快入民衆講習所罷

不識字的同胞們到問字處去問

大陽爲天光 圖書爲地光

識字運動爲目前急務

普及識字掃除文盲

我們要利用圖書館

圖書館是我們生活的寶庫

國民請利用民衆教育館吧

國民請利用圖書館吧

圖書館爲民衆而施設

民衆教育館爲民衆而施設

民衆講習所能補救失學之苦

民衆講習所爲掃除文盲的唯一場所

民衆教育館是文盲救濟院

讀書爲立身基礎

讀書週間來到了快讀書吧

我們大家快到圖書館參觀閱覽去吧

讀書快到圖書館吧

圖書館是我們的書齋

圖書館是終身讀書的地方

圖書館是智識的寶庫

圖書館是智識的顧問

## 出席名簿

所	屬	職	名	氏	名
奉天省公署民生廳社會科 奉天省圖書館聯合研究會		高等官試補 副會長 司書幹事	郭士縉 片岡憲三 王泰富		

奉天市立瀋陽圖書館	管理幹事	王景春
〃	庶務股長	松尾四郎
〃	民衆教育部主事	林尙本
〃	館員	史東泉
〃		張興武
〃		馬景魁
〃		林玉森
〃		楊松栢
〃		呂文藻
雙山縣立民衆教育館	主事	孫克丞
東豐縣立民衆教育館	雇員	白世凱
梨樹縣立民衆教育館	主事	叢鳳九
鐵嶺市公立圖書館	分館長	張守衡
新民縣立圖書館	館長	王樹賢
遼源縣立民衆教育館	主事	何純坦
〃	館員	趙國樑
昌圖城街立圖書館		杜潔吾

西豐縣立圖書館	館長	袁仲殖
海城街立圖書館	事務員	王紹斌
蓋平街立圖書館	館長	李慶彰
遼陽市公立圖書館城內分館	分館長	張德棻
呂岡八面城圖書館	事務員	王紹禹
海龍縣立圖書館	屬官	孫潤賢
西安縣立民衆教育館	主任	史文風
本溪縣立民衆教育館	館員	王守先
鐵嶺縣立大汎河民衆教育館	主任	劉守儉
“	“	王輔臣
法庫縣立民衆教育館	館長	郭興唐
國立奉天圖書館	館員	王家瑞
八幡町圖書館	館長	井上正義

## 奉天市立瀋陽圖書館現況

館址 奉天市瀋陽區大東街二段七一（電話四一二六八八）

創立 前清光緒三十四年

建國後開館、大同元年七月

### 一、沿革

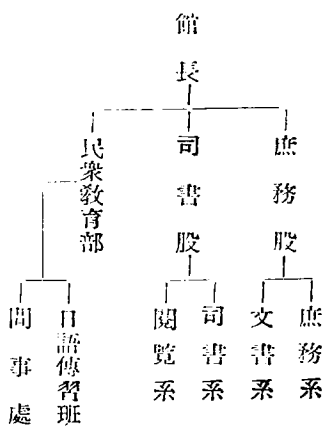
本館創立於光緒三十四年稱奉天省城圖書館之址初在小南門內宗人府胡同後幾經變遷民國五年遷於現在箇所事變後經地方維持委員會改爲奉天市政公署管理改稱奉天市立圖書館大同元年三月十五日爲假開館四月改屬奉天省公署稱爲奉天省立圖書館將館內修理整頓於七月二十八日正式開館康德五年一月一日再移管於奉天市改謂奉天市立瀋陽圖書館以至今現今歷代館長由初代陳樹藩至現今片岡憲三凡十六代已三十二年矣

### 二、組織

置館長一人總理全館一切事務館長下設庶務司書及民衆教育部股置股長部置主事分掌事務外於民衆教育部設日語傳習班問事處



組織表



從事員表

館長	片岡憲三	司事	楊松栢
庶務股長	松尾四郎	雇員	胡國鈞
司書股長	王泰富	臨時雇員	魏雅珍
民衆教育部主事	林尙本	備人	呂文藻
主事補	史東泉		蘇永清
〃	張興武		李寶光
〃	馬景魁		藍義文
〃	林玉森		梁國用

職員移動狀況

採用

主事補 松尾四郎 一月十日

雇員 胡國鈞 十二月二十日

臨時雇員 呂文藻 五月十五日

轉勤

主事補 林尙本 十二月一日

退職

雇員 王儀善 六月十二日

三、設備概要

地積 五、三二四・二七〇平方米

建坪 一、三〇四・九七五平方米

室名	面積	積收	容量
普通閱覽室	七間	八〇人	
兒童閱覽室	五間	五〇人	
新聞閱覽室	五間	八〇人	

講演室	新聞閱覽室兼用
日語傳習班	兒童閱覽室兼用
普通書庫	第一書庫 七間 第二書庫 五間
副本書庫	三間
善本書庫	面積四間 康德四年夏因大雨倒塌現收藏於副本書庫
	十一萬冊 四萬冊

外

館長室、事務室、受付室、閱覽券收發室、新聞雜誌保管室、倉庫、宿值室、夫役室、記念花圃

四藏書

1.藏書(康德六年十二月末日現在)

文別	總計	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會科學	歷史地理	語言文學	美術	計
漢文	七六、四〇四	一、八七五	五五五	三、三二一	四、一三五	一〇、五七三	一四、一七一	二、〇八〇	三、五八八	一三五、九八二
日文	一、四二二	三六	三三	四七三	九五四	二八七	三六九	二八一	二五	五、四七三
洋文	九、二〇九	一七	五	二五	二五〇	三九五	一八	二八六	一三	一一、二九
計	八七、〇三四	二、〇二八	六〇九	三、六九二	五、二三九	一一、二三四	一四、七四八	二、六四七	三、七五六	一五二、五九四

2. 善本圖書

本館所藏之善本圖書朝鮮實錄（影印）八八八冊明朝實錄（寫本）二五六冊清朝實錄（影印）一二三〇冊殿版五十部、其他善本百部總冊數一萬五千冊

五、閱覽

聯業別閱覽者統計（康德六年度）

開館日數	圖書						（館內）			館外書			計
	教育	學生	農	工	商	官吏	其他	雜誌	兒童	婦女	新聞		
三〇一	三三六	〇〇一	三二	〇五〇	五七六	三四	九六	一、三三	八四二	三六九三	七六	五、〇三二	二四、五六六

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史	地理	語言	文學	美術	計
三〇一	一〇、五八七	五五	四九	二、六六	一、七四七	一、六六五	三、四八四	七九九	三、八六七	二、三二六	六三、〇〇七	

依以上統計表論圖書館利用者學生占大部分工業者教育著述記者商業者次之閱覽圖書部門以文學居首位占全出納圖書之二分之一以上總部史地應用科學美術次之

六、經費

人件費 九、三六九圓

辦公費 九、九一一圓

圖書費 一、七二八圓

計 二一、〇〇八圓

### 七、圖書整理

#### 圖書分類法

本館圖書分類採用十進法與四部法兩種除舊漢籍適用四部分類法外其他全部適用十進分類法

#### 目錄

左記卡片目錄已製成供用其書名目錄現正在編製中

#### 一、事務用分類目錄

#### 一、閱覽用漢文分類目錄

漢文四部分類目錄

漢文書名目錄 (四部舊漢籍叢書及經部)

日文分類目錄

洋文分類目錄

### 八、現在備付閱覽定期新聞雜誌

新聞 漢文 六種

日文 四三種

雜誌 漢文 三四種

日文 三二種

### 九、定期刊行物

#### 1、圖書館通信

蒐集館內各種實施狀況資料及新到圖書之介紹編製發行配佈於省、市縣、各機關、各法團、用期各界對於館務有所指導每年發行六次現已發行至第九號

#### 2、小學生作文集

每年讀書週間於市公立國民學校及國民優級學校集小學生文編輯學生作文集以發行之每年發行一次現已發行至第二號

### 十、附帶事業

#### 1、綠蔭圖書館

自康德三年每夏於萬泉園內陳列各種新聞及趣味濃厚之圖書公開閱覽以供一般市民於煩悶暑中得享林下涼爽讀書消遣之機會

#### 2、兒童巡迴文庫

康德六年度起為補助學校教育啓發智德向上陶冶情操及增進兒童旺盛之讀書慾為目的發行兒童巡迴文庫於市內各國民學校及國民優級學校每月一次計發行箱數十六箱巡迴學校二十四校巡迴冊數七二〇冊

#### 3、日語傳習班

爲順應我國之情況以促進日滿一德一心之眞精神實現民族之團結融洽日語普及爲當今急務於康德四年七月一日成立日語傳習班募集一般市民授日常生活必須平易之日語

日語傳習班成立以來修了人數

- |                      |     |        |        |
|----------------------|-----|--------|--------|
| 第一期 (康德四年七月至十二月六箇月間) | 三〇名 | (男一四名) | (女一六名) |
| 第二期 (康德五年一月至六月六箇月間)  | 四六名 | (男二四名) | (女二二名) |
| 第三期 (康德五年七月至十二月六箇月間) | 三八名 | (男一六名) | (女二二名) |
| 第四期 (康德六年一月至六月六箇月間)  | 五八名 | (男二六名) | (女三二名) |
| 第五期 (康德六年七月至十二月六箇月間) | 一九名 | (男一一名) | (女八名)  |

## 十一、其他

本館爲啓發一般民衆之智識涵養其建國精神起見於康德四年三月新設民衆教育部開始進行民衆事宜今已二年雖經竭力計畫但因經費關係終難十分發展殊爲遺憾此後仍盡量改善日圖擴大以期發展於將來也

### 1、民衆問事

我國之民之無學文盲並智識淺陋者占大多數將彼等智能充分指導及促進日常生活改善使其養成健全思想之國民特設「問事處」以資應付解答民衆之疑問事項以啓發生活智識向上除獎勵識字外關於學術常識衛生日文翻譯日本事情書信代寫等事詳爲指導

### 2、講演、展覽會

依相當時期開催之以期建國精神之徹底而啓發國民思想善導民智

康德六年度講演、展覽會開催數如左：

成人講演 五回

兒童講演 一八回

展覽會 二回

日本觀光展覽會開催

本館爲使市民對日本事情加以深切認識及建國精神之普及並日滿一德一心之涵養於十月十四日（星期日）於館內開催日本觀光展覽會計來觀者一、八三〇人展覽陳列品如左

1、觀光ホスタ

2、圖表統計類

3、名所風景照片

4、地圖

5、觀光圖書

以上資料以本館所藏品爲主其他由日本國際觀光局本部各支部日本二十六都市各市署所寄贈之資料並奉天市立八幡町圖書館所貸與之資料

3、勸勞精神之涵養

使一般市民對英國藝感覺興趣一則涵養館員之勞作精神以訪日宣詔記念日植樹節紀念事業在館內設置花園並每週月曜日爲一日作紀念日午後全館員於館內清掃及花園之整理等一切勞作而爲民衆模範



4. 社會見學

館員及日語傳習生並募集一般民衆同到博物館新聞社工場等處見學以期認識當地之鄉土智識

5. 國民常識資料及其普及

奉天市立瀋陽圖書館規則

第一章 總則

第一條 本館開閉時間如左但遇有特別情形得隨時變更之

自四月一日起至十月三十一日 午前九時開館 午後九時閉館

自十一月一日起至翌年三月三十一日 午前十時開館 午後五時閉館

第二條 本館定期閉館日如左但臨時閉館時於當時揭示之

歲首 自一月一日至一月三日

春節

國定祝祭日

日本國祝日 紀元節 天長節 明治節

歲末 自十二月二十九日至十二月三十一日

除夕

開館紀念日

曝書日期 八九月中十日乃至二週間

館內掃除日 每月末日

第三條 圖書新聞雜誌之閱覽免費

第四條 對本館有功勞者及其他認爲必要者得贈與優待圖書帶出券

第五條 圖書及其他備置器具如有丢失或污損時由本館指定之代價令其賠償或依其情形嗣後禁止入館

第六條 違反本館規則館內揭示或不遵館員之指示及其他不法行爲時得令即時退館或依其情形於一定期間內禁止入館

## 第二章 館內閱覽

第七條 凡年齡未滿六歲者顛狂酒醉者感染傳染病者其他館內取締上認爲必要者禁止入館

第八條 欲閱覽圖書者於受付處領取之閱覽券上依式填寫指定事項交與館員取書退館時繳回所借圖書於閱覽券上蓋章收訖後

交還受付處

第九條 借閱圖書每次三冊或一函爲限但有特別情形者不在此限

第十條 閱覽者在館內不準談話誦讀圈點批評吸煙食物及其他有碍公共秩序等行爲

## 第三章 館外閱覽

第十一條 欲將圖書借出館外閱覽者須繳納價值二倍相當之保證金（但具有左列情形者不在此限）

一、持有優待圖書帶出券

二、具有在奉天市內官公署長或廳處科長保證書之所屬者

三、具有在奉天市內公私團體長保證書之所屬者經館長許可者

四、具有在奉天市內官公立學校長保證書之教職員學生

五、經館長認爲特別許可者

第十二條 每次得借出圖書準照第九條

第十三條 圖書借出期限以二週間爲限但本館遇必要時得隨時先期繳還之

第十四條 左列圖書不得借出館外閱覽

一、善本圖書

二、官公報類

三、辭書及類似該項圖書

四、地圖碑帖寫真類

五、新聞雜誌

六、新著圖書

七、館內閱覽者較多之圖書

第十五條 欲將圖書借出館外閱覽者於圖書館外借覽券上填寫所要事項及必要手續後交與館員

第十六條 繳納之保證金於圖書返還時以保證金領收書引換發還之

第十七條 借出圖書如逾期返還者嗣後得禁止借出館外閱覽

第十八條 後待圖書帶出券及借出中之圖書不得擅自轉借他人

第十九條 後待圖書帶出券及保證金領收書如丟失時卽速來館聲明作廢於前項手續遲延期內所發生之損害以券面記名者擔負

賠償責任

第四章 圖書寄贈

第二十條 欲寄贈圖書者須先向館長商酌

第二十一條 受理圖書將寄贈者姓名標記之以資永誌厚意

第二十二條 寄贈圖書之運費由寄贈者擔負

第五章 圖書委託

第二十三條 以供民衆閱覽爲目的欲將圖書委託保管者於委託申送書將其書名冊數期間及住所姓名詳記送由本館許可後方得

送交現品對委託圖書由本館發給受託證書

第二十四條 委託圖書除禁止借出館外外概與本館藏書同一辦理但經委託人指定者不在此限

第二十五條 委託圖書依本館情形得隨時返還之

委託圖書返還時所需費用由委託人擔負之

第二十六條 委託圖書遇火災盜難及其他不可抵抗而招來之損害本館不負其責任

附 則

本規則自康德六年四月一日施行之

## 海城街公立圖書現況

館址 海城街小南門裏

創立年月日 民國十二年七月

建國後開館年月日 大同二年十月一日

一、沿革 本館於民國十二年七月間組織成立以縣費經營定名海城縣立圖書館由教育局第三科職員兼辦民國二十年九月以事變關係停辦大同二年十月一日開復委教育局禮教股長孔繁恕兼任館長康德四年九月館長改為主任由學務股長黃書紳兼充康德四年十二月一日移歸海城街公所經營改稱現名山海城街行政課長郭士順兼充館長

### 二、組織

#### 一、從事員表

館長 郭士順  
 事務員 王紹斌

### 三、設備狀況

室名	面積	收容量
事務室	一	四人

四、藏書（康德六年十二月末日現在）

新書

儲藏室	書庫	閱報室	閱書室
—	—	二	二
		一五人	一五人

文日	文漢	別文
—	—	總
—	23	學哲
—	35	教宗
—	161	學科然自
—	94	學科用應
—	35	學科會社
—	128	理地史歷
—	27	言語
20	10	學文
—	42	術美
20	558	計

舊漢籍

3943	叢書部
50	經部
88	史部
34	子部
64	集部
4179	計

五、閱覽

職業別閱覽者統計（康德六年度）

345	開館日數	圖	書	(館內)	圖	外書	雜誌	兒童	婦女	新聞	計
1213											
3535											
1141											
1398											
8165											
283											
146											
							78				
								191			
									103		
										897	
											17150

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

34	開館日數	總	哲	宗	科自	科應	科社	地歷	語	文	美	計
			21	34	137	89	32	120	24	12	38	507

閱覽時間 按照官署執務時間辦理

休 假 日 按照官署放假日期表辦理惟星期日及土曜日均不休假

館內閱覽手續 新聞雜誌隨便閱覽其他圖書須憑借書證領取

館外借出手續 須查相當保證或介紹人（其詳細辦法請閱另紙規則）

六、經費 康德五年度

人件費 六四二圓

辦公費 三〇七圓

圖書費 一五〇圓

### 七、圖書整理手續

圖書分類法 哲學類 宗教類 自然科學類 應用科學類 社會科學類 史地類 語言類 文學類 美術類 雜誌類

目錄 卡片

### 八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

1、新聞 盛京時報 日泰東報 營口新報 遼海公報 大同報

2、雜誌 新青年 滿洲教育

### 海城街公立圖書館借書規則

一、借書人於初次借書時須覓具相當保證或介紹人請求館長許可發給借書證

二、借書人如將借書證遺失須向借書處聲明否則如有他人再持此證借書者所借書籍如有損失概由原領證人索償

三、借書證定有時效過期作廢但借書人得續請續發

四、借閱書籍以三日為限到限送還倘無他人索借是項書籍借書人仍可續借到期不還者本館得實行追索並取銷其借書權

五、借閱書籍須將書名號碼填記於借書券上簽名負責由借書處存查

六、既經借書尚未歸還不得再借他書

七、借閱書籍每次以二本為限同時不得借閱兩種

八、借出書籍如有遺失或污損時須斟酌情形責由借書人賠償



九、借出書籍不論到期與否借書人如接有本館收書通告時須立即送還

十、字典詞書年鑑報紙雜誌等類概不外借

十一、本規則有未盡事宜得隨時增訂之

#### 海城街公立圖書館閱覽室規則

一、入館閱覽者須先將自己姓名年歲職業登記於閱覽簿

二、登記後自尋座位不得離次遊走

三、欲閱書者須先按書目查考詳明將書名號碼等填註於閱書券簽名負責送交借書處索借閱畢隨即歸還不得私相轉借

四、報紙雜誌隨意閱覽閱畢須置放原處以免散佚

五、無論書籍報紙每人同時不得兼閱兩份

六、凡閱書報不得註批圈點或撕剪塗如有毀損責令賠償

七、所有書報未得管理人許可不得私自携出

八、閱者不得高聲朗誦談笑喧嘩或爭辯批評

九、携帶物品不得放置書案或坐椅之上

十、室內不准吸煙吐痰或其他妨碍公眾衛生情事

十一、閱者須正其衣冠免碍觀瞻

十二、閱覽不限鐘點惟屆閉館時間不論閱畢與否一律歸還退出館外

十三、本規則有未盡事宜隨時補訂之

# 新民縣立圖書館現況

館址

新民縣中大街路南

創立年月日

前清宣統三年一月一日

建國後開館年月日

大同元年三月一日

## 一、沿革

本館於宣統三年一月新民知府金公希候彙集公款採購書籍多種置存勸學所文昌閣內顏日圖書館由縣勸學所總董聞啓元總理其事彼時並無經常費至民國六年始由縣撥款正式成立圖書館以關帝廟前官房三間爲館舍於民國七年十月因經費支出停辦至民國十九年三月奉令恢復並添設閱報社委劉百泉爲館長其經常費全年爲六百元是年邑紳彭相亭捐贈萬有文庫一部二千冊又添購四部備要一部一千零十冊本館藏書及設備稍有可觀迨事變後劉館長去職委王樹賢爲館長于大同元年八月又奉令兼辦通俗講演所全年經常費增至一千一百六十元未久將講演所取消于康德二年春因館舍狹小藏書無多經縣協議以青年會舊址改建館舍由各村教育結餘金撥款千元爲改建費並由教育同人募款六百七十五元爲購書費至該年六月一日改建完竣當即遷入嗣于康德四年四月一日又奉令兼辦民衆教育館該年九月十五日又設問字處此本館之沿革也

二、組織 館長一人 總理館內一切事務 館員一人 辦理館中應行各事宜 夫役一名 司開閉館及掃除整理書報招待各閱覽者等事宜

(一) 組織表

庶務 股  
文書系

管理股 閱覽系  
 民衆教育股 閱報系  
 問事系

(二) 從事員表

館長 王樹賢  
 館員 戴修富  
 夫役 張明升

三、設備狀況

室名	面積(間)	收容量(人)	備考
普通閱覽室	二間	五〇人以上	新聞閱書室兼用
普通書庫	二間	一五人以上	辦公室兼用
講演室	三間	六〇人以上	民衆講習所兼用
陳列室	二間		
游藝室	一間	二〇人以上	值宿室兼用

職業別閱覽者統計(康德六年度)

文洋	文日	文漢
1	—	377
—	—	546
—	—	244
1	1	197
—	—	322
—	2	577
—	23	2771
—	—	263
—	—	1951
—	—	132
—	26	7139

部門別閱覽冊數統計(康德六年度)

閱覽日數	總冊數	職業別		其他	館圖書	外書	雜誌	兒童	婦女	計
		農	工							
296	296	—	—	—	—	—	—	—	—	—
153	225	—	—	—	—	—	—	—	—	—
241	241	—	—	—	—	—	—	—	—	—
139	82	—	—	—	—	—	—	—	—	—
254	112	—	—	—	—	—	—	—	—	—
314	154	—	—	—	—	—	—	—	—	—
305	93	—	—	—	—	—	—	—	—	—
204	172	—	—	—	—	—	—	—	—	—
124	320	—	—	—	—	—	—	—	—	—
654	266	—	—	—	—	—	—	—	—	—
146	69	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2565	3735	—	—	—	—	—	—	—	—	—

開館時間與休館日

開閉館時間與縣公署上下班鐘點同休例假期除節例假外其餘均次日休息之又於暑期放晒書假十日於康德五年七月間奉縣令改爲半日休息之

館內閱覽手續（無料閱覽）

館內閱書者入館須先詳盡題名然後檢選圖書目錄指定願閱之書若干種冊再由圖書收借擔當者檢給之至多不得過二種五冊閱畢交還原貸人如鈔錄書中材料自帶紙筆於館內閱覽不准高聲誦讀

館外借出手續（無料閱覽）

館外借閱書者分三種證金借閱二種保證借閱有正式商號保條或某機關公函經館中主務者認可方能借與之證金借閱照借閱之書定價加倍交納證金額記入閱書登記簿內所借之書至多仍不得過二種五冊並限於七日內將書送回同時將證金返還如有污損情事以證金變買原書餘找給

六、經費（康德五年度）

人件費 九五一圓

辦公費 一四四圓

圖書費 二一〇圓

七、圖書整理手續

圖書分類法 依照王雲五圖書分類法編輯之

目錄 冊子目錄

## 八、諸規則

### 閱覽室規則

- 一、本館儲集各種書籍雜誌報章及其他刊物以供民衆閱覽研究
- 二、凡來館閱覽書報者均須遵守本規則之規定否則本館得拒絕閱覽
- 三、本館除意思不明或有傳染病者外無論成人兒童均得按照開館時間到室閱覽
- 四、本室報章散置各處閱報人先將姓名住址職業自行簽於閱覽簿中然後自由取閱閱畢仍置原處
- 五、閱書人須按照圖書目錄擇出欲閱之書填於借書冊中然後向本館經理員說明檢交披閱
- 六、閱覽書報不得圈點污損或裁剪否則責令賠償
- 七、閱覽人如願擇鈔書報須自備鉛筆不得用毛筆墨水
- 八、閱書人如查見書中有錯誤處得告知經理員更正之
- 九、閱覽時不得高聲誦讀或談笑以免互相妨害
- 十、閱覽室內不准吸煙食物及隨意吐唾以重公衆衛生
- 十一、閱覽人不得將本館書報携出室外自己書報亦不得携入室內
- 十二、閱覽陳列案上之書籍可以自由取閱閱畢仍置原處
- 十三、閱書人閱畢須親自交還經理員以完手續
- 十四、本規則有不適宜時得隨時更正之

### 來館參觀規則

- 一、團體來館參觀須先通知以便招待
- 二、個人參觀須有介紹或用名片請求本館同意
- 三、參觀人須先填寫題名錄
- 四、參觀人由本館派招待員引導
- 五、參觀人到藏書室內勿自由檢視書籍
- 六、參觀人欲閱覽各書照閱覽室規則辦理
- 七、停止閱覽日謝絕參觀
- 九、現在閱覽定期新聞雜誌名稱  
盛京時報、秦東日報、大同報、醒時報、國際時報、政府公報、時兆月報、新民縣公報、弘宣半月刊、民生、滿洲教育  
交通部月刊、奉天教育、婦人俱樂部、婦女雜誌、農業進步、新青年、新文化、時局寫真
- 十、定期刊行發行 講演稿每兩月印發一冊

## 西豐圖書館現況

館址

西豐縣順城街路南

創立年月日

清宣統元年九月十日

建國後開館年月日

大同元年三月十日

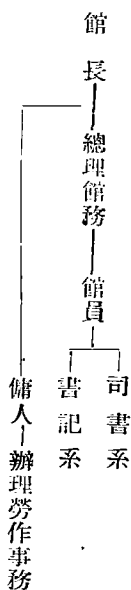
## 一、沿革

本館清宣統元年創辦附設於縣第一小學校內旋遷併於勸學所內因無相當館址及乏專人經營故規模狹小畧備圖書至民國十年始籌經費添購圖書對於館務之進行微有起色民國十三年於孔廟後院築平房六間遂遷入其中稍漸擴充至康德六年九月遷移現在館址以謀今後之進展此本館之沿革也

## 二、組織

本館規模僅備未能擴充故組織亦簡單祇置書記司書二系

### 一、組織表



### 二、從事員表

館長 袁仲殖

館員 曾憲濟

### 三、設備狀況

辦公室	一間	五
室名	面積(間)	收容量(人)



宿 室	閱 報 室	館 內 閱 覽 室	藏 書 室
〃	〃	〃	〃
二人	二十人	十人	三人

四、藏書

總冊數一四、六六五冊 (康德六年度十二月末現在)

善本圖書名 四部備要 滿洲實錄 清史稿

新書

歐 美 文	日 文	滿 文	文 別
			總
		四	哲 學
		九	宗 教
		一、九三	科 自 然
		一、四六四	科 應 用
		六、五、六	科 社 會
		一、三、五	地 歷 史
四	九六		語 言
		八七	文 學
		三〇	美 術
四	九六	一〇、四、六、七	計

舊漢籍

經部	史部	子部	集部	計
六四五	一,三五〇	一五三	八九	三,〇九七

五、閱覽

職業別閱覽統計（康德六年度）

開館日數	圖書					館外							
	教育	學生	農	工	商	官吏	其他	圖書	雜誌	兒童	婦女	新聞	計
三〇〇	三六	六五五	二二三	一〇〇	二五六	四二七	二〇〇	四,〇九八	二,八〇一	三,一〇四	三,〇九八	四,七五四	三〇,一八五

部門閱覽統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會科學	歷史地理	語言	文學	美術	計
三〇〇	六,八七四	二一〇	三〇〇	一,二一〇	一,一〇五	二,二二四	一,五二〇	四〇〇	一,〇〇〇	一五	六,八七四

開館時間

一二月午前十時開館午後六時閉館三四五月午前九時開館午後七時閉館六七八九月午前八時開館午後八時閉館  
 館十一月十二月午前九時開館午後六時閉館

休館日

歲首歲末除夕祝祭日及日本國祝祭日曝書日每週月曜日每月末日爲休館日均隨時揭示之

館內閱覽手續 館內爲無料閱覽借閱時有一定冊數須添寫借閱證退館將證及書交還閱覽人得在所定閱覽室閱覽不得有紊  
秩序

館外閱覽手續 館外閱覽者須添寫圖書持出證限定期間冊數分保證與證金二種借出規定如有特殊情形尙有臨時借閱及特別許可等辦法

六、經費(康德六年度)

人件費 一、一三七圓

辦公費 二七〇圓

圖書費 一、〇〇〇圓

七、圖書整理手續

圖書分類法 尙未分類

目錄 本館暫有冊子目錄

八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

本館定期新聞如康德畫報盛京時報奉東日報大同報雜誌如映畫情報世界畫報國際寫真情報時 月報大阪每日斯民  
生內務資料奉天教育建國教育新青年奉天農事合作月刊

# 昌圖街圖書館現況

館址 昌圖縣城西順城街一三九

創立年月日 民國元年八月一日

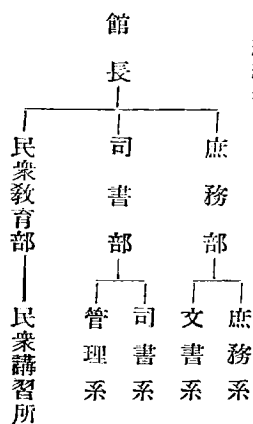
建國後開館年月日 大同元年三月一日

## 一、沿革

本館於民國元年八月一日創設館址在教育局院內彼時存書無多覽者寥寥民國十八年三月購置瓦房三間為閱覽室及藏書室平房三間為辦公室教育會旋亦遷入並由縣知事曲廉本捐款百餘圓一區東八家子學董孫柱捐款七十餘元購置圖書若干種又以公款購置萬有文庫一部書籍畧備閱覽者亦逐漸增加矣館內置館長一人主任雇員夫役各一人館長由教育會長兼任大同二年將主任裁撤由教育局長兼任館長置雇員夫役各一人辦理一切事務康德五年一月一日新學制實施隨同學校移歸街公所管理館長由街長兼任餘無變更康德六年因添設民衆教育部置主任館員館役各一人加強工作力謀發展云

## 二、組織

### 一、組織表



二、從事員表

主任 趙星三  
館員 杜潔吾

三、設備狀況

室名	面積 (間)	收容量 (人)
事務室	〇・五	五
藏書室	//	七、五〇〇冊
閱覽室	一	二〇
民衆教室	二	六〇
宿值室	二	三

四、藏書

新書

滿文	文別	總計	哲學	宗教	自然科學	應用社會學	歷史地理	語言文學	美術	計		
		三四	六〇三	七	一五六	三六〇	七六三	一、三三三	六三	九六	一四七	四七九



開館時間 午前九時至午後五時

休館日 月曜日及國定祝祭日

館內閱覽手續 倣照瀋陽圖書館

館外借出手續

六、經費（康德五年度）一、三三〇圓

人件費

三九四圓

辦公費

五五六圓

圖書費

三八〇圓

七、圖書整理手續

圖書分類法 新籍按十進法舊籍按四部法

目錄 冊子目錄

八、諸規則 倣照瀋陽圖書館

九、現在閱覽定期新聞雜誌名稱新聞有盛京大同泰東三種雜誌有農業進步婦女雜誌時兆月報等

## 海龍縣立圖書館現況

館址 海龍縣城東門裡路北

創立年月日 清光緒三十三年二月

建國後閉館年月日 康德四年六月一日

一、沿革

清光緒三十三年二月成立附設勸學所院內民國十三年另闢館舍於南門裡路西民國十九年移於南門裡路東教育會院內康德二年移附縣立師中學校院內康德四年復移於南門裡舊電話局院內設館員一人夫役一人年支經費五〇〇元康德五年移於東門裡路北現在館址

二、組織

1、從事員表

- 館長 郭文田
- 主事 張全英
- 館員 李吉貴
- 夫役 夏輔臣

三、設備狀況

室名	面積	收容量
閱覽室	瓦正房二間半	三〇人
夫役宿室	瓦廂房半間	二人



四、藏書（康德六年十二月末日現在）

新書

文別	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會科學	歷史地理	語言	文學	美術	計
漢文	1	5	5	1	3	9	1	1	36	6	43
日文									8		8

舊漢籍

叢書部	經部	史部	子部	集部	計
70	30	27	48	94	94

五、閱覽

職業別閱覽者統計（康德六年度）

開館日數	圖書（館內）					圖書（館外）					計	
	教育	學生	農	工	商	官吏	其他	雜誌	兒童	婦女		新聞
三五	二七六	五八九	1	二五	一、二六	一八、八四	六	1	1	1	一九、一八	三六、三三

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史地理	語言	文學	美術	計
三五	—	七六	七〇	—	一三七	一、一五〇	—	—	二、五七四	一、五八八	七、四九九

開館時間 每日早八時

休館日 歲首、歲末 春節

館內閱覽手續

本館以閱覽新聞雜誌書報者為最多此種書報皆分陳列於室內自由閱覽

無何手續

館外借出手續

由借閱人出具借條記明借閱書名蓋章借與閱畢送還

六、經費 康德五年度 五四四、五〇圓

人件費 四五二圓 館員一人月支二十一圓夫役一人月支十三圓兩期賞與計一個月薪俸之十四成

辦公費 三七、五〇圓 爐費在內

圖書費 六〇圓 新聞月刊畫報

七、圖書整理手續

## 圖書分類法

所備圖書無多僅舊書分經史子集四部新舊尙未分類以冊數較少也目錄爲冊子目錄

## 八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

政府公報 奉天省公報 海龍縣公報 國際時報 新青年民生 婦女雜誌 弘宣半月刊 興亞畫報 躍進之日本 世界畫報 泰東日報 盛京時報

## 海龍縣圖書館閱覽規則

- 一、本館所備圖書新聞定期刊物等均無料閱覽
- 二、閱覽人務須遵守本館所定期則以重秩序而免紊亂
- 三、閱覽圖書時務須存十分愛護心不得任意拋棄揉損如有污損得責令賠償
- 四、閱覽者務須在所定閱覽桌上沈心閱覽不可在室內任便散漫遊動喧嘩談笑吸煙以免妨害他人
- 五、本館圖書在館內閱覽爲原則如有借出館閱覽者須經館員之許可填寫借閱證然後借與閱畢返還
- 六、不遵守本館規則者得令退出
- 七、本規則有未盡事宜得隨時修正之

## 八面城街立圖書館現況

館址 八面城街西區街公所院內

創立年月日 康德四年一月二十七日

建國後開館年月日 同右

一、沿革 康德四年一月二十七日由街公所呈縣批准成立八面城街立圖書館迄今二年有餘

### 二、組織

1. 從事員表

事務員  
(館長兼) 王 紹 禹

### 三、設備狀況

室名	面積(間)	收容量(人)
普通閱覽室	二間	四十人
藏書室	一間	
辦公室		

### 四、藏書

總冊數(康德六年六月現在)共藏數一、九二六冊



#### 四時

休館日 年年年始六日 春節四日 三月一日 五月二日 九月十五日 各一日 又萬壽節 端陽節 中秋節 春秋祀孔 各一日

館內閱覽手續 館內閱覽備有圖書索引簿 一冊置閱覽室 閱者按簿選定 填付借閱票 請求提取

館外借出手續 館外借閱按圖書索引簿內選定 借某類圖書 填付持出票 提出保證人 請求持出

#### 六、經費 (康德五年度)

人件費 三二八、二七

辦公費 一五四、〇五

圖書費 一一九、〇六

#### 七、圖書整理手續

關於不常閱覽的書 歸存閉架式 常閱之書 設開架式 一部公開 每年檢點 二次 有破壞者 修理之

#### 圖書分類法

將圖書分晰 各性 歸在各性 一處 編成統系 及號碼 以便抽查

目錄 冊子目錄

#### 八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

關於定用新聞 備有盛京時報 大同報 及泰東日報 三種 雜誌 政府公報 省公報 縣公報 滿洲教育 奉天教育 農業進步 六種 另外備有畫報七種

# 撫順市立民衆圖書館現況

館址 撫順市新撫順中和馬路五丁日二十七番地電話五一〇七番

創立年月日 民國十八年十一月一日

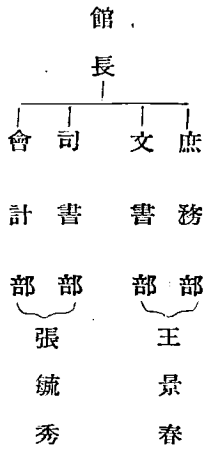
建國後開館年月日 自創立日起至現在繼續開館

## 一、沿革

本館原爲縣立創辦多年至康德四年末因市街移轉由千金寨移至新撫順同時因市制實施劃歸市轄

## 二、組織

### 1. 組織表



### 2. 從事員表

館長(吏員)	劉泉鳴	館員(吏員)	王景春
館員( )	張毓秀	傭人	高潤軒

三、設備狀況

室名	面積 (間)	收容量 (人)
閱報室	二間	三〇人
閱書室	二間	一〇人
辦公室	一間	
藏書室	三間	
宿值室	半間	
備藏室	半間	

四、藏書 (康德六年十二月末日現在)

文別	總計	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史地理	語言	文學	美術	計
漢文	一、〇五二	七〇	六〇	一八六	五〇四	九八四	五四	九六	九八七	二〇九	四、六六
日文	四	一	一	一	三	八	二	二六	五	一	五〇

舊漢籍

叢書部	經部	史部	子部	集部	計
一	三五四	一、一九	二五	六五	二、四七



五、閱覽

職業別閱覽者統計（康德六年度）

開館日數	圖 書						館 內					館 外				
	教育	學生	農	工	商	官吏其他	圖書	雜誌	兒童	婦女	新聞	計	計	計	計	
二八八	二七六	五九四	二二七	四九	三五	二六六	五八六	二八七九	二〇八	二七	五三	六、三四	二、九七六			

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史地理	語言	文學	美術	計
二八八	一、八元	五	九	一八	五三	一、二七四	五八	一五	八〇	八五	五、五六一

1、開館時間

本館除日曜日及例假日閉館外每日開館時間規定於左（一）十月一日至翌年三月末日午前九時至十二時午後一時至四時（二）四月一日至九月末日午前八時至十二時午後一時至四時惟土曜日至午前十二時閉館七月十六日至八月十五日間午後三時閉館

2、休館日

本館每逢日曜日及例假日即行休館但有時受直轄官署臨時命令爲放假日者亦行休館

3、館內閱覽手續

(一) 關於閱覽圖書者先到實事台自取閱覽票再向圖書目錄檢查欲閱之書名按照閱覽票上逐項填明然後執票經到出納台向出納員取書赴閱覽處所閱覽

(二) 閱覽者每人每次不得超過二種四冊以上但前次借書全行繳清者得續借他種閱覽之手續與前同

(三) 館內閱覽無料

4. 館外借出手續

(一) 特許借閱凡團體（正式機關或學校）具有機關或學校之公函交到本館核驗者得借與之

(二) 證金借閱凡圖書借出館外須交證金按該書定價交納還書時退回其證金

(三) 以上二者借閱之手續均與館內閱覽手續第一條同但特許借閱者閱畢還書時經出納員驗收無誤者退回其函件

(四) 借出之圖書期滿即得交還如未閱完可將書送還另行續借其手續亦與前同

一、特許借閱每次以二週為限、

二、證金借閱每次以一週為限

三、特許借閱者如將圖書殘缺塗污遺失者由該機關或學校負責償還之責

四、證金借閱者如將圖書塗污殘缺者即將證金扣留充購新書之用

## 六、經費（康德五年度）

人件費 一〇五八・二三圓

辦公費 一五九五・二三圓

圖書費 二四〇・〇〇圓

「以上三項費係本年度預算數因五年度市署將兩圖書館經費編在一起並未分開故難填寫」

## 七、圖書整理手續

### 1. 圖書分類法

凡購入之新書在請購時業已審查屬於何類書籍故新書收到後當即分類編號碼簽再填寫圖書目錄

### 2. 目錄

## 冊子目錄

## 八、諸規則

### 1. 閱覽規則

- (一) 閱覽圖書請勿圈點批評捲折污損以免互生不快之感倘有損壞本館得按照相當之價值責令賠償（如查見書中有錯誤之處得另紙書明卷數頁數交出納員告知本館更正）
- (二) 閱覽者如欲摘抄書籍不得用毛筆要抄書可用鉛筆抄寫
- (三) 於閱書時間請勿出聲誦讀或彼此談笑喧嘩或在室內外遊行以免妨害他人籍期肅靜
- (四) 閱覽室內請勿吸煙食物及隨便唾痰以求公眾衛生而保清潔
- (五) 閱覽室內一切設備的物品請勿移動或損壞
- (六) 閱覽室內請勿多携物件如有雨具及笨重物件請放置室外
- (七) 閱覽者對於細則有不明白的地方或找不到要看的書可以問室內的指導員
- (八) 在閉館時間以前即停止借閱發書至振鈴閉館時候請將書籍一律交清以便查核整理俟驗收無誤方可出館

九、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

1、新聞 盛京時報 泰東日報 大同報 撫順民報 庸報 新民報 計六種

2、雜誌 滿洲映畫新民畫報 農業進步

## 遼中圖書館現況

館址 遼中縣大東門裡路南文廟院內

創立年月日 民國十六年九月

建國後開館年月日 康德三年六月十五日

### 一、沿革

民國十六年九月經遼中縣知事李委斬廷章接充館長假文廟院內爲圖書館館址當大同元二年之際因經費支絀暫時停辦至康德三年六月十五日始正式開館館長由教育局長何立中兼任委宣惠民爲館員康德三年七月四日何館長辭職遺席由教育局長吳旭瀛兼充康德五年度爲專務責成起見於四月一日委任溫廣泰爲館長館員一席仍由宣惠民充任於五年十一月二十二日因溫館長病故於本年五月四日委薛紫陽充任館長

### 二、組織

#### 一、組織

圖書館在縣公署行政科教育股管理之下以縣經常費購集保存古今滿外各種圖書以供公衆觀閱設館長一名館員一名傭人一名由縣長委任負責掌理館務

附設民衆教育部計講演展覽二部門

二、從事員表

館長 薛 紫 陽  
館員 宣 惠 民  
備人 智 占 全

三、設備狀況

室名	面積(間)	收容量(人)	備考
普通閱覽室	三	四八	兒童及新聞閱覽室均於普通閱覽室內 附於事務室內
問事問字處			
民衆教育部	二	二四	
事務室	一		

四、藏書(康德六年十二月末日現在)

新書

文別	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	地理	歷史	語言	文學	雜書	計
----	---	----	----	------	------	-----	----	----	----	----	----	---



開館時間 四月一日—十月三十一日午前八時午後八時 十一月一日—三月三十一日午前十時午後五時

休假日

每月曜日休息

館內閱覽手續 無料

館外借出手續 保證借閱

六、經費（康德五年度）

人件費 三一五、〇〇

辦公費 二三五、〇〇

圖書費 二五〇、〇〇

七、圖書整理手續及分類法

本館藏書現達八〇二七冊分哲學自然科學應用科學社會科學歷史地理語言文學雜書等類以上分類之圖書逐號放置於儲書櫃內每母號又分子號若干用木板或布套或紙包裹之

目錄 冊子目錄

八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

盛京時報 泰東日報 大同報 遼海公報 政府公報 省公報 縣公報 興亞書報 國際時報 婦女雜誌 滿洲映畫商工月刊 新滿洲 新青年 斯民等

## 西安縣民衆教育館現狀

館址 西安縣城長泰西街路南

創立年月日 光緒三十三年二月間

建國後開館年月日 康德三年四月十日

### 一、沿革

光緒三十三年二月創立西安縣圖書館地基一畝館舍七間館長一人由勸學所長兼任圖書股講演股主任各一員康德元年九月因經費不敷暫行停辦康德三年四月經教育分會長管延翰請准於本年四月十日正式開館館長由教育分會長兼任事務員一人夫役一人經費由該會支給四年五月四日奉令改組爲西安縣立圖書館畢宗宸任館長經費由縣支給五年一月八日任史文風爲主任五年四月一日改爲西安縣民衆教育館主任史文風繼任五年六月二十四日請准於館內設立講演所六年二月一日設立問事處問字處六年三月一日奉令改組分爲庶務部圖書部講演部講習部

### 二、組織

#### 1. 從事員表

主任	史文風
館役	應殿臣



三、設備狀況

室名	面積	(間)	收容量	(人)
事務室		一間		
圖書閱覽室		二間	五五	
新聞閱覽室		二間	五五	
書庫		一間		
宿泊室		一間		

四、藏書(康德六年十二月末日現在)  
新書

文別	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	地理史	語言文學	美術	計
漢文	二〇七七	二九	三五	一五五	三五	四〇	三五	二九	五六〇	九五
日文	二五	二	一	二	二	三	二	三	一〇	二五

舊漢籍

叢書部	經部	史部	子部	集部	計
一〇五	九七七	二七五	九二	三、三六	八、〇〇

五、閱覽

職業別閱覽者統計 (康德六年度)

開館日數	圖 書 (館 內)					圖 書 館 外	雜 誌	兒 童	婦 女	新 聞	計		
	教 育	學 生	農	工	商							官 吏	其 他
三五六	一、三五	四、五七	三、二七	一、九六	二、〇九	八、一四	七〇八	三、一五七	三、一五七	三、六六	四六六	一五、九九	三九、五六

部門別閱覽冊數統計 (康德六年度)

開館日數	總	哲 學	宗 教	自 然 科 學	應 用 科 學	社 會 科 學	歷 史 地 理	語 言	文 學	美 術	計
三五六	一	三、五〇	三、五八	四、九八	五、五八	五、九七	三、〇五	三、六六	七、九六	八、七五	四六、一九

開館時間 早八時

休館時間 年末年始

館內閱覽手續 以圖書閱覽票使閱覽人於票上所定事項記入之閱畢將書票一併返還然後退館

館外借出手續 保證借出於携出請求券各欄上記竣保人蓋章後交於係員將書記入圖書貸出台帳借與之

六、經費一、五六九 (康德五年度)

人件費 七六九圓

辦公費 三〇〇圓

### 七、圖書整理手續

不合國情之書燒却或封存之適用之書當分類保管於休假日詳細檢查以防損失

圖書分類法依十進法分類之

目錄分爲兩種舊漢籍以冊子目錄新書以卡片目錄

### 八、現在閱覽新聞雜誌名稱

1、新聞、盛京、大同、泰東

2、雜誌、婦女雜誌、農業進步、斯民、健康と人生、民生、國際時報、躍進之日本、時兆月報、國際寫真情報、新青年

滿洲教育、奉天教育

## 遼源縣民衆教育館現況

館名 遼源縣立民衆教育館

館址 鄭家屯街福長地局胡同

創立年月日 康德五年十二月一日

### 一、沿革

本館創立之始定名爲遼源縣立圖書館於康德五年十一月上旬經現任廳長高振武委行政科長高鳳翰兼任館長在現在館址若

手籌備一切於同年十二月一日正式開館內分閱覽室辦公室書庫及宿舍等規模初具內容外部以地方圖書論尙可云完整惟創立伊始一般民衆認識不足來館閱覽者除瀛嶠新聞紙外對於書籍之利用極少經主務者之種種努力多方宣傳與引誘來館閱覽者始日見增多比及本年三月下旬閱覽者館內外之統計數亦可觀矣四月中旬暫當局鑒於社會教育推進之重要爲地方振興不可緩之事遂將圖書館改爲民衆教育館以期政情宣達與國民精神之作興館長山崎長自兼委圖書館主任何純坦爲民衆教育館主事總理一切館務更於四月十五日以縣令改組改爲遼源縣立民衆教育館就圖書館舊址內部加以擴充規模亦爲增大將圖書館變爲圖書館更外設庶務講習講演三部同時對於各部內容加以充分整備如圖書館添購新書雜誌講習部添招民衆講習所與日語研究班等講演部採集講演資料與舉辦講演會等從此館內日臻強化一般民衆來館者亦日漸增多矣

今日之本館雖在初創之際內外設施仰各級長官之指導尙云完備惟以經費關係計劃雖具難以實施者頗多此點在各地地方圖書館與民衆教育館創立更上爲不可免之事實豈獨本館如此耶然職司攸關今後當權共輕重其緩急務使本館使命得以逐步實現則國民精神之作興政情宣達之暢遂地方社教之振興庶乎濟矣

## 二、組織

### 1. 組織表

— 庶務部
— 圖書部
— 講習部
— 講演部

館長—主事—

### 2. 從事員表

館長 高振武  
 主事 何純坦  
 館員 趙國梁  
 傭人 劉萬聲

三、設備狀況

室名	面積 (間)	收容量 (人)
辦公室	一間	
藏書室	一間	
閱覽室	二間	四〇人
民衆教育室	四間	一〇〇人
宿室	一間	三人
貯藏室	一間	

四、藏書 (康德六年十二月末現在)

新書

文別	總計
哲學	
宗教	
自然科學	
應用科學	
社會學	
歷史地理	
語言	
文學	
美術	
計	



開館時間 依據本館規程第三條規定如左但因時得變更之

自六月一日至九月三十日 午前九時開館 午後十時畢館

自十月一日至五月三十一日 午前十時開館 午後九時畢館

休假日 依據本館規程第四條規定如左臨時休館之時當日揭示之特別行事不在此限

1、定期休日 本館定於每週月曜日為休日但土曜日均為正午閉館

2、例假休日 歲首自陰曆一月一日至五日 元宵節、端午節、除夕、國定祝日、日本國祝日 本館成立紀念日

館內閱覽手續 依據本館圖書部館內借閱規約第二條規定借閱手續如左

1、借閱圖書者先行檢査圖書總目錄次在館內借閱簿上將所欲借之書名與號碼填清後向圖書出納處取書

2、借閱者每人每次以五冊為限成函書籍逾五冊者以一函為限但前次所借書籍全行繳清者得續借他種

3、在閉館前半小時即停止借閱至閉館前十五分鐘時請將書一律繳還以便查核整理並俟驗收無誤後方准出館

館外借出手續 依據本館圖書部館外借閱規約借出手續如左

1、本館為便利閱者得將館內藏書借出館外閱覽辦法為特許與證金借閱兩種

一、特許借閱

1、凡團體（正式機關或學校）具有該機關之公函或本館之借閱證交到本館核驗者得借與之

2、凡個人具有正式機關之保證公函或本館之借閱證交到本館核驗者亦得借與之

3、其他與本館有特別供獻者（如捐贈或寄存本館書籍者）得享特許借閱權

二、證金借閱

凡個人不能覓得正式機關之保證公函或不館之借閱證時而能交納證金者亦得借閱證金多寡由本館按照所借之書籍價值臨時酌定之

## 2、借閱證請求辦法如左

- 一、凡個人或正式機關欲請求借閱證者向本館索取請求書填竣後交到本館經館長核准後發給之
- 二、借閱證期限自發給日起一個月有效
- 三、凡請借閱證者不得轉借他人使用
- 四、凡請得借閱證者得享特許借閱權
- 3、借閱者須在借書券上逐項分別註明交向圖書出納處取書交還時經圖書出納處驗收無誤者退還其公函或證金
- 4、借出圖書之數量規定如次
  - 一、特許借閱之正式機關或學校每次至多不得過三種二十冊個人不得過兩種十冊
  - 二、證金借閱之個人每次至多不得過兩種五冊但成函之圖書逾五冊者以一函為限不計冊數
- 5、借出圖書之期限規定如次期滿即請交還不另通知
  - 一、特許借閱每次以三週為限
  - 二、證金借閱每次以兩週為限
- 6、不能借出之圖書規定如次
  - 一、重要參考書及貴重不易得之圖書或本館認為不能借出者
  - 二、新刊之圖書雜誌及日報等



7、借出圖書如逾期不交或雖交還而有殘缺塗污事情發生者依照左列方法處理之

一、特許借閱者由該機關學校或保證者負償還之責

二、證金借閱者得將證金扣留充購新書之用

8、續借圖書者須將原書交還本館依照初次借書手續辦理特許借閱連借不得過三次證金借閱連借不得過兩次

9、借出圖書於借出期間中本館爲與另人以預借權但經借閱者預先聲明者不在此例

10、借出圖書本館遇必要時得先期繳回之

六、經費（康德六年度預算總額三、一一〇、〇〇四）

人件費 九九〇、〇〇四

辦公費 一、三二〇、〇〇四

圖書費 八〇〇、〇〇四

七、圖書整理手續

圖書分類法 舊漢籍以經史子集分類之新書以中外圖書統一分類法分別之

目錄 本館所藏圖書除舊漢籍外新書極少故目錄之製定暫以冊子目錄代之俟新購書籍到館後即改用卡片目錄

八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

新聞紙 大同報、盛京時報、泰東日報、大北新報、

雜誌 婦女雜誌、新青年、弘宣半月刊、宣撫月報、國際時報、興亞、愛路、康德畫報、排共半月刊

## 東豐縣圖書館現況

館址 東豐縣中正街路西

創立年月日 民國十八年七月

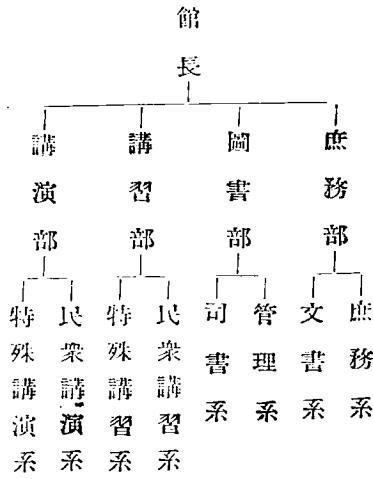
建國後繼續開館

### 一、沿革

民國十八年七月東豐縣公署設縣立圖書館於財神廟前備有閱覽室二間閱報室二間藏書室三間圖書三九七種計四六九六冊館長劉懋文同年十二月因事辭職十九年一月縣委邱述倫爲館長添置桌椅用具畧備又添購圖書二〇〇餘種二十年五月邱館長改充教育局課長另委甘永甲接充康德五年七月建築新館舍於中正街路西九月初廿館長因事辭職遺缺調委王振昌代理三好正己任主事九月底館舍竣工十月一日全部遷新館舍改稱民衆教育館康德六年三月一日實任王振昌爲館長添購圖書三百九十餘種電影機一架擴音機一台留聲機一台唱片七十六枚冰鞋十九雙無線電收音機一台一切設備堪稱完善故對於普通圖書之閱覽或特殊學術之研究均稱便利也

### 二、組織

1、組織表



2、從事員表

館長	主任	館員	助手
王振昌	三好正巳	白世凱	馮世才
			宋殿武

三、設備狀況

室名	面積	積收容量
辦公室兼藏書室	四三、六一平方米	
閱覽室	八七、六八〃	五十三人
民衆教室	四九、九二〃	二十人

四、藏書（康德六年十二月末日現在）

新書

文別	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史地理	語言	文學	美術	計
漢文	二、四七	二五	八	三五	三三	三五〇	二四	六	五二	一元	四、六九
日文	五	七	一三	二	一	三五	三	三	一〇	一	三三
洋文	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三

舊漢籍

叢書部	經部	史部	子部	集部	計
一、二九	二六〇	一、五四	二五〇	一、八三	四、九四

五、閱覽

職業別閱覽者統計（康德六年度）

開館日數	圖書（館內）						圖書（館外）					
	教育	學生	農	工	商	官吏其他	雜誌	兒童	婦女	新聞	計	
三三〇	四五五	七、九九五	一、三〇四	三五二	六九一	一、八六六	四、二九九	五、九三六	八、四〇〇	三六	八、七九七	四〇、一八八

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會科學	歷史地理	語言	文學	美術	計
三三〇	四、七四五	二四三	一四三	五七	六五二	一、七五五	八一	七五	八、五六六	三七四	一八、六二〇

閱覽時間

自六月一日至九月三十日 午前八時開館午後八時閉館

自十月一日至五月三十一日 午前九時開館午後九時閉館

休館日 月曜日 歲首 除夕 元宵節 端午節 中秋節 國定祝祭日 日本國祝日

館內閱覽手續

1、閱覽者閱覽圖書目錄

- 2、閱覽者將所借圖書填寫於館內閱覽票上
  - 3、交館員請求貸出圖書貸出時於閱覽票蓋受付印
  - 4、閱畢交還原處圖書收到後於閱覽票上蓋返濟印
- 館外借出手續

- 1、館外借閱者請求許可
- 2、提出保證書
- 3、發給圖書借出證
- 4、所借圖書以二冊爲限
- 5、借出期限以十日爲限

六、經費「康德五年度」

- 人件費 一、一六一  
辦公費 九四九  
圖書費 五二〇

七、圖書整理手續

- 圖書分類法 十進分類法 目錄 冊子目錄

八、現定期新聞雜誌名稱

大同報、盛京時報、泰東日報、新民報、滿洲教育、奉天教育、新青年、農業進步、奉天農事合作月刊、婦女雜誌、民生、國際時報、內務資料、東豐縣公報、新民半月刊、國際寫真情報、世界畫報、映畫情報、弘宣半月刊、時兆月報

### ○圖書携出借閱規程

- 一、本館爲謀閱覽者之研究及閱讀上之便利起見特訂圖書携出借閱規程以期助成閱覽者之學識增進與社會文化之發展
- 一、凡欲將民衆教育館所藏之圖書携出借閱者須向民衆教育館請求許可後方准借閱
- 一、圖書携出借閱者須爲縣城內之現住者
- 一、每次所借圖書以二冊爲限
- 一、左記各書不得携出閱覽

#### 1. 貴重圖書 辭書 目錄類

#### 2. 新聞雜誌

#### 3. 其他認爲携出不適當者

- 一、圖書携出借閱期間爲十日以內但有特殊情形時雖於期間內得使其返還
- 一、借書時須本人持圖書帶出申込證並圖章等來館借取否則概不外借
- 一、對於所借圖書須鄭重保存以重公益倘有污損圈點折角等事以損壞公物論責令賠償
- 一、所借圖書只許本人閱覽不准轉借他人
- 一、對於借書期限務須遵守倘或延誤得取銷其借書權
- 一、圖書帶出申込證倘或去大須即時將所借圖書持還本館並同時聲明以免錯誤

一、關於圖書携出借閱者之保證人須爲其勤務箇所之代表人方爲有效

### ○閱覽規則

一、欲閱本館所藏各種圖書者須先檢在圖書目錄揀定某書後添寫借書券交由館員請求貸出

二、於借書券上須按式填寫勿得遺漏（館外借書另有規程）

三、借閱圖書每次只限一種三冊

四、借閱圖書或新聞雜誌等祇須在室內閱覽不得携往他處

五、閱覽新聞時須將新聞紙展開置於桌上俾公共閱覽不得個人把持

六、對於所借圖書或所閱新聞均應加意保護倘有污損挖割圈點折角等事以損壞公物論責令賠償

七、於閱覽室內不准着帽及外套等閱覽時請勿高聲誦讀或談笑喧嘩以免妨害他人閱覽

八、閱覽室內不准吸煙食物閑坐眠睡及隨便

九、室內一切設備請勿擅自移動對於棹檯及牆壁掛圖等尤不可毀損塗抹

十、閱覽者除携帶鉛筆紙簿以備抄錄外其他笨重物品請勿携帶

十一、圖書閱畢請即送還館員點交清楚後再行出館

十二、閉館前十分鐘停止借書



# 梨樹縣立民衆教育館現況

館址 梨樹中大街

創立年月日 民國三年六月

## 一、沿革

本館於民國三年成立至康德三年改爲民衆教育館四年五年因經費支絀停辦本年八月遷至現在地址重行開館

## 二、組織

一、組織 庶務部 書報部 講演部 講習部

## 二、從事員表

館長	崔楚善
主事	叢鳳九
館員	李樹芳

## 三、設備狀況

室名	面積	積收	容量
書報室	二間		六〇人
講演室	二間		七〇人

四、藏書（康德六年十二月末日現在）

新書

文洋	文日	文漢	別文
—	—	508	總
—	—	210	學 哲
—	—	118	教 宗
—	—	102	學科然自
—	—	88	學科用應
—	—	122	學科會社
—	—	357	理地史歷
20	50	437	言 語
—	—	266	學 文
—	—	192	術 美
20	50	2500	計

舊漢籍

二九〇	叢書部
四七三	經部
九四五	史部
三六	子部
七〇七	集部
二,〇四〇	計

五、閱覽 職業別閱覽者統計（康德六年度）

閱館日數	圖 書 (館 內)
190	教育
212	學生
264	農
389	工
120	商
122	官吏
36	其他
38	館圖外書
946	雜誌
784	兒童
96	婦女
72	新聞
15,975	計
19,045	

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

120	閱館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史	地理	語言	文學	美術	計
873													
364													
420													
572													
621													
321													
429													
424													
964													
129													
5,117													

開館時間 自六月一日 至九月三十日 午前九時開館午後七時閉館

自十月一日 至五月三十一日 午前九時開館午後五時閉館

休館日 每週月曜日 元旦 除夕 國定例假日 日本國祝祭日

館內閱覽手續 閱者須將書之名稱書好送交經手人後方准取閱

館外借書手續 分押金借閱與特別借閱

六、圖書整理手續 於每月末日整理一次

七、圖書分類法 按照杜維博士分類法

八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

婦女雜誌 農業進步 新青年 奉天教育 滿洲教育 斯民叢報 奉東日報 盛京時報 滿洲新聞 滿洲報 大同報

# 康平縣立民衆教育館現況

館址 康平縣城福佑胡同

創立年月日 民國元年二月一日

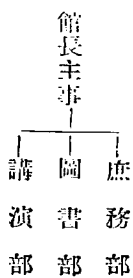
建館後閉館年月日 大同元年三月一日

## 一、沿革

本館初時爲康平縣立圖書館於康德九年四月十八日改爲康平縣立民衆教育館

## 二、組織

### 1. 組織表



### 2. 從事員表

主事	楊 蔭 齋
夫役	張 雲 龍

### 三、設備狀況

四、藏書（新書）（康德六年十二月末日現在）

室名	面積（間）	收容量（人）
圖書閱覽室	二	三五
藏書室	一	
辦公室	一	
厨室	一	六

文別	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史地理	語學	文學	美術	計
漢文	〇	九	三	一八三	二九六	一五	八	九	三四	元	一、二六
日文	二	二	一	八	三六	二	三	二	九	一	七三
洋文	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一五

舊漢籍

叢書部	一七
經部	一四
史部	九
子部	五
集部	一三
計	五八

五、閱覽

職業別閱覽者統計（康德六年度）

開館日數	圖 書 (館 內)						圖 外 書					計	
	教育	學生	農	工	商	官吏	其他	館外書	雜誌	兒童	婦女		新聞
二六七	八四	四三五	五三	四五	八七	一〇五	一〇四	一	四二	三七	三六	三、五〇	五、〇八一

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會科學	歷史地理	語言文學	美術	計	
二七	九五	四	三〇	二二七	三五二	二六〇	二三	七五	四六二	四	一、七五四

開館時間 自六月一日至九月三十日午前九時

自十月一日至五月三十一日午前十時

休館日 月曜日 歲首 除夕 元宵節 端午節 中秋節 國定祝祭日 日本國祝日

館內閱覽手續 館內逐日更換揭示及指名索閱二種將所閱之書名並閱者氏名填註在閱覽者簽名簿內

館外借出手續 由借閱人將所借閱之圖書名及借閱交還之月數填註在借閱簿內加蓋名章如有污損負賠償之責

六、經費（康德五年度）

人件費 三〇〇圓

辦公費 一六三圓

圖書費 一五〇圓

七、圖書整理手續 分類編號貯存藏書櫃內

圖書分類法 按照圖書種類而分別之

目錄 冊子目錄

八、諸規則

圖書閱覽室規則

一、每日更換陳列各種圖書新聞於桌案報架以便閱覽

二、開館時間由六月一日至九月三十日午前九時開館午後十時閉館自十月一日至五月三十一日午前十時開館午後九時

閉館

三、休假日臨時揭示之

四、閱覽圖書新聞務希注意不要有扯破剪裁及塗抹等情事

五、不准擅便携出閱覽室外

六、閱覽完畢時希將所閱之書報照舊置放原處以免散亂

七、閱覽室務要避免高聲談笑任意吐唾一切不規律情事

八、欲閱覽何種圖書可向壁間所貼之圖書一覽表內指索即與

九、發揮教育館之功能計圖書准予戶外借閱

十、借閱之手續本館備有借閱簿由借閱本人加蓋名章即安

十一、在限定返還期限內務要將原書返還本館以堅信用

十二、在借閱期間如有損壞塗抹不堪時借閱人得酌價或購新書償還之資保存公有物品

十三、本規則日後如有未盡事宜處隨時增改之

九、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

奉天農事合作社月刊 滿洲教育 民生 大亞協和月刊 新青年 斯民婦女雜誌 農友 政府公報 康平縣公報 盛

京時報 泰東日報 大同報

## 本溪縣立民衆教育館現況

館址 本溪湖街河西老君廟院內

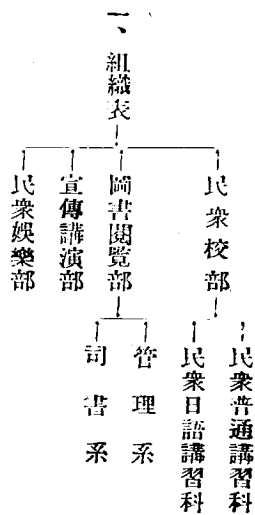
創立年月日 大同元年三月一日

### 一、沿革

本館係於大同元年三月一日建國同時創立歷由各代教育科長（教育局長）兼任館長積極經營不遺餘力本館除營圖書閱覽事務籍使民衆文化水準向上外並辦民衆識字運動日語普及及宣傳講演娛樂善導等事宜實爲民衆綜合教育之機構也

### 二、組織





二、從事員表

館長(兼任)	喬恩潤
吏員	王守先
傭人	馬玉佩

三、設備狀況

室名	面積(間)	收容量(人)
事務室	一	一〇
閱覽室	二	三〇
教室	三	六〇

四、藏書（康德六年十二月末日現在）

新書

日文	漢文	文別	總計	哲學	宗數	自然科學	應用科學	社會科學	歷史地理	語言文學	美術	計
三	二四七			六	二九	一	三	二	一〇	五	六	四五
												五五五

舊漢籍

叢書部	經部	史部	子部	集部	計
一	一八	五	七	四	三四

五、閱覽

職業別閱覽者統計（康德六年度）

開館日數	圖 書						圖 館						
	教育	學生	農	工	商	官吏	其他	外	雜誌	兒童	婦女	新聞	計
二九八	七八三	五〇七	一六七	五五六	六四五	五七四	一五四	一	八四三	二九八	一八六	八、三〇八	一三、〇二二

部門別閱覽冊數統計（康德六年度）

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史地理	語言文學	美術	計
二九八	二九五	三三	三三	三五	二六	三七	五六	一四	一〇〇	八
										六〇〇

開館時間 早八時至晚四時

休館日 每週月曜日及例假翌日

館內閱覽手續

館內閱覽為讀者利用本館備印圖書目錄及借書證於本館開館時間內向本館提出索閱每次以一部為限

館外借出手續

館外借出借書證外須附保證（商保或為本館所素知者）每次一部以七日為限

館內館外概屬無料

六、經費（康德五年度）

人件費 四六六圓

辦公費 一九四圓

圖書費

七、圖書整理手續

## 圖書分類法

本館圖書分類畧依前滿鐵圖書館分爲哲學宗教教育文學語學小說戲曲歷史地理法制社會產業等十二部門

目錄 冊子目錄

## 八、現在閱覽定期新聞雜誌名稱

大同報 盛京時報 奉東日報 精軍 斯民 民生 滿洲映畫 弘宣半月刊 新滿洲 國際時報 新青年 滿洲教育  
農業進步 奉天教育

## 法庫縣立民衆教育館現況

館址 縣城內中街關岳廟前

創立年月日 清光緒三十二年

建國後開館年月日 大同元年三月一日

## 一、沿革

本館於光緒三十二年經士紳楊葵等創設益智書報社宣統三年改歸官辦名爲法庫縣立講演所並增設圖書館民國九年因經費無着停辦迨民國十三年重行恢復仍如前狀大同元年三月一日奉令講演所圖書館重新改組康德五年一月一日令併講演所圖書館改稱法庫縣立民衆教育館康德六年五月一日始改稱法庫縣立民衆教育館

## 二、組織

### 一、組織表

本館分左記各部

甲・講演部 乙・圖書部 丙、問事處 丁、民衆講習所 戊、日語傳習所

二、從事員表

館長 郭 興 唐  
館員 任 永 昌

三、設備狀況

室名	面積 (間)	收容量 (人)
講演室	六六平方米三	一〇〇
閱書室	四六〃	二
藏書室	二三〃	一
事務室	二三〃	一
		五〇

四、藏書 (康德六年十二月末日現在)  
新書

文別	總計	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史	地理	語言	文學	美術	計
----	----	----	----	------	------	-----	----	----	----	----	----	---

舊漢籍

漢文				八〇	元	三八	三五	四九二	二六六	四	八七二	五	二、四六〇
日文						三	二七	〇	二六	三	三	九	三九
洋文										五			五

叢書部	經部	史部	子部	集部	計
四七	三九	一、五三	二四六	七五六	三、三二

五、閱覽

職業別閱覽者統計(康德六年度)

開館日數	圖 書 (館 內)						圖 書 館 外						計
	教育	學生	農	工	商	官吏	其他	雜誌	兒童	婦女	新聞		
三〇四	一、九四	二、一六	三九	五九	六七	五七	四七				一八、九七	三〇、〇五	

部門別閱覽冊數統計(康德六年度)

開館日數	總	哲學	宗教	自然科學	應用科學	社會學	歷史	地理	語言	文學	美術	計
三〇四	一、二六七	三七九	一五六	一、八六四	二、九六七	一、八六五	一、三〇八	五七	二、九〇二	五六四	一三、〇六七	

開館時間 自四月一日至九月三十日 午前八時開館午後九時閉館

自十月一日至三月三十一日 午前九時開館午後五時閉館

休館日 每週月曜日 官公署放假日 閉館紀念日 曝書期間九月中約一週間但遇慶祝日除鄭重舉行式典並實施特別講

演

館內閱覽手續

館內閱覽者須先到圖書出納處領取閱書證依照本館圖書目錄表將書名號數自己填列後由館員照證檢取發給之

館外借出手續

館外借閱者先領得館外閱書證自己填好後由保證人蓋章為憑無保證者得預繳押金但對本館有特別供獻或素有信用者均不必具保或押金而各機關及學校由各該機關學校出具證明手續亦得借閱

六、經費（康德五年度）

本館康德五年度未單列預算由民衆教育費內開支

七、圖書整理手續

臨時整理 每日閉館後將各類圖書施行檢查整理

定期整理 每半年將全部圖書重新檢點整理

圖書分類法 本館應用杜威十進分類法

目錄 冊子

館內閱書規則